第4回マイクロソフト NPO 支援プログラム 神楽活動団体調査報告書(広島・島根)

2006年7月20日

NPO 広島神楽芸術研究所

目 次

はじめに	神楽活動団体アンケート調査報告書作成にあたって・・・・・・P.1
I	安芸・石見系神楽活動団体に対するアンケート調査結果・・・・・・P.2
П	広島県における神楽活動団体の実態・P.14神楽団の系統・・・・ P.14中楽団の構成員・・・ P.20上演状況・・・・ P.25保持演目・・・ P.29団員募集状況とプロフィール・・・ P.37
Ш	島根県における神楽活動団体の実態・P.60神楽団の系統・・・・P.60中楽団の構成員・・・・P.66上演状況・・・・P.72保持演目・・・・P.77団員募集状況とプロフィール・・・・P.83
IV	自由記述 ~今後の課題・悩みなど~・・・・・・・P.104

参考資料

神楽活動団体調査の依頼について

神楽活動団体—調査票—

はじめに神楽活動団体アンケート調査報告書作成にあたって

西中国山地に伝わる神楽は、古き良き時代の優雅な「伝統を守る舞」と新しい時代に対応する「創作的な舞」とがお互いに刺激しあいながら伝承されています。

とりわけ、若い世代に注目を浴びている「創作的な舞」は、中国山地の西部、芸北・山 県神楽特有の形態と考えられます。

こうした神楽の現状を、この調査により明確化し、この地域の持っている評価や問題点を探る資料として広く皆さまに活用して頂ければと実施したものです。

なお、この調査は、神楽活動団体調査事業(神楽ポータルサイト構築)として下記の後援団体並びに、マイクロソフト第4回NP0支援プログラムにより実施いたしました。

NPO 広島神楽芸術研究所は、この調査を基礎として、インターネット上に、神楽ポータルサイト「神楽の杜」を開設しています。

記

後援団体 社団法人 広島県観光連盟

社団法人 島根県観光連盟

石見観光振興協議会

中国新聞社

株式会社中国放送

事業支援 マイクロソフト株式会社(第4回 NPO 支援プログラム)

プロジェクト責任者 増 田 恵 二

I 安芸・石見系神楽活動団体に対するアンケート調査結果

1. 目的

近年広島県や島根県では、いわゆる「石見神楽(芸北神楽)」が大ブームとなっている。神楽競演(共演)大会や神楽イベントなど中山間地域のみならず広島市をはじめとして都市部でも週末・休日に公演され、関東地方、関西地方、海外においても招待神楽公演が行われている。このように石見神楽(芸北神楽)はかつての農耕儀礼の域を超え、中国地方においては今や観光産業の新しいニーズとさえなっている。

しかし一方で、研究者の調査研究によると多くの神楽活動団体(団・社中・保存会)は、観者のニーズに沿って急激に変容する中、多くの問題課題を抱えていることが明らかにされている。そこで NPO 広島神楽芸術研究所ではマイクロソフト社の助成を得て、広く中国地方における神楽活動団体の活動実態を調査・分析し、更なる神楽の発展を支援するため、今回、神楽活動団体の動向を分析した。

2. 調査方法

広島県安芸・芸北地域の神楽活動団体(134 団体)と島根県の石見神楽系神楽活動団体(136 団体)計 270 団体を対象に、郵送法によるアンケート調査を実施した。郵送は3月中旬に行い、提出期限は4月12日とした。結果、124団体から回収を得た。(内、有効回答104団体:回収率45.9%)

3. 結果概要

1. 構成員

(1)人数·性别

104 団体の構成員の合計は 2,212 人で、そのうち 男性が 1,967 人、女性が 221 人であった。1 団体あ たりの平均人数は 21.3 人(男 19.1 人、女 2.1 人)であ った。1 団体における最大人数は 60 人で、最少人 数は 9 人であった。

表 1.構成員(広島・島根) 人(%)

	合計	男	女	備考
合計	2212	1967 (88.9)	221 (10.1)	女性同好 会 10 人
平均	21.3	19.1	2.1	
最大	60	40	20	
最小	9	9	0	
有効回答	104	103	103	

表 2.構成員(広島県) 人(%)

	合計	男	女	備考
合計	1318	1137(86.3)	157(11.9)	女性神楽 団員 10 人
平均	21.3	18.6	2.6	
最大	60	40	20	
最小	9	9	0	
有効回答	62	61	61	

3.構成員(島根県) 人(%)

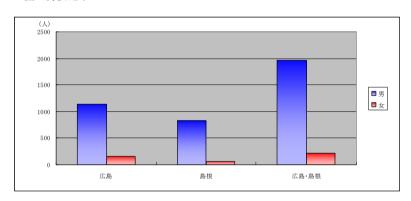
	合計	男	女
合計	894(100)	830(92.8)	64(7.8)
平均	21.3	19.8	1.5
最大	32	32	6
最小	10	10	0
有効回答	42	42	42

県別でみると、広島県の 62 団体の合計人数は 1318 人(男 1,137 人、女 157 人)であった。 1 団体あたりの平均人数は 21.3 人(男 18.6 人、女 2.6 人)であった。 1 団体における最大人数は 60 人、最少人数は 9 人であった。

島根県の 42 団体の合計人数は 894 人(男 830 人、女 64 人)であった。1 団体あたりの平均人数は 21.3 人(男 19.8 人、女 1.5 人)であった。1 団体における最大人数は 32 人、最少人数は 10 人であった。

広島県、島根県双方共に1団体当たり構成員数は大差ない。

図 1.男女比率



(2)年齢構成

表 4.年齢構成(広島・島根) 人(%)

	10 代以下	10代	20代	30 代	40代	50 代	60 代以上	合計	無記入
合計	13(0.6)	353(16.0)	411(18.7)	395(18.0)	344(15.6)	402(18.3)	282(12.8)	2200(100)	12
平均	0.1	3.4	4.0	3.8	3.3	3.9	2.7		
最大	10	20	11	13	9	15	22		
最小	0	0	0	0	0	0	0		
有効回答	104	104	104	104	104	104	104		

年齢構成は 10 代以下が 13 人(0.6%)、10 代が 353 人(16.0%)、20 代が 411 人(18.7%)、30 代が 395 人(18.0)、40 代が 344 人(15.6%)、50 代が 402 人(18.3%)、60 代以上が 282 人(12.8%)であった。1 団体あたりの平均は、10 代以下が 0.1 人、10 代が 3.4 人、20 代が 4.0

人、30 代が 3.8 人、40 代が 3.3 人、50 代が 3.9 人、60 代が 2.7 人であった。1 団体あたりの年齢別最大人数は、10 代以下が 10 人、10 代が 20 人、20 代が 11 人、30 代が 13 人、40 代が 9 人、50 代が 15 人、60 代以上が 22 人であった。

± =	年齢構成(広島県) 人(%)
表も	生 所	.) 人(%)

	10 代以下	10代	20代	30代	40代	50代	60 代以上	合計	無記入
合計	13(1.0)	211(16.0)	250(19.0)	248(18.8)	213(16.2)	230(17.5)	152(11.5)	1317(100)	1
平均	0.2	3.4	4.0	4.0	3.4	3.7	2.5	21.24	
最大	10	20	9	13	8	15	22		
最小	0	0	0	0	0	0	0		
有効回答	62	62	62	62	62	62	62		

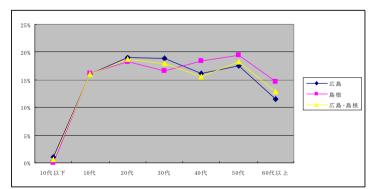
表 6. 年齢構成(島根県) 人(%)

	10 代以下	10代	20代	30代	40 代	50 代	60 代以上	合計	無記入
合計	0(0.0)	142(16.1)	161(18.2)	147(16.6)	131(18.4)	172(19.5)	130(14.7)	883(100)	11
平均	0.0	3.4	3.8	3.5	3.1	4.1	3.1		
最大	0	17	11	13	9	11	8		
最小	0	0	0	0	0	0	0		
有効回答	42	42	42	42	42	42	42		

県別でみると、広島県における神楽活動団体の年齢構成は、10代以下が13人(0.6%)、10代が211人(16.0%)、20代が250人(19.0%)、30代が248人(18.8)、40代が213人(16.2%)、50代が230人(17.5%)、60代以上が152人(11.5%)であった。1団体あたりの平均は、10代以下が0.2人、10代が3.4人、20代が4.0人、30代が4.0人、40代が3.4人、50代が3.7人、60代が2.5人であった。1団体あたりの年齢別最大人数は、10代以下が10人、10代が20人、20代が9人、30代が13人、40代が8人、50代が15人、60代以上が22人であった。

島根県における神楽活動団体の年齢構成は、10 代以下が 0 人(0.0%)、10 代が 142 人(16.1%)、20 代が 161 人(18.2%)、図 2. 構成員の年代別比率

30 代が 147 人(16.6)、40 代が 131 人(18.46%)、50 代が 172 人 (19.5%)、60 代以上が 130 人 (14.7%)であった。1 団体あたり の平均は、10 代が 3.4 人、20 代が 3.8 人、30 代が 3.5 人、40 代が 3.1 人、50 代が 4.1 人、60 代が 3.1 人であった。1 団体あ



たりの年齢別最大人数は、10 代が17人、20 代が11人、30 代が13人、40 代が9人、50 代が11人、60 代以上が8人であった。

2. 上演状況

(1)氏神祭りの時期(複数回答)

表 7. 氏神祭りの時期(広島・島根) 団体(%)

氏神祭りの時期は、4月が6団体(5.8%)、7月が4団体(3.9%)、9月が7団体(6.8%)、10月が70団体(68.0%)、11月が16団体(15.5%)であった。氏神社における奉納神楽は五穀豊穣に感謝するものであるから、秋に行われるのは当然であるが、いつからか春の豊作祈願の祭り、例えば「泥落し」、「花田植え」等においても神楽殿が設けられているのを見るようになった。

氏神祭り	団体数
4月	6(5.8)
7月	4(3.9)
9月	7(6.8)
10 月	70(68.0)
11 月	16(15.5)
合計	103(100)

表 8. 氏神祭りの時期(広島県) 団体(%)

氏神祭り	団体数
4月	1(1.7)
7月	1(1.7)
9月	3(5.0)
10 月	44(73.3)
11月	11(18.3)
合計	60(100)

表 9. 氏神祭りの時期(島根県) 団体(%)

氏神祭り	団体数
4月	5(11.5)
7月	3(7.0)
9月	4(9.3)
10 月	26(60.5)
11月	5(11.6)
合計	43(100)

県別でみると、広島県における神楽活動団体の氏神祭りの時期は、4月が1団体(1.7%)、7月が1団体(1.7%)、9月が3団体(5.0%)、10月が44団体(73.3%)、11月が11団体(18.3%)であった。

島根県における神楽活動団体の氏神祭りの時期は、4 月が5 団体(11.5%)、7 月が3 団体(7.0%)、9 月が4 団体(9.3%)、10 月が26 団体(60.5%)、11 月が5 団体(11.6%)であった。

(2)大会・イベント等の出演回数(年間)

表 10.大会・イベント等の出演回数/年間(広島・島根) 団体(%)

年間の神楽大会・イベント等の出演回数は、102 団体の合計が 1,506 回、1 団体あたりの平均が 14.8 回であった。最大出演回数は 70 回で最少出演回数は 1 回であった。

合計	1506
1 団体平均	14.8
最大	70
最小	1
有効回答	102

5 回未満	33(32.7)
5 回以上	11(10.9)
10 回以上	35(34.7)
21 回以上	12(11.9)
31 回以上	9(8.9)
60 回以上	1(1.0)
有効回答	101(100)

表 11.大会・イベント等の出演回数/年間(広島県) 団体(%) 表 12.大会・イベント等の出演回数/年間(島根県) 団体(%)

合計	760	
1 団体平均	12.7	5 回未
1 団体干約	12.1	5 回以
最大	35	-
		10 回.
最小	1	21 回.
有効回答	60	21 四.
有劝四合	00	31 回.

5 回未満	21(35.5)
5回以上	5(8.5)
10 回以上	23(39.0)
21 回以上	9(15.3)
31 回以上	1(1.7)
60 回以上	0(0.0)
有効回答	59(100)

合計	746
1 団体平均	17.8
最大	70
最小	1
有効回答	42

5 回未満	12(28.6)
5 回以上	6(14.3)
10 回以上	12(28.6)
21 回以上	3(7.1)
31 回以上	8(19.0)
60 回以上	1(2.4)
有効回答	42(100)

県別で見ると、広島県の神楽活動団体における年間の神楽大会・イベント等の出演回数は、60 団体の合計が 760 回、1 団体あたりの平均が 12.7 回であった。最大出演回数は 35 回で最少出演回数は 1 回であった。

島根県の神楽活動団体における年間の神楽大会・イベント等の出演回数は、42 団体の合計が 746 回、1 団体あたりの平均が 17.8 回であった。最大出演回数は 70 回で最少出演回数は 1 回であった。

3. 団員募集状況

表 13.団員募集状況(広島・島根) 団体(%)

団員募集状況は、96 団体中「募集中」 が88 団体(91.7%)、「募集していない」 が8団体(8.3%)であった。

	団員募集状況	回答数
ı	募集中	88(91.7)
•	募集していない	8(8.3)
	合計	96(100)

団員募集中の神楽団のうち 回答数 他地区からの入団も可 76(89.4) 氏子に限る 8(9.4) 要望があれば考える 1(1.2) 合計 85(100)

「募集中」と答えた神楽活動団体のう

ち、「他地区からの入団も可」が 76 団体(89.4%)、「氏子に限る」 が 8 団体(9.4%)、「要望があれば考える」が 1 団体(1.2%)であった。

表 15.団員募集状況(広島県) 団体(%)

団員募集状況	回答数
募集中	59(96.7)
募集していない	2(3.3)
合計	61(100)

団員募集中の神楽団のうち	回答数
他地区からの入団も可	54(96.4)
氏子に限る	2(3.6)
合計	56(100)

表 16.団員募集状況(島根県) 団体(%)

団員募集状況	回答数
募集中	29(82.9)
募集していない	6(17.1)
合計	35(100)

団員募集中の神楽団のうち	回答数
他地区からの入団も可	22(75.9)
氏子に限る	6(20.7)
要望があれば考える	1(3.4)
合計	29(100)

県別でみると、広島県の神楽活動団体では 61 団体中「募集中」が 59 団体(96.7%)、「募集していない」が 2 団体(3.3%)であった。「募集中」と答えた神楽活動団体のうち、「他地区からの入団も可」が 54 団体(96.4%)、「氏子に限る」が 2 団体(3.6%)であった。

島根県の神楽活動団体では 35 団体中「募集中」が 29 団体(82.9%)、「募集していない」 が 6 団体(17.1%)であった。「募集中」と答えた神楽活動団体のうち、「他地区からの入団も 可」が 22 団体(75.9%)、「氏子に限る」が 6 団体(20.7%)、「要望があれば考える」が 1 団体 (3.4%)であった。

島根県の方が団員を募集していながら「氏子に限る」の割合が高かった。

4. インターネットホームページ開設状況

インターネットホームページを開設している神楽活動団体は 65 団体であった(65/270)。ホームページには、写真や動画、団員紹介等を含む団体の PR、神楽ファンとの交流のための掲示板や公演情報、団員募集等のコンテンツが設けられている。

5. 自由記述 (今後の課題・悩みなど)

今後の課題・なやみなどを聞いたところ、後継者不足、団員不足、団員の高齢化などの 人的な問題課題を挙げた神楽活動団体が82団体中42団体に及んだ。

神楽そのものについての意見が 10 ほどあり、そのほとんどが伝統的な舞が廃れていくことを嘆くものであった。その他、経済的な問題、団員の個人的事情による練習時間の不足、 年配者と若者の意見の相違などの悩みもあった。

具体的な意見

(1)人的な問題課題

- 1) 後継者不足により神楽の維持がむずかしくなりつつあります。また練習等の集まり も職業の多様化(たとえば夜勤)により全員が集まっての練習が出来なくなって来て います。(北広島町:旧芸北町)
- 2) 今後の課題は後継者の育成と団員を増やすことです。名簿上では18名いますが、 常時参加できる者は限られた人数しかいません。高校生・大学生も県外に出て行く 者もあり、なかなか地元に定住してくれません。30代・40代が一人もいないのも悩 むところです。せっかく大先輩達が築いて下さった神楽団なので、これからも地域 の方々に愛され、親しまれるよう頑張りたいと思っています。

(2)経済的な問題課題

1) 景気の低迷か、ギャラが少なくなっていると思う。必要経費、衣装に修理などで団

に残らない。

2) 氏子の減少にともない、資金源不足。

(3) 舞や奏楽に関する意見

- 1) 競演大会やイベント等により、里神楽(伝統的)の本質が失われている感がある。 画一化を計り、ショー的でただ表面の演出形式にこだわり、大衆芸能になりつつある。地域文化として、父祖、先輩達が舞い継がれてきた、民俗文化財の永続が困難な事態になりかねない。団として今後の取り組み、方向性が大変むずかしい。
- 2) 本来神楽は大半を秋祭りに奉納しており神楽は演じる地域の郷土芸能であったが、今日のように各地区で多くの競演大会や共演大会などの神楽大会が開催され、年間を通じ神楽が鑑賞できる時代となった。それに伴い本来の神楽から観衆が楽しむ神楽へと創作神楽が主流となってきているが、その流れを否定すると少子高齢化、過疎に悩む地域は後継者の入団もままならない状況でもあり、新しい神楽に乗り遅れたら魅力のない神楽団と受け止められ、社会情勢の変化と共に若い人にそっぽを向かれるという悪循環を繰り返している。今後継続していかなくてはならないが、新入団員が増えるまで辛抱を重ね頑張ることが必要と考えている。
- 3) 昨今の神楽舞の芸能化に危惧を感じている。本来の神楽のあるべき姿がきちんと 伝えられていないのでは?もっと神楽に対する知識の底上げを神楽団員レベルから 計っていくべきではないだろうか。
- 4) あなたがたが、下記のごとく、神楽といえばすぐ新・旧の「神楽」と思っているように、神楽の事をその意味を知らず、「ええ」とか「つまらん」で見られることがさえん(いけない)。たとえおもしろくない神祇舞でも、人知れずそれが好きで30~40年続けている人がいる事をあなたがたが現場へ来て見るべきじゃ。
- 5) 若者(現在の)達が伝統の楽や舞い方があるにもかかわらず、最近の芝居調の舞を好み奏楽がくずれ、舞もがたがたになってしまった。最近はどこの神楽を見ても同じ舞となっているのが残念です。足の踏み方、腰の落とし方、手・顔の所作などもう一度基本に戻って、昔の出羽神楽(阿須那手)を舞える事を願っている。

■ その他

- 1) 世間に認めてもらえる神楽を披露したい。
- 2) 少子高齢化の波が押し寄せて、若手の団員の入団者が少なく、また、氏神の例祭等にもギャラリーが少なくなる傾向になりつつある。
- 3) 幼い子供を指導し子供神楽を始めております。海外公演 9回(米・英・韓国・中国・ドイツ・フランス・イタリア)。

5. 今後の課題

「石見神楽(芸北神楽)」は神楽大会やイベントなど行政区分を超えて出前出張公演など、 広域的な拡がりと盛況を見せながらも、神楽団が抱える問題・課題に加えて、「神楽」その ものの将来にとっても少なからぬ課題が浮き彫りとなっていることがわかった。

一つに、団員不足に悩むところが少なくないこと。二つに、資金不足に悩むところも少なくないこと。さらに上演機会が多い団体においても、そのニーズに対して支払われる出演料は、アマチュアの領域を超えるものではなく、その出演料だけでは団体活動を維持するための最低限の必要経費にしかならないこと。三つに、団員の生活様式の多様化によって、通常の練習、本番などにおいても人数が揃いにくいこと。四つに、総じて若い人たちは創作性の強い、見た目の派手な新舞やスーパー神楽を好む傾向があり、伝統的な舞が廃れていく傾向にあること。

現代社会の抱える社会問題には少子化、高齢化、人口減少などは、中山間地域だけでなく、日本全体が抱えている今日的問題であるが、石見・芸北地域が属する西中国山地のそれは全国的にも高齢化のスピードは速く、その高齢者比率は 30%後半に達するところが多いほど、突出している。

今後の課題としては、いかに組織を受け継ぎ、伝統を守りながらも時代のニーズにサプライズされた創造的な舞・楽を後世に伝えていくかはそれぞれの神楽団のみならず、神楽を演ずる者、それを観る者、大会・イベント等を企画する者たち全ての責任である。神楽が地域社会の誇りともいえる民俗芸能であるだけに、それが地域振興策としても最重要課題となっている。

この調査研究の成果はマイクロソフト社 NPO 支援プログラムによる、NPO 広島神楽芸 術研究所の情報として神楽を愛する人たちすべてに発信したい。

6. 資料

表 1. 相関係数

	団体の発足時期	団員数	競演大会イベント 等出演回数	旧舞	新舞	神祇・七座	保持演 目数	団員募集状況	団体への加入 条件
団体の発足時期	1.000								
団員数	0.798	1.000							
競演大会イベント 等出演回数	0.574	0.660	1.000						
旧舞	0.533	0.612	0.538	1.000					
新舞	0.418	0.447	0.532	0.239	1.000				
神祇•七座	0.149	0.315	-0.002	-0.067	-0.009	1.000			
保持演目数	-0.003	-0.035	0.351	0.729	0.171	-0.062	1.000		
団員募集状況	0.693	0.866	0.555	0.630	0.402	0.282	-0.008	1.000	
団体への加入条 件	0.664	0.748	0.574	0.500	0.342	0.203	-0.199	0.621	1.000

1. 団体の発足時期にみる分析

石見神楽を継承している神楽活動団体の発足時期と,団員数,競演大会・イベント等への出演回数,舞の形態,保持演目数,団員募集状況の関連性の有無を調べた.

発足時期は、大正以前(江戸後期~明治頃発足した団体が 64.4%と多いため)、大正元年~昭和 20 年(第二次世界大戦前)、昭和 20 年~平成元年(第二次世界大戦以降)、平成以降(近年)の 4 つのカテゴリーに分類した.

表 2. 団体の発足時期と団員数 団体(%)

団体の発足時期をみると、大正以前に発足した神楽活動団体が 64.4%に上り、昭和 20 年~平成元年が 22.8%、大正元年~昭和 20 年が 6.9%、平成以降が 5.9%であった。

団員数との関係で見ると、発足時期 と団員数には相関は見られない。

	団体の発足時期						
団員数	大正以前	大正元年~ 昭和 20 年	昭和20年~ 平成元年	平成以降	合 計		
10~15 人	8(66.7)	2(16.7)	0(0.0)	2(16.7)	12(100)		
16~21 人	28(70.0)	2(5.0)	9(22.5)	1(2.5)	40(100)		
22~27 人	25(65.8)	2(5.3)	9(23.7)	2(5.3)	38(100)		
28 人以上	4(36.4)	1(9.1)	5(45.5)	1(9.1)	10(100)		
合 計	65(64.4)	7(6.9)	23(22.8)	6(5.9)	101(100)		

注:無回答を除く

大正元年~昭和 20 年までに発足した神楽活動団体が 6.9%と少ないのは、第二次世界大戦直前という時代背景があると見られる。しかし、戦後、活動を中止していた団体の復活や新しい神楽活動団体の発足などが見られる。平成に入ってからも新しい団の設立が 5.9% ある。

表3. 発足時期と競演大会・イベント等出演回数 団体(%)

団体の発足時期と競演大会・イベント等出演回数との関連をみると、表3からは、団体の発足時期と出演回数との関連は見られなかった。

競演大会・イベン ト等出演回数	大正以前	大正元年~ 昭和 20 年	昭和 20 年~ 平成元年	平成以降	合計
5 回未満	25(78.1)	1(3.1)	5(15.6)	1(3.1)	32(100)
5 回以上	7(58.3)	3(25.0)	2(16.7)	0(0.0)	12(100)
10 回以上	22(64.7)	1(2.9)	8(23.5)	3(8.8)	34(100)
21 回以上	11(50.0)	2(9.1)	7(31.8)	2(9.1)	22(100)
合計	65(65.0)	7(7.0)	22(22.0)	6(6.0)	100(100)

注:無回答を除く

表 4. 発足時期と舞の形態 団体(%)

団体の発足時期と保持する舞の 形態との関連をみると、団体の発足 時がより最近なほど、新舞の保持演 目の相関はない。

大正以前に発足した団において も、戦後まもなく大流行した新舞を 取り入れた団が 67.4%ある。

しかし、保持演目が新舞のみ、旧 舞のみという団もあるにはあるが、

多くの団は新舞、旧舞とも保持している。

保持演 目数	形	大正以前	大正元年~ 昭和 20 年	昭和 20 年~ 平成元年	平成以降	合計
5 未満	新	37(69.8)	4(7.5)	8(15.1)	4(7.5)	53(100)
3 /KIM	田	18(69.2)	2(7.7)	4(15.4)	2(7.7)	26(100)
5以上	新	19(79.2)	0(0.0)	5(20.8)	0(0.0)	24(100)
3 2 2	旧	9(45.0)	1(5.0)	9(45.0)	1(5.0)	20(100)
10 以上	新	4(33.3)	2(16.7)	4(33.3)	2(16.7)	12(100)
10 00.1	旧	23(69.7)	3(9.1)	6(18.2)	1(3.0)	33(100)
20 以上	新	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
20 00.1	旧	11(78.6)	0(0.0)	1(7.1)	2(14.3)	14(100)
合計	新	60(67.4)	6(6.7)	17(19.1)	6(6.7)	89(100)
	旧	61(65.6)	6(6.5)	20(21.5)	6(6.5)	93(100)

注:無回答を除く

表 5. 発足時期と保持演目数 団体(%)

団体の発足時期と保持演目数の関連を見ると、団体の発足時期に関わらず、10~20 演目を保持している団体が86.1%。

競演大会・イベント等では1演 🔓 🖹 61(60.4)

保持演 目数	大正以前	大正元年~ 昭和 20 年	昭和20年~ 平成元年	平成以降	無記入	合 計
1~10	6(42.9)	1(7.1)	4(28.6)	1(7.1)	2(14.3)	14(100)
11~15	28(63.6)	3(6.8)	11(25.0)	0(0.0)	2(4.5)	44(100)
16~21	17(56.7)	2(6.7)	5(16.7)	2(6.7)	4(13.3)	30(100)
22 以上	10(76.9)	0(0.0)	0(0.0)	3(23.1)	0(0.0)	13(100)
合 計	61(60.4)	6(5.9)	20(19.8)	6(5.9)	8(7.9)	101(100)

目から多くても3演目を舞うにす

注:無回答を除く

ぎないが、氏神社での奉納神楽においては、10演目前後を奉納するからである。

かつて奉納神楽は夜を徹して、演目数にして30前後を奉納されるのが一般的であったが、 今では稀になっている。

表 6. 発足時期と団員募集状況 団体(%)

団体の発足時期と団員募集 状況の関連をみると、団体の発 足時期に関わらず、80%の団体 が団員を募集している。

団員募集 状況		大正以前	大正元年~ 昭和 20 年	昭和 20 年~ 平成元年	平成以降	合 計
-tt- #- I.	他地区からの 入団も可	50(66.7)	4(5.3)	16(21.3)	5(6.7)	75(100)
募集中(86)	氏子に限る	3(42.9)	1(14.3)	3(42.9)	0(0.0)	7(100)
	無記入	2(50.0)	0(0.0)	1(25.0)	1(25.0)	4(100)
募集して いない (7)		4(57.1)	2(28.6)	1(14.3)	0(0.0)	7(100)
合	計	59(63.4)	7(7.5)	21(22.6)	6(6.5)	93(100)

2. 団員数にみる分析

団員数と競演大会・イベント等への出演回数、団員募集状況の関連を調べた。

表7. 団員数と競演大会・イベント等出演回数 団(%)

団員数と競演大会・イベント等出演回数 との関連をみると、団員数と競演大会・イベント等への出演回数は、相関がみられる。 (表 7)

芸北神楽の場合、一つの演目を演じるの に、舞方(2人~7人)、楽人(大太鼓、小 太鼓、手打鉦、笛の4人編成)、舞台裏での

	競演大会・イベント等出演回数							
団 員 数	5 回未満	5 回以上	11 回以上	21 回以上	合 計			
10~15 人	8(61.5)	2(15.4)	2(15.4)	1(7.7)	13(100)			
16~21 人	14(34.1)	6(14.6)	13(31.7)	8(19.5)	41(100)			
22~27 人	13(34.2)	4(10.5)	13(34.2)	8(21.1)	38(100)			
28 人以上	5(50.0) 0(0.0) 0(0.0) 5(50.0) 10							
合 計	40(39.2)	12(11.8)	28(27.5)	22(21.6)	102(100)			

注:無回答を除く

各種操作(幕引き等)を考慮すると、神楽をする上で最低限必要な人数は12人程度といわれている。また最近では、生活様式が多様化し団員同士の日程調整が容易ではないため、神楽団の活動には、制約がある。したがって、団員数の多いところほど、その活動条件は有利である。

団員数と団員募集状況との関連を見ると、団員数の多い少ないに関わらず、団員を募集している団体が 91.4%であった。また、加入条件として、かつては氏子に限る、農家の長男に限るなどの制約みられたが、現在はそうした制約はは 8.6%にすぎず、むしろ若者を中心に幅広く募集する傾向にある。

表8. 団員数と団員募集状況 団(%)

	団員募集状況	団員募集状況							
	募集	中	募集してい						
団員数	他地区から の入団も可	氏子に限 る	ない	合 計					
9~15 人	9(69.2)	3(23.1)	1(7.7)	13(100)					
16~21 人	35(89.7)	2(5.1)	2(5.1)	39(100)					
22~27 人	24(80.0)	2(6.7)	4(13.3))	30(100)					
28 人以上	8(80.0)	1(10.0)	1(10.0)	10(100)					
合 計	77(82.8)	8(8.6)	8(8.6)	93(100)					

注:無回答を除く

3. 競演大会・イベント出演回数にみる分析

表9. 競演大会・イベント等出演回数と保持演目数 団(%)

競演大会・イベント等出演回数と保持演目数の関連を見ると、保持演目数が多いほど、出演回数も多い傾向がみられた。

保持演目数が 1~10 は 13 団体。 うち、 競演大会・イベント等出演回数が 5 回未満 は 61.5%、5 回以上は 7.7%、10 回以上は

	競演大会・イベント等出演回数							
保持演目数	5 回未満	5 回以上	10 回以上	21 回以上	合 計			
1~10	8(61.5)	1(7.7)	4(30.8)	0(0.0)	13(100)			
11~15	15(36.6)	2(4.9)	13(31.7)	11(26.8)	41(100)			
16~21	5(18.5)	6(22.2)	11(40.7)	5(18.5)	27(100)			
22 以上	2(15.4)	3(23.1)	4(30.8)	4(30.8)	13(100)			
合 計	30(31.9)	12(12.8)	32(34.0)	20(21.3)	94(100)			

注:無回答を除く

30.8%、21 回以上は 0.0%であった。以下同様に保持演目が 11~15 は 41 団体。 うち、競

演大会・イベント等出演回数が 5 回未満は 36.6%、5 回以上は 4.9%、10 回以上は 31.7%、21 回以上は 26.8%であった。保持演目数が 16~21 は 27 団体。うち、競演大会・イベント等出演回数が 5 回未満は 18.5%、5 回以上は 22.2%、10 回以上は 40.7%、21 回以上は 18.5%であった。保持演目数が 22 以上は 13 団体。うち、競演大会・イベント等出演回数が 5 回未満は 15.4%、5 回以上は 23.1%、10 回以上は 30.8%、21 回以上は 30.8%であった。

表 10. 競演大会・イベント等出演回数と舞の形態 団(%)

競演大会・イベント等出演回数 と保持する舞の形態との関連を 見ると、新舞、旧舞の保持演目数 による出演回数の差はみられな かった。

要因として、神楽大会等においては、新舞、旧舞は交互にほぼ同数プログラムされていること。新

保持溜日数 5 未満 5以上 10 以上 20 以上 等出演问数 新 25(89.3) 3(10.7) 0(0.0) 0(0.0)28(100) 5 回未満 10(33.3) 6(20.0) 11(36.7) 3(10.0) 30(100) 旧 新 8(57.1) 4(28.6) 2(14.3) 0(0.0)14(100) 5回以上 旧 3(25.0) 3(25.0) 5(41.7) 12(100) 1(8.3) 12(40.0) 5(16.7) 0(0, 0)30(100) 新 13(43.3) 10 回以上 旧 9(28.1) 7(21.9) 13(40.6) 3(9.4) 32(100) 新 8(40.0) 6(30.0)6(30.0)0(0.0)20(100) 21 回以上 旧 4(20.0)7(35.0) 3(15.0)新 54(58.7) 25(27.2) 13(14.1) 0(0.0) 92(100) 計 旧 26(27.7) 20(21.3) 34(36.2) 14(14.9) 94(100)

舞は比較的若者に人気ではあるが、

注:無回答を除く

旧舞の人気も根強いこと。多くの神楽団は新舞・旧舞とも保持していることなどが考えられる。

表 11. 競演大会・イベント等出演回数と団員募集状況 団(%)

競演大会・イベント等出演回数と団員募 集状況との関連を見ると、出演回数の多い 少ないに関わらず、幅広く団員募集を行っ ている団体が 92.9%であった。

		募集中 (92)	募集して	合計	
競演大会・イベン ト等出演回数	他地区から も可	氏子に限 る	無記入	いない	台計
5 回未満	22(68.8)	4(12.5)	4(12.5)	2(6.3)	32(100)
5 回以上	8(66.7)	0(0.0)	2(16.7)	2(16.7)	12(100)
10 回以上	27(77.1)	2(5.7)	3(8.6)	3(8.6)	35(100)
21 回以上	18(90.0)	2(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	20(100)
合計	75(75.8)	8(8.1)	9(9.1)	7(7.1)	99(100)

注:無回答を除く

表 12. 新舞と旧舞 数(%)

保持数における新舞と旧舞の関連をみると、旧舞を 多く保持する団体は新舞の保持数が少なく、新舞を多 く保持する団体は旧舞の保持数が少ないという傾向が 見られた。

	新舞	新舞								
旧舞	5 未満	5以上	10 以上	合計						
5 未満	10(35.7)	10(35.7)	8(28.6)	28(100)						
5以上	7(30.4)	9(39.1)	7(30.4)	23(100)						
10 以上	28(84.8)	5(15.2)	0(0.0)	33(100)						
20 以上	11(84.6)	1(7.7)	1(7.7)	13(100)						
合計	56(57.7)	25(25.8)	16(16.5)	97(100)						

注:無回答を除く

広島県における神楽活動団体(147 団体)の実態

表 1 .神楽団の系統

	I		T	1	1	
市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足 時期	継承されてい る神楽の区分
安芸高田市	高宮町	1	梶矢神楽団	かじや		
安芸高田市	高宮町	2	来女木神楽団	くるめぎ		
安芸高田市	高宮町	3	佐々部神楽団	ささべ	明治初期	阿須那系高田 神楽
安芸高田市	高宮町	4	羽佐竹神楽団	はさだけ	江戸時代	芸北神楽
安芸高田市	高宮町	5	原田神楽団	はらだ	明治の初期 ごろ	石見神楽阿須 那系
安芸高田市	高宮町	6	山根神楽団	やまね	江戸時代 寛政2年	阿須那系高宮 神楽
安芸高田市	美土里町	7	横田神楽団	よこた		
安芸高田市	美土里町	8	美穂神楽団	みほ	大正6年11 月	石見神楽(広 島系新舞) 八調子
安芸高田市	美土里町	9	日吉神楽団	ひよし		
安芸高田市	美土里町	10	錦城神楽団	きんじょう	江戸時代	石見神楽
安芸高田市	美土里町	11	上河内神楽団	うえごうち		
安芸高田市	美土里町	12	中北神楽団	なかきた		
安芸高田市	美土里町	13	神幸神楽団	しんこう		
安芸高田市	美土里町	14	天神神楽団	てんじん	明治時代	美土里神楽 (西尾山八幡 神楽)
安芸高田市	美土里町	15	青神楽団	あお		
安芸高田市	美土里町	16	塩瀬神楽団	しおせ		
安芸高田市	美土里町	17	広森神楽団	ひろもり	明治時代	八調子高田神 楽(石見神楽 阿須那系)
安芸高田市	美土里町	18	黒瀧神楽団	くろだき		
安芸高田市	美土里町	19	桑田天使神楽団	くわたてんし		
安芸高田市	八千代町	20	八千代神楽団	やちよ		
安芸高田市	吉田町	21	吉田神楽団	よしだ	昭和 47 年	石見神楽系 (高田神楽 八調子)
安芸高田市	吉田町	22	高猿神楽団	たかざる	平成7年11 月	石見神楽 高 田舞 (梶矢 系)
北広島町	豊平町	1	明之森神楽団		4	
北広島町	豊平町	2	阿坂神楽団	あざか		

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足 時期	継承されてい る神楽の区分
北広島町	豊平町	3	今吉田神楽団	いまよしだ	昭和21年8月	高田系八調子・矢 上系六調子
北広島町	豊平町	4	上石神楽団	かみいし	明治 31 年	石見六調子及 び高田系の八 調子
北広島町	豊平町	5	琴庄神楽団	きんしょう	昭和 48 年 1 月	阿須那系高田 舞
北広島町	豊平町	6	戸谷神楽団	とだに	明治初期	岩見神楽
北広島町	豊平町	7	中原神楽団	なかばら		
北広島町	豊平町	8	西宗神楽団	にしむね	明治初期	新舞・旧舞
北広島町	豊平町	9	日之出神楽団	ひので		
北広島町	豊平町	10	吉木神楽団	よしき		
北広島町	豊平町	11	龍南神楽団	りゅうなん	1853 年	旧舞((芸北神 楽)
北広島町	千代田町	12	上川戸神楽団	かみかわど		
北広島町	千代田町	13	中川戸神楽団	なかかわど		
北広島町	千代田町	14	曙神楽団	あけぼの	明治初期	石見神楽
北広島町	千代田町	15	蔵迫神楽団	くらさこ		
北広島町	千代田町	16	八重西神楽団	やえにし	明治時代	
北広島町	千代田町	17	春木神楽団	はるき		
北広島町	千代田町	18	今田神楽団	いまだ	150 年前	石見神楽
北広島町	千代田町	19	有田神楽団	ありだ	江戸~明治 時代	石見神楽(矢 上系)
北広島町	千代田町	20	東山神楽団	ひがしやま		
北広島町	千代田町	21	山王神楽団	さんおう	明治時代中 期	
北広島町	千代田町	22	本地中組神楽団	ほんじなか ぐみ	明治時代	高田舞
北広島町	千代田町	23	上本地神楽団	かみほんじ	130 年前	石見神楽(高 田舞)
北広島町	千代田町	24	砂庭神楽団	さにわ		
北広島町	千代田町	25	川西神楽団	かわにし		
北広島町	千代田町	26	河内神楽団	こうち		
北広島町	千代田町	27	旭神楽団	あさひ		高田舞
北広島町	千代田町	28	川東神楽団	かわひがし		
北広島町	大朝町	29	朝間神楽団	あさま		
北広島町	大朝町	30	筏津神楽団	いかだづ	江戸時代 1842 年	矢上系旧舞・ 高田舞
北広島町	大朝町	31	枝の宮神楽団	えだのみや	大正時代	矢上系山根流
北広島町	大朝町	32	大塚神楽団	おおつか		
北広島町	大朝町	33	茅原神楽団			*休団中
北広島町	大朝町	34	九門明神楽団			*休団中

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足 時期	継承されてい る神楽の区分
北広島町	大朝町	35	郷之崎神楽団	ごうのさき	明治時代	旧舞
北広島町	大朝町	36	小枝神楽団	こえだ	明治 20 年 頃	石見神楽
北広島町	大朝町	37	小市馬神楽団	しょうしば		
北広島町	大朝町	38	田原神楽団	たわら		
北広島町	大朝町	39	磐門神楽団	ばんもん	明治時代	矢上系六調子 神楽
北広島町	大朝町	40	本谷神楽団	ほんたに		
北広島町	大朝町	41	宮迫神楽団	みやざこ		
北広島町	大朝町	42	宮ノ庄神楽団	みやのしょ う		
北広島町	大朝町	43	八栄神楽団			
北広島町	大朝町	44	富士神楽団	ふじ		
北広島町	大朝町	45	平田神楽団	ひらた		
北広島町	大朝町	46	田中原神楽団	たなかばら		*休団中
北広島町	大朝町	47	市神楽団	いち		
北広島町	芸北町	48	雲月女性神楽同好 会	うづつき		
北広島町	芸北町	49	長尾組神楽団	ながおぐみ	天保年間	石見神楽
北広島町	芸北町	50	田尾組神楽団	たおぐみ		
北広島町	芸北町	51	雄鹿原上組神楽団	おがはらか みぐみ		
北広島町	芸北町	52	雄鹿原下組神楽団	おがはらし もぐみ		
北広島町	芸北町	53	橋山神楽団	はしやま		
北広島町	芸北町	54	小原神楽団	こばら		
北広島町	芸北町	55	板村神楽団	いたむら		
北広島町	芸北町	56	苅屋形神楽団	かりやがた	明治時代	石見神楽
北広島町	芸北町	57	才乙旭神楽団	さいおとあ		
北広島町	芸北町	58	川小田神楽団	かわこだ		
北広島町	芸北町	59	細見神楽団	ほそみ	明治 30 年	石見神楽 矢 上系
北広島町	芸北町	60	大暮神楽団	おおぐれ		
北広島町	芸北町	61	移原神楽団	うつのばら		
北広島町	芸北町	62	高野神楽団	たかの	江戸時代	旧舞六調子
北広島町	芸北町	63	溝口神楽団	みぞくち		
安芸太田町	戸河内町	1	猪山神楽団	いのしやま		
安芸太田町	戸河内町	2	小坂神楽団	こさか		
安芸太田町	戸河内町	3	上殿神楽団			
安芸太田町	戸河内町	4	土居神楽団	どい	昭和 42 年	石見神楽(旧 舞)

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足 時期	継承されてい る神楽の区分
安芸太田町	戸河内町	5	寺領神楽団			
安芸太田町	戸河内町	6	一の宮大歳神社 本郷神楽団	いちのみや おおとしじ んじゃ ほ んごう	天文 1530 年頃	石見神楽を原 形とした矢上 系の舞形式 (旧舞)
安芸太田町	戸河内町	7	松原神楽団	まつばら		
安芸太田町	戸河内町	8	小板神楽団	こいた		
安芸太田町	筒賀村	9	三谷神楽団	みたに		
安芸太田町	筒賀村	10	梶原神楽団	かじわら		
安芸太田町	筒賀村	11	坂原神楽団	さかはら		
安芸太田町	加計町	12	高下神楽団	こうげ	明治 22 年 10 月	石見神楽
安芸太田町	加計町	13	堀神楽団	ほり		
安芸太田町	加計町	14	木坂神楽団	きさか		
安芸太田町	加計町	15	川北神楽団	かわきた	明治 26 年	旧舞(芸北神 楽)
安芸太田町	加計町	16	加計神楽保存会	かけかぐら		
安芸太田町	加計町	17	津浪神楽団	つなみ	昭和6年	矢上系山県神 楽
安芸太田町	加計町	18	安野神楽団	やすの	明治 41 年 11 月	旧舞(矢上系 六調子) 新 舞(高田系八 調子)
廿日市市	吉和村	1	吉和神楽団	よしわ	昭和 53 年	石見神楽
廿日市市	佐伯町	2	浅原神楽団	あさはら	明治6年	十二神祇舞
廿日市市	佐伯町	3	河津原神楽団	かわづはら	明治初期頃	十二神祇 及 び 高田八調 子 ほか
廿日市市	佐伯町	4	津田神楽団	つだ		
廿日市市	佐伯町	5	栗栖神楽団	くりす		
廿目市市	佐伯町	6	玖島神楽団	くじま		
広島市	湯来町	1	水内神楽団	みのち	江戸時代	石見系山県神 楽・十二神祇 舞
広島市	湯来町	2	下五原神楽団			
広島市	湯来町	3	鹿ノ道神楽団			
広島市	湯来町	4	大森神楽団	おおもり		
広島市	湯来町	5	愛名園神楽クラブ			
広島市	湯来町	6	打尾谷神楽団			
広島市	湯来町	7	重光神楽団			
広島市	佐伯区	8	石内神楽団	いしうち		

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足 時期	継承されている神楽の区分
広島市	佐伯区	9	五日市芸能保存会	いつかいち		
広島市	佐伯区	10	上河内神楽団	うえごうち		
広島市	佐伯区	11	下河内神楽団	しもごうち	江戸時代 天保年間	十二神祇・芸 北神楽
広島市	佐伯区	12	観音神楽保存会	かんのん		
広島市	佐伯区	13	高井神楽団	たかい	江戸時代後 期 約 160 年前	継承して安芸神 では、高田 をで、本楽しています。
広島市	安佐北区	14	鈴張神楽団	すずはり	昭和 26 年 8	芸北神楽
広島市	安佐北区	15	飯室神楽団	いむろ	昭和 57 年	芸北神楽・山 県舞(矢上 系)・高田舞 (阿須那系)
広島市	安佐北区	16	あさひが丘神楽団			
広島市	安佐北区	17	宮乃木神楽団	みやのき	平成 10 年 1 月	阿須那系・梶 矢手八調子
広島市	安佐北区	18	綾西神楽団	あやにし		
広島市	安佐北区	19	亀山神楽団	かめやま	昭和 47 年	石見神楽
広島市	安佐北区	20	宮崎神楽団	みやざき		
広島市	安佐北区	21	諸木郷土芸能保存 会	もろき	明治時代	十二神祇神楽
広島市	安佐北区	22	岩上八幡神社神祇 神楽保存会	いわのうえ はちまんじ んじゃ	昭和54年6 月(明治の 中期)	十二神祇神楽
広島市	安佐北区	23	玖村神楽保存会	くむら		
広島市	安佐北区	24	小河原火舞保存会	おがわらひ まい	明治 20 年	神祇系大和流 神楽
広島市	安佐北区	35	亀崎神社吹火・神 楽保存会	かめざきじ んじゃふき び	大正4年	
広島市	安佐北区	36	上矢口郷土芸能保 存会	かみやぐち	平成 5 年 4 月	十二神祇神楽
広島市	安佐南区	25	上温井神楽保存会	かみぬくい		
広島市	安佐南区	26	三城田神楽団	さんじょう だ	江戸時代・ 嘉永年間	十二神祇 及 び 石見系

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足 時期	継承されてい る神楽の区分
広島市	安佐南区	27	西原上十二神祇神 楽保存会	にしはら		
広島市	安佐南区	28	大塚神楽団	おおづか	江戸時代	十二神祇
広島市	安佐南区	29	阿刀神楽団	あと	江戸時代	十二神祇
広島市	安佐南区	30	下向神楽団	しもむかい		
広島市	安佐南区	31	西山本神楽保存会	にしやまも と		
広島市	西区	32	井口地区民芸保存 会	いのくち		
広島市	西区	33	古江神楽保存会	ふるえ		
広島市	東区	34	戸坂神楽保存会	へさか		
三次市	穴笠町	1	穴笠神楽団	あながさ	昭和 60 年 4 月	阿須那系 梶 矢神楽
三次市	作木村	2	伊賀和志神楽団	いかわし	300~600年 前	石見神楽の 内、邑智神楽 の阿須那派
三次市	布野村	3	横谷神楽団	よこたに	昭和 60 年 4 月	石見神楽(八 調子高田舞)
三次市	甲奴町	4	甲奴神楽同好会	こうぬ	昭和 42 年 2 月	三谿(みたに) 系備後神楽

表2.神楽団の構成員

				<u>.</u>		 汝			年	齢構	成		
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	備考	10代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代 以上
安芸高田市	1	梶矢神楽団											
安芸高田市	2	来女木神楽団											
安芸高田市	3	佐々部神楽団	23	23	0		0	2	5	7	2	4	3
安芸高田市	4	羽佐竹神楽団	20	20	0		0	2	4	3	6	3	2
安芸高田市	5	原田神楽団	20	20	0		0	3	7	5	2	3	0
安芸高田市	6	山根神楽団	19	16	3		0	0	3	3	4	7	2
安芸高田市	7	横田神楽団											
安芸高田市	8	美穂神楽団	19	18	1		0	1	6	4	4	4	0
安芸高田市	9	日吉神楽団											
安芸高田市	10	錦城神楽団	21	20	1		0	1	1	6	2	3	8
安芸高田市	11	上河内神楽団											
安芸高田市	12	中北神楽団											
安芸高田市	13	神幸神楽団											
安芸高田市	14	天神神楽団	22	20	2		0	2	9	1	5	4	1
安芸高田市	15	青神楽団											
安芸高田市	16	塩瀬神楽団											
安芸高田市	17	広森神楽団	27	20	7		0	4	9	0	1	7	6
安芸高田市	18	黒瀧神楽団											
安芸高田市	19	桑田天使神楽団											
安芸高田市	20	八千代神楽団											
安芸高田市	21	吉田神楽団	18	14	4		0	4	5	3	2	4	0
安芸高田市	22	高猿神楽団	12	11	1		0	1	6	0	3	2	0
北広島町	1	明之森神楽団											
北広島町	2	阿坂神楽団											
北広島町	3	今吉田神楽団	23	21	2		0	5	5	4	2	5	2
北広島町	4	上石神楽団	22	20	2		0	4	6	3	3	2	4
北広島町	5	琴庄神楽団	22	19	3		0	4	3	6	5	2	2
北広島町	6	戸谷神楽団	17	17	0	女性同好 会 10	0	0	2	2	4	4	4
北広島町	7	中原神楽団											
北広島町	8	西宗神楽団	21	19	2		0	1	3	4	6	2	5
北広島町	9	日之出神楽団							<u></u>		<u></u>		
北広島町	10	吉木神楽団											
北広島町	11	龍南神楽団	22	18	4		0	0	6	6	5	3	2
北広島町	12	上川戸神楽団											
北広島町	13	中川戸神楽団				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,				
北広島町	14	曙神楽団	22	20	2		0	3	4	8	7	0	0

				_	日員数	<u></u> 数	年齢構成						
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	備考	10 代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代 以上
北広島町	15	蔵迫神楽団											
北広島町	16	八重西神楽団	21	20	1		0	3	4	6	4	4	0
北広島町	17	春木神楽団											
北広島町	18	今田神楽団	20	17	3		0	6	2	5	1	4	2
北広島町	19	有田神楽団	24	23	1		0	3	7	2	4	5	3
北広島町	20	東山神楽団											
北広島町	21	山王神楽団	21	20	1		0	2	3	11	4	0	1
北広島町	22	本地中組神楽団	23	23	0		0	1	6	5	5	5	1
北広島町	23	上本地神楽団	30	25	5	,	0	6	7	9	4	4	0
北広島町	24	砂庭神楽団											
北広島町	25	川西神楽団											
北広島町	26	河内神楽団											
北広島町	27	旭神楽団	16	16	0		0	2	6	3	3	2	0
北広島町	28	川東神楽団											
北広島町	29	朝間神楽団											
北広島町	30	筏津神楽団	22	21	1		0	3	2	4	5	4	4
北広島町	31	枝の宮神楽団	24	20	4		0	1	6	2	3	10	2
北広島町	32	大塚神楽団						6	.>		\$		
北広島町	33	茅原神楽団											
北広島町	34	九門明神楽団											
北広島町	35	郷之崎神楽団	18	17	1		0	1	2	1	6	6	2
北広島町	36	小枝神楽団	16	15	1		0	1	1	2	4	5	3
北広島町	37	小市馬神楽団											
北広島町	38	田原神楽団											
北広島町	39	磐門神楽団	18	13	5		0	0	0	13	2	0	3
北広島町	40	本谷神楽団	9	9	0		0	0	3	1	1	4	0
北広島町	41	宮迫神楽団											
北広島町	42	宮ノ庄神楽団											
北広島町	43	八栄神楽団						<u></u>					
北広島町	44	富士神楽団											
北広島町	45	平田神楽団											
北広島町	46	田中原神楽団											
北広島町	47	市神楽団											
北広島町	48	雲月女性神楽同 好会				·····							
北広島町	49	長尾組神楽団	14	14	0		0	0	2	3	6	3	0
北広島町	50	田尾組神楽団						ļ					-
北広島町	51	雄鹿原上組神楽団											

				7	日員数	 汝	年			年齢構成				
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	備考	10 代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代 以上	
北広島町	52	雄鹿原下組神楽団												
北広島町	53	橋山神楽団												
北広島町	54	小原神楽団												
北広島町	55	板村神楽団												
北広島町	56	苅屋形神楽団	23	19	4		0	3	8	3	5	4	0	
北広島町	57	才乙旭神楽団												
北広島町	58	川小田神楽団												
北広島町	59	細見神楽団	14	14	0	•	0	1	2	7	2	1	1	
北広島町	60	大暮神楽団				•		3						
北広島町	61	移原神楽団												
北広島町	62	高野神楽団	16	15	1		0	1	4	4	1	2	4	
北広島町	63	溝口神楽団												
安芸太田町	1	猪山神楽団												
安芸太田町	2	小坂神楽団												
安芸太田町	3	上殿神楽団												
安芸太田町	4	土居神楽団	24	24	0		0	2	7	3	6	4	2	
安芸太田町	5	寺領神楽団				•		3						
安芸太田町	6	一の宮大歳神社 本郷神楽団	24	24	0		0	3	1	8	4	5	3	
安芸太田町	7	松原神楽団									•			
安芸太田町	8	小板神楽団				•		3						
安芸太田町	9	三谷神楽団												
安芸太田町	10	梶原神楽団												
安芸太田町	11	坂原神楽団				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		3						
安芸太田町	12	高下神楽団	13	13	0	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0	0	2	3	3	4	1	
安芸太田町	13	堀神楽団												
安芸太田町	14	木坂神楽団												
安芸太田町	15	川北神楽団	18	16	2		0	3	1	5	2	4	3	
安芸太田町	16	加計神楽保存会												
安芸太田町	17	津浪神楽団	17	13	4		0	0	5	4	2	4	2	
安芸太田町	18	安野神楽団	18	17	1		0	5	5	3	3	2	0	
廿日市市	1	吉和神楽団	25	23	2		0	6	2	5	6	6	0	
廿日市市	2	浅原神楽団	24	18	6		3	12	3	3	3	0	0	
廿日市市	3	河津原神楽団	24	_	_		0	13	3	5	3	0	0	
廿日市市	4	津田神楽団												
廿日市市	5	栗栖神楽団							•	•	•			
廿日市市	6	玖島神楽団												
広島市	1	水内神楽団	20	19	1		0	4	4	5	6	1	0	

				<u> </u>	日員数	 汝	年齢構成						
市町村	no	神楽団名	合	男	女	備考	10代	10	20	30	40	50	60代
			計	JJ	9	UH 'T	以下	代	代	代	代	代	以上
広島市	2	下五原神楽団											
広島市	3	鹿ノ道神楽団											
広島市	4	大森神楽団											
広島市	5	愛名園神楽クラ ブ											
広島市	6	打尾谷神楽団											
広島市	7	重光神楽団											
広島市	8	石内神楽団											
広島市	9	五日市芸能保存 会											
広島市	10	上河内神楽団											
広島市	11	下河内神楽団	19	17	2		0	6	5	5	2	0	1
広島市	12	観音神楽保存会				·····							
広島市	13	高井神楽団	19	15	4		0	3	3	5	4	1	3
広島市	14	鈴張神楽団	18	18	0		0	4	6	0	7	1	0
広島市	15	飯室神楽団	27	22	5	·	0	13	4	4	1	5	0
広島市	16	あさひが丘神楽 団											
広島市	17	宮乃木神楽団	13	13	0		0	4	5	0	0	4	0
広島市	18	綾西神楽団				·							
広島市	19	亀山神楽団	18	15	3		0	2	7	3	2	2	2
広島市	20	宮崎神楽団											
広島市	21	諸木郷土芸能保 存会	32	30	2		0	0	2	2	2	4	22
広島市	22	岩上八幡神社神 祇神楽保存会	34	26	8		0	0	2	4	8	15	5
広島市	23	玖村神楽保存会											
広島市	24	小河原火舞保存 会	25	20	5		0	15	2	1	2	2	3
広島市	35	亀崎神社吹火・神 楽保存会	12	11	1		0	0	0	0	5	5	2
広島市	36	上矢口郷土芸能 保存会	60	40	20		0	20	7	6	5	11	11
広島市	25	上温井神楽保存											
広島市	26	三城田神楽団	18	18	0	S	0	6	4	0	0	3	5
広島市	27	西原上十二神祇 神楽保存会											
広島市	28	大塚神楽団	22	19	3		0	10	3	1	1	3	4

				7	日員数	汝	年齢構成						
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	備考	10代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代 以上
広島市	29	阿刀神楽団	20	16	4		0	3	5	3	3	4	2
広島市	30	下向神楽団											
広島市	31	西山本神楽保存会											
広島市	32	井口地区民芸保 存会											
広島市	33	古江神楽保存会											
広島市	34	戸坂神楽保存会											
三次市	1	穴笠神楽団	28	18	10		10	3	2	8	3	0	2
三次市	2	伊賀和志神楽団	22	20	2		0	3	6	3	2	6	2
三次市	3	横谷神楽団	28	24	4		0	0	5	9	4	8	2
三次市	4	甲奴神楽同好会	17	11	6		0	0	0	4	1	4	8

表 3.上演状況

					上演の状況
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神 祭り	競演大会イベン ト等出演回数
安芸高田市	1	梶矢神楽団			
安芸高田市	2	来女木神楽団			
安芸高田市	3	佐々部神楽団	佐々部八幡神社	9月	20
安芸高田市	4	羽佐竹神楽団	山崎八幡神社	9月	20
安芸高田市	5	原田神楽団	原田八幡神社	9月	30
安芸高田市	6	山根神楽団	沖原山神社	11月	5
安芸高田市	7	横田神楽団	横田八幡神社 竜王社		
安芸高田市	8	美穂神楽団	久喜八幡神社 ・(地教 寺)荒神社	10 月	25
安芸高田市	9	日吉神楽団			
安芸高田市	10	錦城神楽団	川角山八幡神社	11月	4
安芸高田市	11	上河内神楽団	上河内峠尻八幡神社		
安芸高田市	12	中北神楽団			
安芸高田市	13	神幸神楽団			
安芸高田市	14	天神神楽団	天神社・西尾山八幡神社	10 月	20
安芸高田市	15	青神楽団			
安芸高田市	16	塩瀬神楽団	潮瀬八幡神社		
安芸高田市	17	広森神楽団	広森神社 山中神社	10 月	20
安芸高田市	18	黒瀧神楽団			
安芸高田市	19	桑田天使神楽団			
安芸高田市	20	八千代神楽団			
安芸高田市	21	吉田神楽団	清神社	7月	25
安芸高田市	22	高猿神楽団	ありません (郷土芸能継 承として活動を始めた)		15
北広島町	1	明之森神楽団			
北広島町	2	阿坂神楽団			
北広島町	3	今吉田神楽団	亀山八幡神社	10 月	6
北広島町	4	上石神楽団	熊野新宮神社	11月	10
北広島町	5	琴庄神楽団	庄原八幡神社・天日神社	10 月	30
北広島町	6	戸谷神楽団	戸谷亀山八幡神社	10 月	4
北広島町	7	中原神楽団			
北広島町	8	西宗神楽団	西宗八幡神社	10 月	20
北広島町	9	日之出神楽団			
北広島町	10	吉木神楽団			
北広島町	11	龍南神楽団	土井八幡神社	10 月	3
北広島町	12	上川戸神楽団			
北広島町	13	中川戸神楽団			
北広島町	14	曙神楽団	亀尾山八幡神社	10 月	10
北広島町	15	蔵迫神楽団			

		神水口			上演の状況	
市町村 	no	神楽団名	氏神神社名	氏神 祭り	競演大会イベン ト等出演回数	
北広島町	16	八重西神楽団	寺原八幡神社・有間八幡 神社	10 月	20	
北広島町	17	春木神楽団				
北広島町	18	今田神楽団	今田八幡神社・今田新宮 神社	10 月	15	
北広島町	19	有田神楽団	有田八幡神社	10 月	15	
北広島町	20	東山神楽団	石井谷八幡神社			
北広島町	21	山王神楽団	山末神社	10 月	30	
北広島町	22	本地中組神楽団	本地中野神社	10 月	20	
北広島町	23	上本地神楽団	本地八幡神社	10 月	35	
北広島町	24	砂庭神楽団				
北広島町	25	川西神楽団				
北広島町	26	河内神楽団				
北広島町	27	旭神楽団	南方八幡神社	10 月	15	
北広島町	28	川東神楽団				
北広島町	29	朝間神楽団				
北広島町	30	筏津神楽団	筏津大歳神社	10 月	15	
北広島町	31	枝の宮神楽団	枝宮八幡神社	10 月	5	
北広島町	32	大塚神楽団				
北広島町	33	茅原神楽団				
北広島町	34	九門明神楽団				
北広島町	35	郷之崎神楽団	龍山八幡神社	10 月	3	
北広島町	36	小枝神楽団	枝宮神社	10 月	2	
北広島町	37	小市馬神楽団				
北広島町	38	田原神楽団				
北広島町	39	磐門神楽団	天磐門別神社	11月	2	
北広島町	40	本谷神楽団	八栄神社	10 月		
北広島町	41	宮迫神楽団				
北広島町	42	宮ノ庄神楽団				
北広島町	43	八栄神楽団				
北広島町	44	富士神楽団				
北広島町	45	平田神楽団				
北広島町	46	田中原神楽団				
北広島町	47	市神楽団				
北広島町	48	雲月女性神楽同好 会				
北広島町	49	長尾組神楽団	八幡大歳神社	10 月	5	
北広島町	50	田尾組神楽団				
北広島町	51	雄鹿原上組神楽団				
北広島町	52	雄鹿原下組神楽団				
北広島町	53	橋山神楽団				
北広島町	54	小原神楽団				

					上演の状況
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神 祭り	競演大会イベン ト等出演回数
北広島町	55	板村神楽団			
北広島町	56	苅屋形神楽団	宮谷神社	11月	15
北広島町	57	才乙旭神楽団			
北広島町	58	川小田神楽団			
北広島町	59	細見神楽団	細見大歳神社	10 月	2
北広島町	60	大暮神楽団			
北広島町	61	移原神楽団			
北広島町	62	高野神楽団	大元神社	10 月	3
北広島町	63	溝口神楽団			
安芸太田町	1	猪山神楽団			
安芸太田町	2	小坂神楽団			
安芸太田町	3	上殿神楽団			
安芸太田町	4	土居神楽団	大歳神社	11月	20
安芸太田町	5	寺領神楽団			
安芸太田町	6	一の宮大歳神社 本郷神楽団	一宮大歳神社	11月	3
安芸太田町	7	松原神楽団			
安芸太田町	8	小板神楽団			
安芸太田町	9	三谷神楽団	三谷八幡神社		
安芸太田町	10	梶原神楽団			
安芸太田町	11	坂原神楽団			
安芸太田町	12	高下神楽団	高下大歳神社	10 月	4
安芸太田町	13	堀神楽団			
安芸太田町	14	木坂神楽団			
安芸太田町	15	川北神楽団	大歳神社・八幡神社	10 月	20
安芸太田町	16	加計神楽保存会			
安芸太田町	17	津浪神楽団	津浪河内神社・三島神社	10 月	25
安芸太田町	18	安野神楽団	鷹崎八幡神社	11月	1
廿日市市	1	吉和神楽団		10 月	10
廿日市市	2	浅原神楽団	亀山神社	10 月	1
廿日市市	3	河津原神楽団	河津原八幡神社	10 月	3
廿日市市	4	津田神楽団			
廿日市市	5	栗栖神楽団			
廿日市市	6	玖島神楽団			
広島市	1	水内神楽団	和田八幡神社・皆草八幡 神社	10 月	20
広島市	2	下五原神楽団			
広島市	3	鹿ノ道神楽団			
広島市	4	大森神楽団			
広島市	5	愛名園神楽クラブ			
広島市	6	打尾谷神楽団			
広島市	7	重光神楽団			
広島市	8	石内神楽団			

					上演の状況
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神 祭り	競演大会イベン ト等出演回数
広島市	9	五日市芸能保存会			
広島市	10	上河内神楽団			
広島市	11	下河内神楽団	河内神社	10 月	7
広島市	12	観音神楽保存会			
広島市	13	高井神楽団	八幡神社	10 月	20
広島市	14	鈴張神楽団	宮崎神社	11月	10
広島市	15	飯室神楽団	土井泉神社	10 月	20
広島市	16	あさひが丘神楽団	_		
広島市	17	宮乃木神楽団	野原八幡神社	4月	30
広島市	18	綾西神楽団			
広島市	19	亀山神楽団	両延神社	10 月	25
広島市	20	宮崎神楽団			
広島市	21	諸木郷土芸能保存 会	吉備津神社	10 月	3
広島市	22	岩上八幡神社神祇 神楽保存会	岩上神社	10 月	2
広島市	23	玖村神楽保存会			
広島市	24	小河原火舞保存会	松尾神社	10 月	3
広島市	35	亀崎神社吹火・神 楽保存会	亀崎神社	10 月	2
広島市	36	上矢口郷土芸能保 存会	新宮神社	10 月	2
広島市	25	上温井神楽保存会			
広島市	26	三城田神楽団	岡崎神社	11月	5
広島市	27	西原上十二神祇神 楽保存会			
広島市	28	大塚神楽団	宮ヶ瀬神社	10 月	4
広島市	29	阿刀神楽団	阿刀明神社	10 月	3
広島市	30	下向神楽団			
広島市	31	西山本神楽保存会			
広島市	32	井口地区民芸保存 会			
広島市	33	古江神楽保存会			
広島市	34	戸坂神楽保存会			
	1	穴笠神楽団	天津神社	10 月	
三次市	2	伊賀和志神楽団	伊賀和志天満宮	10 月	20
三次市 三次市 三次市	3	横谷神楽団			25
三次市	4	甲奴神楽同好会	須佐神社 本郷八幡神社 西野西山八幡神社	11月	

表 4.保持演目

市町村	no	神楽団名	保持演目
安芸高田市	1	梶矢神楽団	
安芸高田市	2	来女木神楽団	
安芸高田市	3	佐々部神楽団	[旧舞]神降し・神迎え・八幡・鐘馗・八岐大蛇・天神・山伏・大江山・胴の口・恵美須・塵倫 [新舞]葛城山・紅葉狩・悪狐伝前編・悪狐伝中編・子持山姥・戻り橋前編・戻り橋後編・日本武尊
安芸高田市	4	羽佐竹神楽団	[旧舞]神降し・神迎へ・岩戸・八幡・塵倫・鐘馗・天神・恵比須・大江山・八岐大蛇 [新舞]大化改新・日本武尊・悪狐伝・鈴鹿山・曽我兄弟・下り八島・葛城山・戻り橋
安芸高田市	5	原田神楽団	[旧舞]神降し・神迎え・四方祓い・鍾馗・塵倫・天岩戸・八幡・恵比須・八岐大蛇・日本武尊 [新舞]土蜘蛛・紅葉狩・下り八島・戻り橋・大江山・桜井の駅・滝夜叉姫・悪狐伝中編・大江山三段返し
安芸高田市	6	山根神楽団	[旧舞]神降し・神迎え・式三拝・剣舞・悪魔祓い・天岩戸・鐘馗・八幡・安珍清姫・胴の口・天神・貴船・鞨鼓切目・鈴鹿山・八岐大蛇・塵倫・大江山・羅生門・子掛山・恵比須・山伏・熊襲征伐・やよし・山の大王・五竜王・天孫降臨 [新舞]曽我兄弟・承平の乱・悪狐伝・下り八島・玉藻前
安芸高田市	7	横田神楽団	神降し・神迎え・吾妻山・八幡・鍾馗・塵倫・伊吹山・ 筑波山・葛城山・紅葉狩・日振島・恵比須・戻り橋・羅 生門・大江山・八岐大蛇・悪狐伝中編・滝夜叉姫・日本 武尊
安芸高田市	8	美穂神楽団	[旧舞]神迎え・神降し・八幡・鍾馗・天神・恵比寿・塵倫・八岐の大蛇 [新舞]日本武尊・戻り橋・羅生門・土蜘蛛(葛城山)・悪狐伝・滝夜叉姫・伊吹山・鬼八塚・大江山・紅葉狩
安芸高田市	9	日吉神楽団	
安芸高田市	10	錦城神楽団	[旧舞]塵倫 [新舞]日本武尊・土蜘蛛・戻り橋・悪狐伝 中編・八岐大蛇・武蔵ヶ原・胡子舞
安芸高田市	11	上河内神楽団	神降し・八幡・鍾馗・恵比須・岩戸・天神・八岐大蛇・ 塵倫・滝夜叉姫・葛城山・日本武尊・子掛山・悪狐伝・ 曽我兄弟・紅葉狩・羅生門・戻り橋・大江山・新編伊吹 山・草薙剣
安芸高田市	12	中北神楽団	
安芸高田市	13	神幸神楽団	
安芸高田市	14	天神神楽団	[旧舞]神降し・神迎え・胴の口・恵比寿舞・八幡・大江山・八岐大蛇・天神・塵倫 [新舞]悪狐伝中篇・葛城山・熊襲・鈴鹿山・滝夜叉姫・二所の朝廷・紅葉狩・戻り橋・続戻り橋・山姥

市町村	no	神楽団名	保持演目
安芸高田市	15	青神楽団	
安芸高田市	16	塩瀬神楽団	神降し・鍾馗・恵比須・塵倫・衣川・八幡・葛城山・鈴 鹿山・滝夜叉姫・日本武尊・悪狐伝中編・悪狐伝最終編・ 天神記・八岐大蛇
安芸高田市	17	広森神楽団	[旧舞]神降し・恵比寿・八幡・塵倫・天岩戸・大江山・ 八岐大蛇 [新舞]息吹山・壇浦・土蜘蛛・戻り橋・山姥・ 滝夜叉姫・悪狐伝中編・日本武尊 他
安芸高田市	18	黒瀧神楽団	
安芸高田市	19	桑田天使神楽 団	
安芸高田市	20	八千代神楽団	
安芸高田市	21	吉田神楽団	神降し・神迎え・悪狐伝・土蜘蛛・日本武尊・滝夜叉姫・ 塵倫・大江山・戻り橋・山姥・羅生門・鐘馗・八岐大蛇・ 恵比須舞・元就公
安芸高田市	22	高猿神楽団	[新舞]・神降し・八幡・悪狐伝・日本武尊・鐘馗・滝夜 叉姫・土蜘蛛・塵倫・八岐大蛇・戻り橋 ・羅生門・恵比 寿・神奈備
北広島町	1	明之森神楽団	
北広島町	2	阿坂神楽団	
北広島町	3	今吉田神楽団	[旧舞]神降し・黒塚・塵倫・八岐大蛇・大江山・鐘馗 [新舞]神武・紅葉狩・日本武尊・天神・戻り橋・壇乃浦・滝夜叉姫・葛城山
北広島町	4	上石神楽団	[旧舞]潮祓・神迎え・胴の口・天の岩戸・塵倫・日本武尊・大江山・八岐の大蛇・天神・安達ヶ原・鐘馗・八幡・吉川元春・曽我兄弟 [新舞]滝夜叉姫・葛城山・戻り橋(前編)・鈴鹿山・紅葉狩・悪狐伝(中編)
北広島町	5	琴庄神楽団	神降し・塵倫・悪狐伝・鍾馗・滝夜叉姫・大江山・土蜘蛛・山姥・日本武尊・八岐大蛇・源九郎義経・奥州平泉・ 恵比寿
北広島町	6	戸谷神楽団	[旧舞]八岐の大蛇・大江山・天の岩戸・天神・鍾馗・恵 比寿舞・八幡等 [新舞]葛城山・紅葉狩・滝夜叉姫・戻 り橋・悪狐伝 等
北広島町	7	中原神楽団	
北広島町	8	西宗神楽団	[旧舞]大江山・鍾馗・西征・八幡・塵倫・那須の原の狐 退治・恵比寿舞・八岐大蛇 [新舞]筑波山・紅葉狩・滝 夜叉姫・吉備津彦・悪狐伝
北広島町	9	日之出神楽団	
	10	吉木神楽団	
北広島町	10		
北広島町北広島町	11	龍南神楽団	[旧舞]大江山・塵倫・天神・鐘馗・天の岩戸・八幡・八岐大蛇 [新舞]悪狐伝・紅葉狩・戻り橋

市町村	no	神楽団名	保持演目
北広島町	14	曙神楽団	[新舞]神降し・戻り橋(前編・後編)・大江山・紅葉狩・ 滝夜叉姫・葛城山・悪狐伝(前編・後編)・鈴鹿山・子持 山姥・八岐大蛇
北広島町	15	蔵迫神楽団	
北広島町	16	八重西神楽団	[旧舞]神降し・恵比寿舞・八岐大蛇 [新舞]土蜘蛛・紅葉狩・奥州安達ヶ原の鬼女・鬼同丸退治・悪狐退治・滝夜叉姫・戻り橋・羅生門・大江山
北広島町	17	春木神楽団	
北広島町	18	今田神楽団	[旧舞]神降し・八岐大蛇 [新舞]日本武尊・葛城山・滝 夜叉姫・殺生石・戻り橋・鈴鹿山・塵倫
北広島町	19	有田神楽団	[旧舞]神降し・四剣・天の岩戸・鐘馗・八幡・悪狐退治・ 塵倫・紅葉狩・恵比寿舞・重来・大江山・八岐大蛇
北広島町	20	東山神楽団	神降し・塵倫・鍾馗・天神記・滝夜叉姫・日本武尊・土 蜘蛛・紅葉狩・大江山・悪狐伝・戻り橋・八岐大蛇・伊 服岐山
北広島町	21	山王神楽団	[旧舞]八岐大蛇・天の岩戸・恵比寿 [新舞]悪狐伝・紅 葉狩・羅生門・滝夜叉姫・猿島の乱・鈴鹿山・鈴鹿・土 蜘蛛・塵倫
北広島町	22	本地中組神楽団	[旧舞]神降し・胴の口明け・八つ花・大江山 [新舞]八岐大蛇・羅生門・戻り橋・日本武尊・紅葉狩・葛城山・ 滝夜叉姫・子持山姥・悪狐伝
北広島町	23	上本地神楽団	[新舞]四方拝・悪狐退治・土蜘蛛・戻り橋・羅生門・大 江山・鈴鹿山・紅葉狩・滝夜叉姫・新滝夜叉姫・日本武 尊・五条橋・前編壇ノ浦・後編壇ノ浦・大蛇退治
北広島町	24	砂庭神楽団	
北広島町	25	川西神楽団	
北広島町	26	河内神楽団	
北広島町	27	旭神楽団	[新舞]紅葉狩・悪狐退治・滝夜叉姫・武蔵野ヶ原・天満 天神・八岐の大蛇
北広島町	28	川東神楽団	
北広島町	29	朝間神楽団	
北広島町	30	後津神楽団	[旧舞]潮払い・神迎え・天の岩戸・塵倫・鈴鹿山・黒塚・神武・鐘馗・大江山・八岐大蛇・恵比須 [新舞]羅生門・大江山・鈴鹿山・葛城山
北広島町	31	枝の宮神楽団	[旧舞]神迎え(四人舞)・神武・塵倫
北広島町	32	大塚神楽団	
北広島町	33	茅原神楽団	
北広島町	34	九門明神楽団	
北広島町	35	郷之崎神楽団	[旧舞]四方祓・四人舞・神武・塵倫・鍾馗・八幡・天の 岩戸・八岐大蛇・三浦・大江山・恵比須
北広島町	36	小枝神楽団	[旧舞]大江山・八幡・八岐大蛇・三浦・塵倫 [新舞]山 姥・悪狐伝・戻り橋
北広島町	37	小市馬神楽団	7 - 10-000

市町村	no	神楽団名	保持演目
北広島町	38	田原神楽団	
北広島町	39	磐門神楽団	[旧舞]儀式舞:潮祓い・神迎え・胴の口・岩戸・四神・ 天蓋・御座 能舞:塵倫・神武・天神・熊襲・大江山・ 鐘馗・黒塚・八衝
北広島町	40	本谷神楽団	[旧舞]三浦・神武・塵倫・大江山・鐘馗・八幡
北広島町	41	宮迫神楽団	
北広島町	42	宮ノ庄神楽団	
北広島町	43	八栄神楽団	
北広島町	44	富士神楽団	
北広島町	45	平田神楽団	
北広島町	46	田中原神楽団	
北広島町	47	市神楽団	
北広島町	48	雲月女性神楽 同好会	
北広島町	49	長尾組神楽団	[旧舞]奉幣・塩祓・尊神・胴の口明・八幡・四神・岩戸・ 塵倫・天神・神武・鬼返・黒塚・五郎王子・猿田彦・貴 船・比良坂・恵比須・八上・鐘馗・八岐大蛇
北広島町	50	田尾組神楽団	
北広島町	51	雄鹿原上組神 楽団	
北広島町	52	雄鹿原下組神 楽団	
北広島町	53	橋山神楽団	
北広島町	54	小原神楽団	
北広島町	55	板村神楽団	
北広島町	56	苅屋形神楽団	[旧舞] 奉幣、潮祓、尊神、胴の口開け、四神、天蓋、 塵輪、磐戸、八幡、天神、神武、八岐大蛇、矢旗、黒塚、 大江山、恵比須、鍾馗
北広島町	57	才乙旭神楽団	
北広島町	58	川小田神楽団	
北広島町	59	細見神楽団	[旧舞]四方祓・尊神・四神・天神・神武・塵倫・八幡・ 鐘馗・八岐大蛇・恵比寿・黒塚・大江山・岩戸・五郎の 王子・胴の口明
北広島町	60	大暮神楽団	
北広島町	61	移原神楽団	
北広島町	62	高野神楽団	[旧舞]潮祓・手草・かっこ・えびす・胴の口・剣舞・神武・天岩戸・天神・貴船・黒塚・皇后・七代・八幡・塵輪・鐘馗・大江山・八岐大蛇
北広島町	63	溝口神楽団	
安芸太田町	1	猪山神楽団	
安芸太田町	2	小坂神楽団	
安芸太田町	3	上殿神楽団	

市町村	no	神楽団名	保持演目
安芸太田町	4	土居神楽団	[旧舞]四方祓・弓八幡・神武・天神・岩見重太郎・滝夜 叉姫・鯛釣・塵倫・頼政鵺退治・鐘馗・大江山・平忠盛・ 八岐大蛇
安芸太田町	5	寺領神楽団	
安芸太田町	6	一の宮大歳神 社 本郷神楽 団	[旧舞]天磐戸・恵比寿舞・大江山・四道将軍・鐘馗・塵倫・八つ花・矢上姫・尊神・八幡・平将門・将門の乱・大歳舞・入鹿退治・八岐の大蛇 [新舞]悪狐伝・葛城山・戻り橋・紅葉狩・日本武尊・子持山姥・羅生門
安芸太田町	7	松原神楽団	
安芸太田町	8	小板神楽団	
安芸太田町	9	三谷神楽団	四方拝・胴の口・尊神・八幡・塵倫・頼政・熊襲・鍾馗・四神・矢幡・鹿島・大江山・日本武尊(旧)・黒塚・天の岩戸・恵比須・八岐大蛇・滝夜叉姫・鈴鹿山・日本武尊(新)・紅葉狩
安芸太田町	10	梶原神楽団	
安芸太田町	11	坂原神楽団	
安芸太田町	12	高下神楽団	[旧舞]岩見重太郎・八岐の大蛇・大江山・塵輪・大楠公・ 源頼政・鐘馗・四神・恵比寿・尊神(そんじん)・弓八幡
安芸太田町	13	堀神楽団	
安芸太田町	14	木坂神楽団	
安芸太田町	15	川北神楽団	[旧舞]四方祓・四神・尊神・塵輪・鍾馗・恵比須・八幡・大江山・安達ヶ原・八岐大蛇・神武・天の岩戸・胴の口開
安芸太田町	16	加計神楽保存 会	
安芸太田町	17	津浪神楽団	[旧舞]四方祓・弓八幡・塵倫・鍾馗・大楠公・大江山・ 天の岩戸・八岐大蛇・恵比須・紅葉狩・那須野ケ原・四神・胴の口明
安芸太田町	18	安野神楽団	[旧舞]四方祓・東夷征伐・恵比須・塵倫・八岐大蛇 [新舞]葛城山・戻り橋・滝夜叉姫・紅葉狩
廿日市市	1	吉和神楽団	[旧舞]大江山・羅生門・八岐大蛇・塵倫・安達ヶ原・天神 [新舞]滝夜叉姫
廿日市市	2	浅原神楽団	[旧舞]十二神祗舞:猿田彦・社水・三刀・恵比寿・薙刀・ 八岐大蛇 神祗舞:お神楽・神祇太鼓 六調子舞:塵倫・ 羅生門 [新舞]八調子舞:葛城山・岩舟(オリジナル)
廿日市市	3	河津原神楽団	
廿日市市	4	津田神楽団	
廿日市市	5	栗栖神楽団	
廿日市市	6	玖島神楽団	
広島市	1	水内神楽団	[旧舞]塵倫・八岐大蛇・十二神祇舞 [新舞]紅葉狩・悪狐伝・鈴鹿山・戻り橋・三上山・曽我兄弟・感応山(創作)・厳島(創作)

市町村	no	神楽団名	保持演目
広島市	2	下五原神楽団	
広島市	3	鹿ノ道神楽団	
広島市	4	大森神楽団	
広島市	5	愛名園神楽ク ラブ	
広島市	6	打尾谷神楽団	
広島市	7	重光神楽団	
広島市	8	石内神楽団	
広島市	9	五日市芸能保 存会	
広島市	10	上河内神楽団	
広島市	11	下河内神楽団	[旧舞]十二神祇神楽 神降し(詩のみ)・へんばい・露払い・四天王子唄の舞・行灯・四天・薙刀・二刀・つりざん・合戦・狐舞・えびす・関・八岐大蛇・塵倫 [新舞] 土蜘蛛・大江山・戻り橋・悪狐伝・滝夜叉姫・山姥
広島市	12	観音神楽保存 会	
広島市	13	高井神楽団	[旧舞]神降し・塵倫・鐘馗・恵比須・八岐大蛇 [新舞] 土蜘蛛・紅葉狩・日本武尊・悪狐伝・滝夜叉姫 [安芸十 二神祇系]煤払い(猿田彦)・ツリ舞(ツリニ ツリ刀)・二 刀舞・長刀舞・灯篭舞・弓舞・旗舞(残念ながら十二神祇 は現在活動を休止しています)
広島市	14	鈴張神楽団	[旧舞]大江山・塵倫・潮祓 [新舞]神降し・塵倫・日本 武尊・滝夜叉姫・土蜘蛛・戻り橋・羅生門・山姥・八岐 大蛇・悪狐伝(中編)・紅葉狩
広島市	15	飯室神楽団	[旧舞]四方祓・天の岩戸・塵倫・鐘馗・大楠公・八岐大蛇・恵美須 [新舞]日本武尊・悪狐伝・土蜘蛛・滝夜叉姫・紅葉狩・戻り橋
広島市	16	あさひが丘神 楽団	
広島市	17	宮乃木神楽団	[旧舞]神降し・神迎え・天の岩戸・鐘馗・塵倫・八岐大蛇 [新舞]土蜘蛛・宝刀伝・羅城門・大江山・源頼政・紅葉狩・日本武尊・伊吹山・恵比須・滝夜叉姫・天孫降臨・山姥・那須野ヶ原・胴の口・一条戻り橋
広島市	18	綾西神楽団	
広島市	19	亀山神楽団	[旧舞]八岐大蛇・塵倫・八幡・神武・天神・恵比須 [新舞]紅葉狩・滝夜叉姫・羅生門・悪狐伝・安珍清姫・葛城山・戻り橋

市町村	no	神楽団名	保持演目
広島市	20	宮崎神楽団	
広島市	21	諸木郷土芸能保存会	神降・幣舞・刀舞・大鬼 中鬼 小鬼・芝郎 きずき舞・旗舞・露ばらいの舞・こうせんかき舞・岩戸舞・姫の舞すすはき舞・世鬼の舞
広島市	22	岩上八幡神社 神祇神楽保存 会	
広島市	23	玖村神楽保存 会	
広島市	24	小河原火舞保 存会	神おろし・幣舞・鯛つり・旗舞・刀舞・大鬼 小鬼・岩戸 開き・煤はき・薙刀舞・関舞
広島市	35	亀崎神社吹 火・神楽保存 会	十二神祇神楽舞
広島市	36	上矢口郷土芸 能保存会	[上矢口十二神祇神楽]露払い・大鬼小鬼・旗舞・煤掃・ 薙刀舞・鯛釣り・神降し・天岩戸・世鬼
広島市	25	上温井神楽保 存会	
広島市	26	三城田神楽団	[十二神祇]神降し・煤掃き・旗舞・二刀舞・弓舞・薙刀舞・三匹鬼の舞・関の舞・鯛つり・所望分 [新舞]塵倫・山姥・悪狐伝・葛城山・八幡・鈴鹿山
広島市	27	西原上十二神 祇神楽保存会	
広島市	28	大塚神楽団	煤払・神降・四天・行燈・大鬼 小鬼・薙刀・鯛釣・剣二 刀・狐・三方・所望分・岩戸切・旗・関
広島市	29	阿刀神楽団	鼓の口開け 湯立舞・煤掃き・神降し・しめ口・恵美須舞・ 荒神・五刀・鬼退治・天の岩戸・所務分け・世鬼・将軍
広島市	30	下向神楽団	
広島市	31	西山本神楽保 存会	
広島市	32	井口地区民芸 保存会	

市町村	no	神楽団名	保持演目
広島市	33	古江神楽保存会	
広島市	34	戸坂神楽保存 会	
三次市	1	穴笠神楽団	[新舞]神降し・塵倫・羅生門・伊吹山・滝夜叉姫・葛城山・熊襲征伐・恵比寿舞・山姥・鈴鹿山・源頼政・八岐大蛇 [穴笠オリジナル]将門の乱・明神山
三次市	2	伊賀和志神楽団	[旧舞]鈴合せ(県無形民俗文化財)・神降ろし(市無形 民俗文化財)・天の岩戸(市無形民俗文化財)・悪切・ 恵比須・八幡・鍾馗・塵倫・天神・大江山・山伏・田村・ みさき・八岐大蛇・山の大王・貴船・鞨鼓切目・胴の口 など [新舞]悪狐伝・戻り橋・葛城山・小掛山
三次市	3	横谷神楽団	[旧舞] 神迎え・鍾馗・八幡・塵倫・日本武尊・八岐大蛇・恵比寿 [新舞] 悪狐伝(中編)・土蜘蛛・滝夜叉姫・紅葉狩・羅生門
三次市	4	甲奴神楽同好 会	神事 (能)八重垣・恵比寿(得意演目)

表 5.団員募集状況とプロフィール

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸高田市	1	梶矢神楽団			所伝によれば、神社古文書により、江戸時代 中期頃、羽須美村の斉藤宮司並びに三上宮司よ り伝授される。昭和29(1954)年広島県の無形民 俗文化財神楽(演目「鍾馗」)に指定される。
安芸高田市	2	来女木神楽団			来女木神楽は、江戸末期、伊賀和志(いかわし)の三上薩摩守武雄神官から伝授された9名の団員により、現神楽団の前進である日吉八幡神楽団が結成され今日まで伝承されている。昭和57年3月6日広島県重要無形民俗文化財として団が指定された。昔ながらの神楽を伝承するよう団員一同努力している。
安芸高田市	3	佐々部神楽団	募集中		所伝によれば、神社古文書により、江戸時代 中期頃、羽須美村の斉藤宮司並びに三上宮司よ り伝授される。昭和29(1954)年広島県の無形民 俗文化財神楽(演目「鍾馗」)に指定される。 神楽団設立以後、栄枯盛衰を経て現在に至る。 鬼や狐がクライマックスで天蓋へ上るのが特徴 です。
安芸高田市	4	羽佐竹神楽団	募集し ていな い		毎年9月21日の夜に羽佐竹八幡神社へ奉納される神楽である。本神楽の起源については、それを知るための資料とすべきものがない。しかし、演技可能の演目は全部で34種。このうちいわゆる新舞を除いてもなお22曲という多数の旧舞がある。地元の所伝によれば、幕末のころ村民の垣内松太郎なる者が、石見国邑智郡阿須那の神職から神楽の伝授を受けたのがこの神楽の発祥であるという。これによって考えれば、本神楽は阿須那系神楽の大体を忠実に伝承しているとしてよい。(広島県の文化財より) 羽佐竹神楽は420有余年の歴史をもち、昭和47年、地域全戸(130戸)を会員として、羽佐竹神楽後援会を創立し、昭和54年広島県無形民俗文化財の指定を受け、平成3年には羽佐竹神楽少年団を結成し、子供たちに地域文化の学習と神楽後継者の育成にも努めている。歴史と伝統のある、羽佐竹神楽の灯を消すまいと、研鑽を重ねている。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸高田市	5	原田神楽団	募集中	他地区のも可	毎年9月14日の夜に原田八幡神社に奉納治初 有半楽である。所伝によると、本神楽習得して、 を本神楽である。所伝によが川根の神楽を習得して、村内に広めたりのでで、 一大村内に広めたりのでで、 一大村内に広めたりでで、 一大村内に広めたりにが明らなりで、 一大村内に広めたりにが明らなりにで、 一大村内に広めたりは河内甚右衛門の大田では近りの で、山根をは一のが、 一大村内に広めたりは河内甚右衛門の数名を伝・ で、山内もいのが現在のいて、 のがいるでは、 一大村内では、 一大村内に広めで、 一大村内に広めで、 一大村内に広めで、 一大村内に広めで、 一大村内に広めらは河下で、 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内にない。 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内に広が、 一大村内にない。 一大村内にない。 一大村内には、 一大村内には、 一大村内には、 一大村内には、 一大村内には、 一大村内には、 一大村内には、 一大村のでは、 一大村のでは、 一大が、 一が、 一が、 一が、 一が、
安芸高田市	6	山根神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	二百年以上の伝統を持ち現在に至っている。 古来からの舞方を伝え、迫力のある神楽を目指 している。現在は、活動の拠点を広島市におい て精進している。 寛政 2 年 (西暦 1790 年) 山根 の住民数名が、石見の国阿須那の賀茂神社神官 14 代目斎藤一正、大江孝徹の代(第 119 代当格 天皇の御代)に習いに行ったのが始まりという ことです。 山間に包まれた山根の地に古来伝 承されてきた神楽は歴史的な意義においても芸 術的あるいは民俗的な価値においても高く評価 されておるものです。 昭和 29 年 4 月 23 日に「剣舞」が広島県無形民 俗文化財に指定されております。競演大会で優 劣を競うより祭りの神楽(奉納)を大切にすたれ かけている演目の復興に力を入れるように心が けています。
安芸高田市	7	横田神楽団			横田神楽団の歴史については定かではありませんが、古老の話にわり推測すると、明治以前まで遡ることができます。昭和20年代に入り新舞が創作されるといち早く取り組み、昨今は新舞中心の奉納を続けています。十数年前から若手の育成に努め、その成長と共に各地の大会などにお招きいただくことも多くなり、皆様方にご周知いただける団となりました。今後とも後継者育成に努めるとともに、神楽らしい神楽にこだわった団活動を続けたいと思っています。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸高田市	8	美穂神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	大正6年に地教寺集落の若者が、犬伏舞子連中として結成。その後他の神楽団と合同して犬 伏神楽団・大林神楽団として活動していた。昭和38年に隣接の島根県瑞穂町の神楽団と合流し、美土里町の『美』と瑞穂町の『穂』をとって美穂神楽団として再結成した。県境を挟んだ小さな地域のため、団員不足に悩まされながらも、近年若い者が入団するなどして、安芸高田市の神楽門前湯治村での神楽公演や、秋祭り・イベントなど年間25回程度出演している。
安芸高田市	9	日吉神楽団			日吉神楽団は、明治〜大正の頃は中北地域の 人たちと一緒になって、山田組舞子連として活動していました。昭和に入り、現在の日吉神楽 団として戦争中も途絶えることなく活動してきました。昭和54年には、「西尾山八幡神楽」として広島県無形民俗文化財の指定を受けるなど、活発な活動を続けています。
安芸高田市	10	錦城神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	錦城神楽団の歴史は古く、江戸時代中期頃には川角山八幡神社に神楽を奉納していました。昭和10年には明治神宮および靖国神社に神楽奉納している伝統ある神楽団です。江戸時代に伝えられた石見六調子の旧舞を継承するとともに現在では八調子の新舞も演目に採り入れています。昭和54年には「川角山八幡神楽」として広島県無形民俗文化財の指定を受けました。
安芸高田市	11	上河内神楽団			上河内神楽団は、明治の頃は本村神楽組として、旧本村地域唯一の神楽団として活動していました。 その後、大正になって上河内八幡神社を中心とした地域の神楽団として現在に至っています。氏神 神社である上河内八幡神社例祭での、神楽の奉納をはじめ、県内各地で活発に活動を続けています。
安芸高田市	12	中北神楽団			中北神楽団の神楽は、かなり古くから行われていたようですが、以前は地域の祭りの際に、日吉神楽 団の前身である山田組舞子連といっしょになって地元有志が神楽の奉納をしていたようです。一時期 戦争によって中断していましたが昭和54年には「西尾山八幡神楽」として広島県無形民俗文化財に指 定されるなど、活発な活動を続けています。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸高田市	13	神幸神楽団			神幸神楽団は、明治〜昭和の初め頃は、津間 八幡神楽舞子連社中として、活動していました。 その後神幸神楽団となって、昭和24年〜27年 には、各地の競演大会で20回余りの優勝をかざ るなど、現在の美土里神楽の名を知らしめる基 礎となりました。昭和54年には、「津間八幡神 楽」として広島県無形民俗文化財の指定を受け るなど、活発な活動を続けています。
安芸高田市	14	天神神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	広島県安芸高田市美士里町北地区の神楽団。 凡そ500年前に京都の北野天満宮の分社として開かれた天神社の神楽団。天神神楽団は、明治から昭和の初め頃に最も盛んに活動している記録が残っています。一時期戦争によって活動を中止していましたが、昭和48年に活動を復活させ、昭和54年には「西尾山八幡神楽」として広島県無形民俗文化財の指定を受けました。復活以降、競演大会にも多数出場し、昭和53年から55年まで3年連続の芸石神楽競演大会新舞の部優勝、昭和57年広島県神楽競演大会優勝、平成元年には芸石神楽競演大会新舞の部優勝などの実績があります。現在まで先輩方が築き上げてきた伝統を継承していくと共に、新作神楽の創造にも団員一同日々研鑽を積んでいます。
安芸高田市	15	青神楽団			青神楽団は、伝統的な石見六調子の神楽を舞い続け、今に残している神楽団です。神楽団の歴史は古く、始まりは明らかではありませんが、明治30年頃には活動していたようです。石見六調子の「神迎え」は、いち早く昭和29年4月に広島県無形民俗文化財として指定を受けました。多くの神楽団が新作高田舞、新舞に移行するなか、この伝統的な旧舞を守り伝えています。
安芸高田市	16	塩瀬神楽団			塩瀬神楽団は昭和11年頃、塩瀬八幡神社に神楽を奉納するために、氏子の有志が集まり活動が始められました。現在は、県内各地で開催される神楽競演大会への出場を始め、学校や福祉施設への訪問を行っています。毎年塩瀬八幡神社秋季例祭で、神祇舞をはじめとした神楽を奉納しています。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸高田市	17	広森神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	広島県安芸高田市美土里町北地区の神楽団。 凡そ500年前に京都の北野天満宮の分社として 開かれた天神社の神楽団。天神神楽団は、明治 から昭和の初め頃に最も盛んに活動している記 録が残っています。一時期戦争によって活動を 中止していましたが、昭和48年に活動を復活 させ、昭和54年には「西尾山八幡神楽」として 店場県無形民俗文化財の指定を受けました。 復活以降、競演大会にも多数出場し、昭和53 年から55年まで3年連続の芸石神楽競演大会 新舞の部優勝、昭和57年広島県神楽競演大会 新舞の部優勝、昭和57年広島県神楽競演大会 優勝などの実績があります。現在まで先輩方が 築き上げてきた伝統を継承していくと共に、新 作神楽の創造にも団員一同日々研鑽を積んでい ます。
安芸高田市	18	黒瀧神楽団			黒瀧神楽団は、古くから神社奉納は行っていましたが、本格的な黒瀧神楽団としての活動は、明治の後期にはじめられ、戦争中一時中断していましたが、戦後すぐに再開され現在に至っています。毎年9月の西尾山八幡神社の例祭で神楽を奉納し10月には、黒瀧神社で奉納神楽を行っています
安芸高田市	19	桑田天使神楽団			桑田天使神楽団のある桑田の集落では、江戸時代後半までに、神楽が奉納されていたという記録が残されており、かなり古くから神楽が行われていました。舞や奏楽のなかにも、石見六調子神楽の古い形を残しており、昭和29年には、「神降し」がいち早く広島県無形民俗文化財として指定を受けるなど、歴史のある神楽団です。
安芸高田市	20	八千代神楽団			能舞は筋が平易でわかりやすく言葉は比較的に整っており、舞い方もも写実的に近い動きを多くとりいれています。高田神楽と呼んでいますが、原型は石見八調子神楽であり、更に阿須那地方で改訂しました。調子に六調子と八調子がありますが、八調子は明治のはじめころ六調子を改変されたものであり、急調子である点が好まれて見八調子系の阿須那派神楽と言われていた神楽は、石見八調子系の阿須那派神楽と言われています。土師の舞の温光神で決しまりに関かる故事にならったものです。この土師神楽を伝承していくために昭和58年8月、八千代芸能保存会神楽部(八千代神楽団)として伝承されることになりました。

-			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸高田市	21	吉田神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和46年ごろ神楽好きが集まり、公民館活動 (神楽教室)を経て昭和47年に吉田神楽団を結 成した。昭和57年には、子ども神楽団(郡山子 ども神楽団)を結成し後継者の育成に力をいれ ている。 現在子ども神楽出身が中心となり活動してい る。吉田町は戦国の武将である毛利元就の生誕 の地である、元就の武徳をたたえ、毛利家の存 亡をかけて戦った郡山合戦(天文9年)を素材に オリジナル神楽「元就公」を演目に加えている。 この神楽は、1997年のNHK大河ドラマ「毛利 元就」の放送及び元就生誕500年祭を機に数多 く出演依頼があり、大変好評をいただいている。
安芸高田市	22	高猿神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	平成7年、郷土芸能継承として梶矢系神楽を中心に、昔ながらの神楽に力を入れ後継者育成をめざした団員で活動を始めました。 団員は現在、青年層を中心に活動しており、活気のある舞を目指しております。主な活動としては神楽共演・競演大会、文化祭、各種イベント、秋祭り神楽奉納、老人ホーム慰問等で公演しています。 近年、共演・競演大会など大きな会の参加に恵まれ、緊張し充実した活動ができ、技術の取得など大きく成長できたと思っています。年間をとおし、練習と十数回の公演が主な活動ですが、地域の文化として引き継ぐためにも団員同日々精進していきたいと思っています。
北広島町	1	明之森神楽 団			
北広島町	2	阿坂神楽団			創立時期は定かではありませんが、嘉永4 (1851) 年頃と言われています。旧舞を主体に伝統を守り続けてきましたが、ここ数年は後継者不足に悩みながらも女性団員の参加も得て新舞に挑戦しております。今後も古き良き伝統を守り続けられるよう団員一同頑張ってまいります。まだまだ未熟な神楽団ですが、皆様のあたたかいご声援をよろしくお願いいたします。
北広島町	3	今吉田神楽 団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和20年、終戦後の混乱期に若者たちの心のよりどころとして23名で結成。以来、地元亀山八幡宮氏子はじめ多くの皆様のご愛顧をいただき、今にいたっております。 旧舞では大江山、塵倫、黒塚、鍾馗、大蛇等、新舞は天神・葛城山、紅葉狩り、日本武尊、壇ノ浦等が演舞できます。新舞が中心でありますが、現在20名の団員一丸となって、郷土芸能の継承と皆様に喜んでいただける神楽が舞えるよう日々練習に励んでいます。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	4	上石神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	当地の神楽の起源は明治の初期と記されています。明治31年、島根県矢上村より青年会に伝授され、団体としては上石奏楽会として発足しています。以来1年も休むことなく神楽を奉納し続けていますが、その陰には数々の障害を乗り越えてきた諸先輩のたゆまぬ努力があったことを忘れることはできません。観衆の皆様に好まれる神楽を…と今後益々、団員の結束を固め、神楽の伝承に精進し郷土芸能の発展に寄与してまいりたいと思います。
北広島町	5	琴庄神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和 48 年に琴庄神楽同行会として発足以後、昭和 60 年に神楽団として新たなスタートを切り、今年で 20 年を迎えることになりました。おかげさまで現在では各地の大会等で受賞の栄誉を受けることができるまでになりましたが、いつまでも初心を忘れる事なく、地元の方々やファンの皆様の声援を何よりの励みとしてもますます精進して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。
北広島町	6	戸谷神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	戸谷神楽団の創設は明治初期と伝えられ、現存する資料は明治 13 年 (1979 年) が確認されています。依頼古来よりの神楽を郷土芸能として、団員から団員へと演じながら伝えられてきています。演目は 6 調子の優美で力強い大江山、天の岩戸、八岐の大蛇や、八調子の変化に富んだ早い動きの高田系の新舞葛城山、紅葉狩、滝夜叉姫などを演じています。また女性で同好会を結成し 6 調子の新舞紅葉狩、悪狐伝を秋祭りなどに演じています。本神楽は五穀豊穣を祝い、神楽を鑑賞し飲み食いながら一夜をすごしていましたが、競演大会イベントの催し物として年間を通じて見ることができ、今日のショウ的神楽に変わり観客を含め変化してきています。これからもお互い切磋琢磨し郷土芸能の継続し後生に伝えていきたいと思います。
北広島町	7	中原神楽団			当神楽団の創設は定かではありませんが、現在 20 名の団員で練習を積んでいるところです。 演目は、新舞・旧舞 10 種目ありますが、奉納時間の関係もあり隔年で奉納する演目もあります。団員一同、古い伝統芸能の保存・伝承に努力しているところです。
北広島町	8	西宗神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	西宗神楽団は、県北の神楽どころ山県郡豊平町の西宗に有り、明治の初期に西宗神楽組と組織された後に、奉楽会、西宗神楽団となり、六調子の旧舞と八調子の新舞を伝承してきました。平成7年からは新舞を美土里町横田神楽団から習い練習に励んでいます。現在では各地の神楽競演大会にも出場し、また、秋祭りやイベント等に出演しています。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	9	日之出神樂団			
北広島町	10	吉木神楽団			当神楽団は明治33年頃の創立とされており、 平成11年には創立100周年記念行事を開催しま した。今年、団員として新人4名が加入し、団 員のムードも盛り上がっています。また、この 春より可部地区の女子高生3名が、始めて悪狐 伝の練習に取り組まれています。昨年、地元秋 祭りで神楽「紅葉狩り」を舞った子供達も、引 き続き頑張っています。先輩の皆様方が築いて こられた郷土芸能を少しでも伝承していきたい と思いますので、ご指導のほどお願いいたしま す。
北広島町	11	龍南神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	当神楽団は、豊平町の名峰龍頭山の南麓ということで、龍南神楽団という名称が生まれました。嘉永6年に作成されたと思われる台本が神楽があったということになります。その古習といるを現在の若い世代に受け継ぎ、日々練でも出るのでは、各地の競演大会にいるのと同時に、見ていただける方々に感動と喜びではないただける方々に感動と喜びであるな舞をすべく、団員の伝統であるであるような舞をすべく、団員の伝統である著いた神楽を継承・保存していきながら、新しいことにも挑戦していく「チャレンジ精神」をもいたとにも挑戦していく「チャレンジ精神」をサットーに、練習をしていきたいと思っております。今後ともより一層努力をしてまいりますので、これからも何卒ご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。
北広島町	12	上川戸神楽団			文清・天保年間の発足とも言われる古い神楽団で、旧舞を大切に保存・継承しています。神楽団が有する古い衣装の中には、文化財として非常に価値のある木彫りの面をはじめ、草木染めの衣装、紙の鑓などもあり、舞とともにこれらも大切に保存しいます。
北広島町	13	中川戸神楽団			明治8年、地元吉藤八幡神社の氏子により結成されました。最近では、新しい神楽に演出を交えて楽しく見てもらうオリジナル神楽を仕上げており、特に「スーパーカグラ」と銘打ったアステールプラザでの公演は好評です。
北広島町	14	曙神楽団	募集中		新舞のみを上演する神楽団。子持ち山姥、大江山、戻り橋(前・後)などを得意としますが、そのうち「子持ち山姥」は佐々木順三作の台本通りに上演し、古くから舞いでけ継がれている演目です。団員のすべてが氏子であり、氏子演やしての神楽奉仕が中心ですが、地域外の公演やイベントにも積極的に参加しています。神楽団の設立は定かではないが、明治初期には活躍していました。伝統を守り、もっぱら今も地元のお祭りには夜を徹して奉納しています。また、各地のイベントや祭りに出演するなど、活発に活動しています。団員一同、修練に励んでいます。なにとぞ温かいご支援とご指導のほどよろしくお願いいたします。

				 集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	15	蔵迫神楽団			明治初期の発足以来、旧舞を中心に舞う神楽団として、現在でも9演目位はこなしています。 演目は、神降ろし、悪狐伝、塵輪、鍾馗、大江山、黒塚、熊襲征伐などで、なかでも天の岩戸、八岐大蛇を得意とします。
北広島町	16	八重西神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	団の発足時期は昭和46年で、前身の寺原神楽団は、明治初期からあったといわれています。現在、団員24名で構成しており、郷土芸能の神楽を保存伝承するため、地元の秋祭りをはじめ各地域のイベントや神楽大会に参加しています。現在は、以前からある新舞の演目に加え、八重西神楽団オリジナルの「奥州安達ヶ原の鬼女」「鬼同丸退治」など、新たな演目も創造しています。
北広島町	17	春木神楽団			江戸時代後期の発足と言われる伝統ある神楽 団ですが、美土里町の佐々木順三氏作の神舞を 継承しており、ロック調の早いテンポの演舞が 特徴となっています。紅葉狩り、滝夜叉姫など の演目を得意とし、なかでも「安珍清姫」は当 神楽団の自作です。各地の秋祭り、町外公演に も積極的に参加しています。
北広島町	18	今田神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	発足は約150年前に遡ります。得意とする新舞の「殺生石」は、他の神楽団ではあまり舞われることのない珍しい演目。「能と神楽」と言うタイトルで能との共演を実現して非常に好評を博したことがあります。これまで受け継いできた舞を大切にし、観る人がわかりやすい舞を創造し、舞と楽、観客が一体となるような神楽を目指す。平成13年に高田舞を取り入れ、団員の和を大切にし、楽しく、厳しくそしてマナー良く練習に励んでいる。 平成16年第34回広島県神楽競演大会・努力賞(第3位)「日本武尊」 平成17年第14回神楽の里千代田競演大会・準優勝「日本武尊」
北広島町	19	有田神楽団	募集中	氏子に限る	壬生の神職井上氏が、今から約400年前の文化年間にこの地方に導入した石見矢上系の神楽。六拍子のテンポがゆったりた石見神楽の旧舞をかたくなに伝承し、新舞は一切舞わないのが有田神楽団の特徴です。10月最終土曜日に有田八幡宮の秋祭りに舞われる八岐の大蛇をはじめ、神降ろし、天の岩戸は、広島県の無形民俗文化財に指定されています。有田八幡神社を中心に氏子の人々によって、神楽団を編成い、秋の収穫を祝福し氏神様に感謝する神事として、今日に伝承されてきたものである。地元の秋祭りには、夜が明けるまで舞い続けます。が、今日では各地のイベント等に招待を受け、四季を通じて上演奉納している。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	20	東山神楽団			郷土芸能の継承はもとより、「創造とスピードある神楽」の創作をめざしています。構成人数が多いことが特長で、子供神楽を継承することかに始まり、そのメンバーが大人の神楽を継承し、子供を指導するという循環を形成するなかで、郷土芸能の後継者育成をめざしています。
北広島町	21	山王神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	岩戸神楽の舞い方を単一化し、より興味的な舞をめざし郷土芸能の保存伝承に務めています。明治半ばの発足以来、先輩より語り受け継いだ演目に加え、オリジナルの「鈴鹿山」「三上山」など、新舞を中心に上演しています。明治中期に山末神社氏神祭に神楽を奉納するため、神社周辺の人々によって「下本地神楽団」として発足し、昭和25年、神社に奉られている「山王権現」から名を頂き「山王神楽団」となり現在にいたります。
北広島町	22	本地中組神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昔は旧舞が主体で舞っていましたが、現在は 新舞が主流となっています。その新舞の中でも、 「子持ち山姥」は各地で公演するときに好評。 その他にも、子持ち山姥、紅葉狩、戻り橋、大 江山、滝夜叉姫、八岐大蛇など多数の演目を有 し、一年を通じて各地で演じています。昭和63 年、西中国選抜神楽大会(加計)優勝・平成4年 西中国選抜神楽大会(加計)準優勝・平成5年芸 石神楽競演大会3位・平成9年広島県神楽競演 大会(サンプラザ)準優勝。
北広島町	23	上本地神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	明治10年に発足。新舞「壇の浦」など、現代的な新舞を採り入れつつも「悪狐退治」は全神楽団員が舞える伝統を守っています。「大江山」に代表されるように、旧舞独特の道行、立会いを伝承しています。地元の本地八幡神社氏神祭で舞われるほか、各地のイベントや祭りにも参加しています。今年130周年を迎えます。
北広島町	24	砂庭神楽団			江戸後期より、壬生神社の若者が中心に納めるようになったのが始まりです。砂庭とは、八百万の神が舞い立たれるのにふさわしく、清らかで砂を蒔いた庭のように美しい場所という意味で、神楽団がこの地にあって、いつまでも人々の心にみたすことを願って命名されました。壬生流の旧舞の伝承を主体に、競演大会では好成績をあげています。
北広島町	25	川西神楽団			旧舞主体に演じていますが、若手の育成により、徐々に新舞も伸びつつあります。八岐大蛇、葛城山、悪狐伝などの演目を得意としています。 地区外公演に関しては多くは出ていませんが、他の神楽団同様に条件次第では公演を受けています。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	26	河内神楽団			大正時代の初め、郷土芸能の保存伝承を目的 に発足した神楽団です。悪狐退治、大江山、八 岐大蛇、日本武尊、戻り橋、滝夜叉姫などを得 意としてきましたが、現在は神楽団員の不足で、 あまり地区外公演には出ていません。ただし、 条件次第では出張公演も可能となっています。
北広島町	27	旭神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	戦前までは、六拍子の旧舞を舞っていましたが、戦後間もなく高田舞を導入し、各地の競演大会等で優秀な成績を上げ活躍しました。その後、後継者不足の時期もありましたが、最近若者の入団により、地域を上げて郷土芸能の伝承に取り組んでいます。老若男女、古い舞を継承しながらも、新しいことに取り組んでいます。競演なども大事ですが、祭りのように見るものを楽しくそして幸せにするような神楽を目指しています。
北広島町	28	川東神楽団			
北広島町	29	朝間神楽団			
北広島町	30	筏津神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	1842 年、後津若衆連によって神楽奉納された と枝ノ宮社伝記に掲載されております。後津神 楽団の発足はその頃と思われます。その後矢上 系(旧舞)の神楽が導入され、昭和に入り高田舞 (新舞)を習得し、幾多の先輩諸氏によって習い 受け継がれてきました。 現在、10 代~40 代の舞子が主となり、観客に 喜ばれる神楽をしようと日々、練習を行ってい ます。
北広島町	31	枝の宮神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	天保 13(1842)年、枝宮神社宮司(19代)が石見 川本で神楽研修を納め、筏津の若衆に伝授する。 翌年から筏津神楽は枝宮神社で奉納神楽。枝ノ 宮は大正の頃矢上系山根流を学び現在にいた る。
北広島町	32	大塚神楽団			大塚神楽団の発足は明確ではないが、明治30年代頃と思われる。その起源は島根県石見町矢上の「矢上神楽」と伝えられています。旧舞として受け継いできましたが、昭和20年後半に千代田町から新舞が伝えられ、新旧両舞を伝承していました。近年になり気分を新たにし地域の皆様に喜んでいただける神楽をと日々練習に励んでます。今後とも、ご指導ご声援よろしくお願いします。
北広島町	33	茅原神楽団			
北広島町	34	九門明神楽 団			

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	35	郷之崎神楽団	募集中	他地区 からの 入団 可	神楽団設立は正確なところは判りませんが、現存する資料によると文人の時代以前のものあります。神楽の流れは石見神楽を継承していますが、これは島根県邑南町(旧石見町)矢上の神楽団から伝授されたものであり、これに至る経緯については、相当の苦労があったと伝え聞いています。戸数約30戸からなる集落で、団員16名あまりで構成する神楽団で、旧舞の伝統を守っています。若手の団員がなかなか入らず、30~40代に頑張ってもらっているのが現状です。でもなんとか、郷之崎神楽団の舞を続けて、若い人たちに伝えていきたいと思い、団員一同日々精進しています。成績(優勝)・旧大朝町競演大会・陰陽神楽競演大会・第4回吉和神楽競演大会。
北広島町	36	小枝神楽団	募集中	他地区から可可	大朝町で神楽が舞われたという記録は「大朝 枝宮の社記」の天保 13 年 (1842) の条に「神楽、 村内若衆舞いけり」とあるのが初見で、当時は 「邑智神楽」の流れをくむものだったと思われます。明治 20 年代半ばに石見町矢上から新たな神楽が入ってきましたが、小枝神楽団もこの頃結成したものと考えられ、当時伝えられた神楽が現在まで伝承されています。近年では、高田舞(新舞)も習得し奉納している。 主な活動状況は、次のとおりである。1992 年香港公演、長野信州博覧会公演、広島県神楽競演大会、おおあさ鳴滝露天温泉神楽競演大会、大満町天満宮神楽奉納、大朝町神楽競演大会、地元神楽奉納、その他町内外イベント等において年間を通じて神楽を上演している。
北広島町	37	小市馬神楽 団			
北広島町	38	田原神楽団			
北広島町	39	磐門神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	当団は、氏子15戸をもって構成されている小規模な団体です。特徴としては、儀式舞と呼ばれる神楽舞に特に力を入れています。儀式舞は他の舞と比べて物語性がなく、一見退屈な面があるが、舞の基本中の基本であり、なおかつ神楽たるものの知識の宝庫でもある。その神楽舞の方程式とも言うべき儀式舞をおろそかにせず、基本をしっかりとらえ、マスターし、他の舞にも生かしている。
北広島町	40	本谷神楽団	募集し ていな い		古くは旧町内の競演で優勝したこともあるようですが、現在は一年の無事と豊作に感謝し、 氏神祭りに本来の目的と思われる神楽を、奉納 しているのみです。
北広島町	41	宮迫神楽団			
北広島町	42	宮ノ庄神楽 団			団長 大下 俊幸 北広島町新庄 3287
北広島町	43	八栄神楽団			

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	44	富士神楽団			創設時期は定かではありませんが、明治年間に島根県の矢上系の神楽団から伝授を受けて、富士神社の秋祭り奉納神楽を行ったものと思われます。昭和26年には、美土里町の神幸神楽団から8調子の教えを受けて悪狐伝などを舞い始め、昭和45年に交代で奉納神楽を行っていた茅原地区、境地区の神楽団と合併して現在の富士神楽団となりました。
北広島町	45	平田神楽団			
北広島町	46	田中原神楽団			
北広島町	47	市神楽団			
北広島町	48	雲月女性神 楽同好会			1998年に発足しました。主に北広島町の芸北地域の神楽好きな女性が集まって、活動をしています。
北広島町	49	長尾組神楽団	募集中	他地区 から団 入団 可	比較的少人数で、地元神社の四季折々の、お祭りや例大祭等における奉納神楽を中心に活躍中である。年1~2回競演大会にも出演し、芸のレベルアップを図っている。矢上系の囃子で塵倫・天神などを、また美濃系のゆったりとした六調子で鍾馗・矢上姫などを舞分け、貴島・大地良坂・猿田彦など、近頃ともに、まり、はさい舞の伝見足取りが長く後生に残ることを願いないち、日々稽古精進を重ねている。長尾組神楽団の起源は天保年間と伝え聞く、当時八幡村の医師、後藤春燐氏が石見の国、、美濃郡久城神楽団より伝習したものと聞き及んでいる。神楽団の特徴は演目により六調子と、調子を変えて舞っている。
北広島町	50	田尾組神楽団			ここ数年来、神楽に興味を抱いた若い人達が 神楽団に入団し、団員の新旧交代がなされてい る。今日は、方々の競演大会に出場し、若い人 達を中心に熱心に練習されて団員の神楽に対す る情熱が一層高まっています。
北広島町	51	雄鹿原上組 神楽団			明治初期、島根県七条(現在の金城町)より 伝承され、以来今日まで当時の舞方をそのまま 受け継いでいる。団員の減少などでこの間存続 の難しい時季もあったが、昭和40年以降団員数 も安定し現在は20名を越え、15演目が披露 できる。しかし儀式舞といわれる演目について、 廃れつつあるものもあり、これの復活がこれか らの課題である。
北広島町	52	雄鹿原下組 神楽団			本神楽団の結成は定かではないが、明治初期 と聞き及んでいる。私共の神楽団では、先輩各 位から引き継いだままの所作、楽を演じている。 伝統ある郷土芸能としての神楽の姿を、次の 世代に伝えるよう団員一同努力している。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	53	橋山神楽団			橋山神楽団は、明治20年石見の国矢上村より伝わったものであり、最初その伝承を受けたものは斉藤総三郎・斉藤安衛門等によって今日に至る。 橋山神楽団の現在の団員数は8名です。地元の団員3名と、広島方面から帰郷する5名です。毎年、橋山大歳神社の秋祭りの奉納神楽だけを舞うことにしております。9月に入ってから毎週土曜日に練習をして、10月の最終土曜日の秋祭りに神楽を奉納しています。
北広島町	54	小原神楽団			小原神楽団は島根県矢上より、およそ 280 年前に教わり、今日まで続けられている。昭和 61 年に大元神楽が県の無形文化財に指定されている。現在も大元神楽の系統を継ぎ 7年ごとの式年祭には、大歳神社に、吉ヶ口の中州に祀られている大天神を迎え、六調子の神を盛大伝承している。現在は少人数で団員ではあるが郷土芸能伝承のため一生懸命に練習に励んでいる。
北広島町	55	板村神楽団			有志数名により創設。川小田神楽団に教えを 請い活動を始めるものの、数年後に人手不足に より休止状態となる。昭和 45 年活動を再開、奥 中部落からも団員を迎え、10 を越える演目を修 得する。現在は小集落のため、人手不足に悩ま せ続けられ、活動を続けている。
北広島町	56	ガ屋形神楽 団	募集中	他地区から可	対屋形神楽団は、広島県の北西部に位置する北広島町ガ屋形地区に、明治10年頃、同地区や周辺地区の有志の尽力により「苅屋形神楽連中」として創設されました。舞の形式は、石見・本人を原型とした優雅で重厚ないわゆる大人遺産である旧来からの儀式舞や能式舞にである旧来からの儀式舞や能式舞にである旧来からの儀式舞や能式舞にである旧来がらの機関理・原則を踏またり、大では、一部の曲目に浜田川、調・かけて、新たな舞法や奏楽などにも治・東山県の代表的神楽・直により、神楽の技能及び本装なの一時、大正天皇の御即位の御大典の祝賀で神楽を奉により、神楽の様とまで呼ばれ、どで、山県郡内外から数多く招請されて、当時により、名方面に名まで呼ばれ、とで、山県郡内外から数多く招請されて、一までの光野にのと推察されて、といたものと推察されていたものと推察されていたものと推察されていたものと推察されていたものと推察されていたものと推察されていたものと推察されていたがないように、一つに、神楽の継承に邁進しています。
北広島町	57	才乙旭神楽 団			明治の初め頃、近郷(雄鹿原下組)より修得したとされているが、古い口上本(台詞台本)には、金城町近辺の神楽とはいささか趣を更としており、どちらが変わって来たのか興味深いところである。団員は少ないながら、先人の努力の跡を伝承すべく、出来るだけ旧来の舞方を変えまいと努力を続けている。(現在は、広島市から2人の団員が帰郷しては練習をしている。)

			団員募	集状況	
市町村 	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
北広島町	58	川小田神楽団			14名と少人数ですが、郷土芸能神楽の伝承に団員一致団結して頑張っています。昔から続いている旧舞の形を変えずに間(ま)を舞うことを大切にしています。
北広島町	59	細見神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	明治30年に、雄鹿原村出身の三浦氏より技能の指導を受け、翌年に「細見神楽団」を結成し、現在に至っている。細見神楽団は、石見神楽系の六調子の旧舞で、原型を変えずに継承しています。郷土芸能の発展のため精進しています。何卒、暖かいご声援、ご指導のほどよろしくお願いします。
北広島町	60	大暮神楽団			団員数15名の内、2名が女性団員である。 年齢層は、20代から30代が12名で若い世 代が多い。 活動としては、代々大暮に伝わる神楽の保存 継承をするとともに廃れゆく神楽の掘り起こし にも努力している。秋祭りシーズンを中心に精 力的に活動している。
北広島町	61	移原神楽団			現在、移原神楽団使用の詞帳の台本は、島根 県越智郡桜江町市山の神職平尾三千夫が保存されている神楽詞帳を書写されたものです。移原 元庄屋山本家に保存されていたものの末尾に天 保5年申午穐初冬上旬写之とあります。この詞 帳により、毎年上演していますが、詳しくはわ かりません。その頃より発足したのではないか と思われます。六調子の旧舞を継承するべく励 んでいます。また当神楽団は「和」をモットー にわきあいあいに活動を続けています。
北広島町	62	高野神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	高野神楽団は、明治以前、石見市木 (イチギ) 方面より旧舞として伝承され現在に至り、伝統 ある郷土芸能を微力ながら次の世代に伝えていきたいと団員一同頑張っています。どうぞご声 援下さい。
北広島町	63	溝口神楽団			溝口神楽団の歴史をひもとくと明治中期に大朝町より石見系八調子を伝承されたのが初めてとされる。石見系八調子は芸北町内では大変珍しく、旧舞の中でも拍子舞ともにテンポが速く、また、舞の所作が多いのが特徴とされる舞方である。昭和30年代には人材不足などの困難があったが先輩方の並々ならぬご努力にてこれを乗り越えられ、昭和42年には千代田町春木神楽団より新舞を習い現在では、新舞、旧舞ともに舞っている。 近年では、若い団員も徐々に増え地域の行事等神楽を披露する機会にも恵まれるようになってきたが、まだまだ未熟な神楽団であるので団員一同鍛錬に励むとともに古い舞の掘り起こしにも積極的につとめ40年ぶりに「胴の口明け」「鈴鹿山」を秋祭りににて披露する運びとなった。
安芸太田町	1	猪山神楽団			
安芸太田町	2	小坂神楽団			
安芸太田町	3	上殿神楽団			

-			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸太田町	4	土居神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和42年山県郡筒賀村梶原神楽団より指導を受け、郷土芸能として伝承し土居神楽同好会として発足。昭和52年に土居神楽団として現在に至ります。新しい旧舞技法を取り入れ、伝統ある神楽団にするため、日々練習に励み、県北に伝わる石見神楽の旧舞のみで数々のイベントに参加しています。
安芸太田町	5	寺領神楽団			
安芸太田町	6	一の宮大歳 神社 本郷 神楽団	募集中		本郷神楽団は、天文年間(1530年頃)より存続し、石見神楽を原型とした矢上系の舞形式を元に、舞楽形式の古い神楽、塵倫などでおなじみの旧舞、能形式の新舞等、約30種類の神楽を演じることのできる神楽団です。
安芸太田町	7	松原神楽団			
安芸太田町	8	小板神楽団			
安芸太田町	9	三谷神楽団			明治の初期に筒賀村三谷八幡宮の氏子の中から神楽団を発足しました。石見神楽(旧舞)を主して演じていましたが、昭和38年に新舞を取り入れ、現在では新旧舞両方の演目を持っています。
安芸太田町	10	梶原神楽団			
安芸太田町	11	坂原神楽団			
安芸太田町	12	高下神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	高下神楽団は創立より 120 年の歴史があり、 旧舞の伝統を守っている。中国縦貫自動車道戸 河内インター傍、高下大歳神社を社とし氏子を 中心に活動している。
安芸太田町	13	堀神楽団			
安芸太田町	14	木坂神楽団			
安芸太田町	15	川北神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	川北神楽団は、矢上系石見神楽を明治26年に9人で習得し発足したと伝えられています。更にその後、大正末期から昭和初期にかけて新しい演目、大江山などと共に浜田八調子を導入していますが、当時としては直期的なことであり脚光を浴びたと聞いています。昭和48年に創立80年を迎え、上山神楽団を発展的に解消、川北神楽団とし併せて旧舞一筋に維持伝承することを再確認しました。平成5年には100周年をひた神祇舞にも取り組むこととし、平成10年1月、演目指定で「四神」が民族無形文化財に指定されました。大衆の中に溶け込んだ神楽の文化的価値及び郷土芸能としての重要性などを考えながら、後継者の育成と保存伝承に力をそそいでまいります。
安芸太田町	16	加計神楽保 存会			

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
安芸太田町	17	津浪神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和6年、津浪河内神社氏子により「津浪神楽団」として設立。石見神楽の流れをくむ山県舞、六調子、旧舞を主体に伝承に努めています。以来、各地の秋祭りでの奉納、イベント、神楽大会への出演に出向き現在に至っています。昭和57年には老人福祉施設慰問など、福祉事業などへの貢献により、第3回広島県文化賞を受賞しました。しかしまだまだ未熟者で、今後も練習に励み郷土芸能発展につくす所存です。神楽ファンの皆様、今後とも暖かいご声援、ご指導を頂きます様よろしくお願いします。
安芸太田町	18	安野神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	当神楽団は、広島県山県郡安芸太田町安野地区(県北西部)に位置し、同町穴本郷の鷹崎八幡神社を氏神として活動しております。 1909年(明治42年)11月に本郷奏楽会として創設し、翌年4月に初奉納いたしました。途中、『本郷神楽団』と改名し、活動しておりましたが、後継者不足により昭和30年代後半から活動が休止しておりました。 1980年(昭和55年)9月に安野地区等の青年が集まり、『安野青年神楽同好会』として引継ぎ、昭和57年に現在の『安野神楽団』と改め、各地のイベント及び秋祭り等に奉納しております。
廿日市市	1	吉和神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	吉和地域では、昭和54年頃、古くから伝わっていた伝統芸能の神楽を復活させようと、地域の有志や若者たちが集まり神楽団を結成させた。その後、旧舞による演目の復活に努め、八岐の大蛇・大江山・塵倫・天神・羅生門・安達ヶ原のほか、最近では若い世代を中心に新舞を取り入れ、数多くの演目を上演している。そのほか、ハワイ・ニュージーランド・シンガポールなどへの海外公演、また第24回広島県神楽競演大会の優勝をはじめ、各地域の競演大会の出演や奉納神楽を行っている。
廿日市市	2	浅原神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	旧浅原村に「神楽団」が結成され、初めて浅原の人たちの手による「舞」が亀山神社の舞殿で奉納されたのは、明治6年頃と言われています。当時、亀山神社に奉納されていた「神輿(みこし)」の彩色修理のため、旧宮内村明石(現、廿日市市宮内明石)の住人が来村し、その業のかたわら、当時の青年達に「明石の神楽」として伝授され、以後代々に技術が受け継がれていましたが、継続者不足のため昭和47年に子供たちに伝授され、「浅原子供神楽団」として再結成し、現在までいたる。現在は十二神祇舞に加え、六調子系・八調子系の神楽を取り入れ活動しています。

_			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
廿日市市	3	河津原神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	基本とする神楽は、いわゆる十二神紙と言われている演目です。佐伯町から廿日市市へと吸収合併された様に、神紙舞はあんまり見栄えがしないため、最近はもっぱら高田舞が中心となっていますが、先代の方々が築いてこられた伝統を私達の代で終わらす訳にはいかず、何とか細々でもよいから続けられる様、努力している最中です。
廿日市市	4	津田神楽団			十二神祗系
廿日市市	5	栗栖神楽団			山県神楽系
廿日市市	6	玖島神楽団			十二神祗系
広島市	1	水内神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	水内神楽団は、江戸天保年間から 250 年余り 続く伝統を今日に受け継ぐ歴史の古い神楽団で す。昭和 38 年に、当団に伝わる「五竜王」が[広 島県無形文化財に指定されました。近年では山 県系旧舞や、高宮系新舞を取り入れ、精力的な 活動をしています。
広島市	2	下五原神楽 団			
広島市	3	鹿ノ道神楽 団			
広島市	4	大森神楽団			広島県の西部、佐伯郡湯来町は大森八幡神社を氏神社として、現在まで、百数十年の歴史を持つ大森神楽団は、古くから伝承されている十二神祇舞と、平成六年からとり入れられた山県旧舞(六調子)、平成七年からは、高田新舞(八調子)と、3種類の神楽を保持している神楽団です。十二神祇舞だけ舞っていた数年前までは、後継者不足に悩まされ、団の容が危ぶまれていましたが、新しい神楽を習い始めたごろから、次第に団員数も増え、活気溢れる神楽団へと変わって行きました。現在、人気のある山県旧舞、高田新舞を中心に活動し、好評をいただけるほどになりました。また祭りのときなどは十二神祇舞も絶やすことなく奉納しています。
広島市	5	愛名園神楽 クラブ			
広島市	6	打尾谷神楽 団			
広島市	7	重光神楽団			
広島市	8	石内神楽団			
広島市	9	五日市芸能 保存会			
広島市	10	上河内神楽 団			

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
広島市	11	下河内神楽団	募集中	他地区からの入団も可	天保年間当時、下河内村の森岡泰次郎他数名の古老により山田村(現広島市)の社人より伊勢神楽(十二神祇神楽)の伝授を仰ぎ神楽を舞ったのが始まりと聞いております。以来代々受けついてまいりました。戦時中は一時中断した時期もありましたが昭和24年に有志が集まって復活し活動を続けて参りました。平成に入り活動のはばを更に広げるため県北部などを中心に奉納されている芸北神楽を新たに取り入れ伝統の十二神祇神楽とともに河内神社を拠点として各種イベントなどで奉納させて戴いております。
広島市	12	観音神楽保 存会			
広島市	13	高井神楽団	募集中	他地区からの入団も可	高井神楽団は、広島市佐伯区八幡四丁目に籍を置き、地域の氏神社である八幡神社を拠点として活動しています。神楽団は約160年の昔から伝わる伝統ある神楽団ですが、後継者不足などで昭和39年を最後に休眠状態となってい押した。しかし地域の方々の仮活を望む声に押団した。しかし地域の方々のですが、後半され平成9年より散逸していた資料の収集で記れ平成9年より散逸していた資料でに至っては事など本格的に活動をはじめ現在に至っては事など本格的に活動をはじめ現在に至っては当ます。 復活当初は伝承している「安芸十二神祇系神楽など本格的に活動をはじめ現在に至っている「安芸十二神祇系神楽だけで求したが、現在ではこの十二神祇系神楽だけで求に応えるため新しく「芸北神楽(高田舞)」を取り入れ発展させています。優秀な指導者に恵まないよりないます。とが出来ました。また、芸北神楽(高田舞)のおり、たり、芸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
広島市	14	鈴張神楽団	募集中	他地区からの入団も可	鈴張神楽団は、昭和26年8月に、安佐町鈴張地区の若者を中心として結成されました。神楽団結成当初から衣装や道具などはすべて地元の方々の寄付によって揃え、毎年秋に行われる宮崎神社での秋祭りを中心に地元に根付いた活動を行っています。 近年になり、若い団員も増え、三度目の世代交代を迎えている今、神楽奉納を通して神楽に息づく先人達の思いを受け継ぎ、後世へと伝えていけるよう、団員一同精進してまいりたいと思います。今後ともご支援、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
広島市	15	飯室神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和57年発足、飯室神楽団同好会として活動してまいりましたが、昭和60年から神楽団に改名し、古典神楽(旧舞6調子)、新神楽(新舞8調子)、加計町の津浪神楽団、高宮町の原田神楽団の両神楽団の指導を受け、現在では、新旧両舞を伝承しております。 主な上演活動としては、神社奉納をはじめ、イベント、競演大会県内各地に依頼を受け、出演しております。
広島市	16	あさひが丘 神楽団			あさひが丘神楽団は「新興団地の中に郷土芸能を」との取り組みの一環として昭和62年に結成しました。子ども達が夢を持ち、郷土芸能を文化の宝として維持・継承してくれる事を願っています。
広島市	17	宮乃木神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	宮乃木神楽安は平成10年(1998年)1月20日に広島市安佐北区安佐町飯室の野原神社を御祭神として結成しました。発足当時は団員4人でのスタート。太鼓も衣装も何もない、ゼロの状態からのスタートでした。現在では広い地域から団員も通い、週2回の練習に励んでいます。阿須那系神楽を中心として伝承するとともに、若い人たちと一緒に「神楽とは何か」を考え学び、儀礼舞・旧舞・新舞の流れを踏まえ、先人達の育んだ神楽の心意気を学びたいと考えております。
広島市	18	綾西神楽団			
広島市	19	亀山神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	経歴:昭和47年神楽の経験のある人が数名で神楽同好会として発足し、昭和61年亀山神楽団と改め現在に至っております。特徴:和・楽しさをモットーに旧舞、新舞と両演目を中心に活動しています。
広島市	20	宮崎神楽団			
広島市	21	諸木郷土芸能保存会	募集中	他地区 からの 入団も 可	古老の申し伝えによると、江戸時代末期の天保年間には「諸木十二神祇神楽」が舞われていたという。地方によっては、極めてきらびやかな舞に変化してきたが、諸木十二神祇神楽は江戸時代からの舞そのものを代々継承しており、極めて質素な舞である。 諸木十二神祇神楽は、神事を十二の舞により表現している。天照大神が、天の岩戸にお入りになって世の中が闇と化したことから、岩戸の前に集まって舞を奉納し、ついに岩戸よりおして、再び世の中が平和をとりもどしたという伝説に基づいた舞である。前段では、岩戸の前での清めの儀の舞、中段は、岩戸の前で奉納により天照大神を岩戸よりお出で申し上げる舞、後段は、世鬼の舞、世鬼が太夫に説き伏せられ正義の神となり、天下大平五穀豊穣を祈る舞。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
広島市	22	岩上八幡神社神祇神楽保存会	募集中	他地区 からの 入団も 可	子ども中心の神楽伝統を引き継いでいる(小、中、高校生中心とするが、幼児も5才以上は対象とする)→8月に舞子募集。昭和30年代に一時中断していたものを昭和54年に保存会組織として復活(明治の中期より舞われていた)。子供たちの居場所作り、ふるさとづくりの場として、地域の連帯、活性化の場として位置づけ盆踊りとともに、地域の伝統芸能文化として、継承していきたい。
広島市	23	玖村神楽保 存会			
広島市	24	小河原火舞 保存会	募集中		明治の中頃に、吹火・傘火・綱火等の花火と 十二神祇系神楽の舞が、麻下舞子8人によって 始められ、現在に至っております。(吹火の中で 神楽を舞うので、通称「火舞」と呼ばれていま す。) 昨今の過剰に演出された神楽に比べ地味な十 二神祇系神楽の舞は広島市の北部、西部や大田 川沿いにわずかに伝承されています。その中で も「火」と「舞」を同時に伝えている極めて少 ない団体のうちのひとつが当保存会で、今後も 地域の貴重な文化遺産を後世に伝えていきたい と考えています。
広島市	35	亀崎神社吹火・ 神楽保存会		氏子に 限る	大正4年より
広島市	36	上矢口郷土 芸能保存会	募集中	他地区 からの 入団も 可	平成5年に30年ぶりに神楽奉納を復活しました。現在では大きく分けて4つのグループがあります。 ①「天岩戸」「世鬼」などの「上矢口十二神祇儀神楽」を伝承する神楽団のグループ②「どじょうすくい」などの「矢口の手踊り」を伝承するグループ③「弁慶と牛若丸」「団七の仇討ち」などの「段者」を伝承するグループ④和太鼓を演奏する和太鼓グループ「翔」地元の新宮神社の秋祭りや、薬師寺の地蔵祭りや、地区の盆踊り大会等に参加し、郷土の伝統芸能の伝承と普及と地域住民のふれあいを図っています。
広島市	25	上温井神楽 保存会			
広島市	26	三城田神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	江戸時代は嘉永年間に地元の若連中により結成されたと伝えられています。十二神祇を主体とした里神楽が伝承されてきました。勇壮・豪快に舞うのが特徴です。 平成14年頃から石見系の新舞を取り入れて、十二神祇も大切に保存しながら新舞の演目も少しずつ増やしています。
広島市	27	西原上十二 神祇神楽保 存会			
広島市	28	大塚神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況	備考	プロフィール
広島市	29	阿刀神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	阿刀神楽は広島県の安芸南部から山口県の周防東部及び四国伊予地方に見られる十二神祇系の神楽です。この神楽は現在の形は文化、天保(19世紀前半)の頃、この地で「武芸筆道」を指南していた難波一甫流の達人、宇高宗助の指導で柔術の技が神楽の舞の中に取り入れられたと伝えられている。昭和40年広島県無形民俗文化財に指定されました。
広島市	30	下向神楽団			
広島市	31	西山本神楽 保存会			
広島市	32	井口地区民 芸保存会			
広島市	33	古江神楽保 存会			
広島市	34	戸坂神楽保 存会			
三次市	1	穴笠神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	穴笠神楽団発足のきっかけは、1985年、三次市穴笠町の地元青年団が町興しとして神楽を始めたことによる。梶矢神楽団からの指導のもと練習を重ねた。3年後の1988年天津神社に初めて神楽を奉納し、地元の声援を受け、翌年1989年、穴笠青年団から穴笠神楽同好会に名称を変更し、週一度の練習を続けながら、地元ふれあい祭り・地域敬老会等への出演を続けてきた。平成16年10月穴笠神楽団と名称を変更し、同時に子ども神楽団も結成し、現在に至る。
三次市	2	伊賀和志神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	伊賀和志神楽は、石見神楽のうち邑智 33 神楽の阿須那派に属しています。起源は定かではありませんが、遠く源平の時代、平家の落武者達が在りし日の都の生活を偲びつつ舞い、唄い伝え伝えて何時のころよりか、邑智 33 神楽のひとつとなって舞い伝えられてきたと云われています。 約600年前、石見地方より移入せられたもので、石見神楽の内邑智系 33 神楽に属するもので、代々土地の有志により伝承せられ今日に及んだものである。中でも「天の岩戸」及び「鈴合せ」の舞は古来の出雲神楽の古式をそのまま伝承したもので、最も尊ばれている。

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状 況 備考		プロフィール
三次市	3	横谷神楽団	募集中	他地区から団も可	私たち横谷神楽団は、横谷地区壮青年の神楽 愛好者が昭和55年の横谷小学校校歌開き行事 での神楽発表を契機に、素人の域ながら太鼓を打ち、心はずませて夜の更けるのも忘れて語り合ううちに、昭和58年に横谷神楽クラブとして組織的な活動を始めました。以後、地域の皆を方のご支援を受けながら各地での公演を行っていました。その後、この活動を更に発展させるため、昭和60年「横谷の神楽として、子や孫に自信を持って伝承できる神楽団づくり」を目標に20名の団員で神楽団としての活動を開始しました。各地のお祭りや、神楽大会、イベントなどの他、病院などの慰問や結婚式など年間20回から40回の公演を重ね、東京都や愛知県、山口県など県外の神社でも奉納をさせていただきました。また、平成2年からは、横谷小学校神楽クラブ(平成18年4月から横谷子ども神楽クラブ)への指導もしています。現在は、20代から60代までの28名の団員で日々精進しています。
三次市	4	甲奴神楽同好会	募集中	他地区 からの 入団も 可	甲奴神楽は古く三谿系備後神楽の流れを継承 の為、同好の士相集い10名にて発足、現在に至 る。

島根県における神楽活動団体(170 団体)の実態

表 1.神楽団の系統

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足時期	継承されている 神楽の区分
出雲市	多伎町	1	久村伝統文化保存会	くむら		
出雲市	多伎町	2	多伎神楽保存会	たきかぐらほぞ んかい		
出雲市	多伎町	3	田儀神楽保存会	たぎかぐらほぞ んかい		
uu s +	1.4.m		赤塚神楽 佐儀利保	あかつかかぐら		
出雲市	大社町	4	存会	しゃぎりほぞん かい		
出雲市	大社町	5	大土地神楽保存会	おおどちかぐら ほぞんかい	•	
出雲市	出雲市	6	乙立神楽保存会	おったちかぐら ほぞんかい		
出雲市	出雲市	7	神西神代神楽保存会	じんざいかみよ かぐらほぞんか い	昭和 30 年 1 月	出雲神楽
出雲市	出雲市	8	中野神楽保存会	なかのかぐらほ ぞんかい		
出雲市	出雲市	9	見々久神楽保持者会	みみくかぐらほ じしゃかい		
出雲市	出雲市	10	石畑神楽保存会	いしばたけかぐ らほぞんかい		
出雲市	出雲市	11	上之郷神楽同好会	かみのごうかぐ らどうこうかい		
益田市	益田市	1	多田神楽保存会	ただ		
益田市	益田市	2	石見神楽 上吉田保 存会	かみよしだ		
益田市	益田市	3	久々茂神楽保存会	くくもほぞんか い	昭和39年9月	石見神楽
益田市	益田市	4	久城神楽保存会			
益田市	益田市	5	須子神楽社中			
益田市	益田市	6	高津神楽社中	たかつ	明治 25 年 10 月	石見神楽
益田市	益田市	7	種神楽保存会	たね		
益田市	益田市	8	津田神楽社中			
益田市	益田市	9	横田神楽社中			
益田市	益田市	10	真砂神楽社中			
益田市	益田市	11	石見神楽同好会 原 浜さつき会	いわみかぐらど うこうかい は らはまさつきか い		
益田市	匹見町	12	匹見町神楽保存会 匹見神楽社中	ひきみちょうか ぐらほぞんかい ひきみかぐらし ゃちゅう	明治中期	石見神楽 八 調子
益田市	匹見町	13	三葛神楽保持社会	みかずら		
益田市	匹見町	14	道川神楽社中	みちかわ		
浜田市	浜田市	1	亀山社中	かめやま	平成 11 年 7 月	八調子 石見神楽
浜田市	浜田市	2	有福神楽保持者会	ありふく	江戸時代	石見神楽
浜田市	浜田市	3	後野神楽社中	うしろの	,	
浜田市	浜田市	4	宇津井神楽社中			
浜田市	浜田市	5	大尾谷社中	おおだに		
浜田市	浜田市	6	上府社中	いわみじんだい かぐら かみこ うしゃちゅう	江戸時代 1806 年	八調子 石見神代神楽

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足時期	継承されている 神楽の区分
浜田市	浜田市	7	佐野神楽社中	さのかぐらし ゃちゅう	明治5年10月	石見神楽
浜田市	浜田市	8	長澤社中	いわみかぐら ながさわしゃち ゅう	明治 5~6 年	石見神楽
浜田市	浜田市	9	長浜社中	いわみかぐら ながはましゃち ゅう		
浜田市	浜田市	10	西村神楽社中	にしむらかぐら しゃちゅう		
浜田市	浜田市	11	日脚神代神楽社中	ひなしじんだい かぐらしゃちゅ う	室町時代	石見神楽
浜田市	浜田市	12	細谷社中	いわみかぐら ほそだにしゃち ゅう		
浜田市	浜田市	13	美川西神楽保存会	いわみかぐら みかわにしかぐ らほぞんかい	昭和 42 年 4 月	石見神楽
浜田市	浜田市	14	鍋石神楽社中	なべいしかぐら しゃちゅう		
浜田市	浜田市	15	熱田保存会	あつたほぞん かい		
浜田市	浜田市	16	浜田市職員 石見神 楽同好会	はまだししょく いん いわみか ぐらどうこうか い		
浜田市	浜田市	17	石見神楽周布青少年 保存会		φ	
浜田市	浜田市	18	JR 石見神楽同好会	JR いわみかぐら どうこうかい		
浜田市	旭町	19	市木神社神楽団	いちぎじんじゃ かぐらだん		石見神楽
浜田市	旭町	20	今市神楽社中	いまいちかぐら しゃちゅう		
浜田市	旭町	21	木田神楽社中			
浜田市	旭町	22	坂本神楽社中			
浜田市	旭町	23	重富神楽社中	しげとみかぐら しゃちゅう	•	
浜田市	旭町	24	石見神楽 都川神楽 団	いわみかぐら つかわかぐらだ ん	•	
浜田市	旭町	25	本郷神楽社中	ほんごうかぐら しゃちゅう		
浜田市	旭町	26	来尾神楽団	きたおかぐらだ ん	明治時代	石見神楽
浜田市	旭町	27	和田神楽社中			
浜田市	旭町	28	丸原神楽社中			
浜田市	金城町	29	小笹神楽社中	おざさかかぐら しゃちゅう		
浜田市	金城町	30	若林神楽社中		•	
浜田市	金城町	31	伊木神楽社中	いぎかぐらしゃ ちゅう	明治 20 年	石見神楽
浜田市	金城町	32	上来原神楽社中			
浜田市	金城町	33	下来原神楽社中			
浜田市	金城町	34	久佐西神楽社中			
浜田市	金城町	35	久佐東神楽社中			
浜田市	金城町	36	小国神楽社中			
浜田市	金城町	37	柚根神楽社中			
浜田市	金城町	38	石見神楽 今福神楽 社中	いわみかぐら いまふくかぐら しゃちゅう	明治初期	石見神楽
浜田市	金城町	39	波佐常磐倶楽部	はざときわくら ぶ		
浜田市	金城町	40	青原神楽社中			

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足時期	継承されている 神楽の区分
浜田市	三隅町	41	岡崎神楽社中	おかさきかぐら しゃちゅう	江戸時代	
浜田市	三隅町	42	岡見神遊座			
浜田市	三隅町	43	石見神楽 松原神楽 社中	いわみかぐら まつばらかぐら しゃちゅう	昭和 55 年	石見神楽
浜田市	三隅町	44	河内奏楽中	こうちそうがく ちゅう	明治初期	石見神楽
浜田市	三隅町	45	両谷神楽社中			
浜田市	三隅町	46	井野神楽			
浜田市	弥栄村	47	安城神楽社中	やすぎかぐらし やちゅう	文久元年(1861)	石見神楽
浜田市	弥栄村	48	杵束神楽社中			
松江市	宍道町	1	宍道神楽 神栄会	しんじかぐら しんえいかい		
松江市	松江市	2	亀尾神能保存会	かめおしんのう ほぞんかい		
江津市	桜江町	1	倭川戸神楽社中	やまとかわどか ぐらしゃちゅう	平成 10 年 1 月	石見神楽
江津市	桜江町	2	大元神楽 市山神友 会	おおもとかぐら いちやまじんゆ うかい		大元神楽
江津市	桜江町	3	江尾大元神楽保存会			
江津市	桜江町	4	小田舞子連中			
江津市	桜江町	5	川戸神楽社中			
江津市	桜江町	6	谷住郷神楽社中	たにじゅうごう かぐらしゃちゅ う		
江津市	桜江町	7	八戸神楽社中			
江津市	桜江町	8	長谷同志会	ながたにどうし かい	古来より奉納され ているが、長谷同 志会が奉納するよ うになったのは昭 和初期頃	石見神楽(六 調子)
江津市	桜江町	9	山中神楽社中	やまなかかぐら しゃちゅう	昭和~平成	
江津市	桜江町	10	勝地神楽社中			
江津市	桜江町	11	今田舞子連中	いまだまいこれ んちゅう		
江津市	江津市	12	大都神楽団	おおつかぐらだ ん		
江津市	江津市	13	有福温泉神楽団	ありふくおんせ んかぐらだん		
江津市	江津市	14	都治神楽社中	つちかぐらしゃ ちゅう		
江津市	江津市	15	石見神楽 波子社仲	いわみかぐら はししゃちゅう		
江津市	江津市	16	出雲大社教神代神楽 波積支部波積神楽団	10001		
江津市	江津市	17	嘉戸神楽社中	かどかぐらしゃ ちゅう	昭和 51 年 3 月	石見神楽
江津市	江津市	18	上津井神楽社中	277		
平田市	平田市	1	出雲大社教神代神楽 伊野社中	いずもたいしゃ きょうじんだい かぐら いのし ゃちゅう		
平田市	平田市	2	小津神楽保存会	こづかぐらほぞ んかい		
平田市	平田市	3	唐川自治会 唐川神 楽	からかわじちか い からかわか ぐら		
平田市	平田市	4	塩津町芸能保存会	しおっちょうげ のう ほぞんかい		

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足時期	継承されている 神楽の区分
雲南市	三刀屋町	1	中野神楽保存会	なかのかぐらほ ぞんかい		
雲南市	木次町	2	槻の屋神楽	つきのや		
雲南市	木次町	3	槻之屋神楽保持者会	つきのやかぐら ほじしゃかい	1804 年以前	出雲神楽
大田市	大田市	1	大江高山神楽社中	おおえたかやま かぐらしゃちゅ う		
大田市	大田市	2	多根神楽	たねかぐら	明治元年	奥飯石系(神主 神楽)
大田市	大田市	3	土江子ども神楽団			
大田市	大田市	4	三瓶山神代神楽	さんべやまじん だいかぐら	昭和4年10月	奥飯石流神楽
大田市	大田市	5	大田神楽社中			
大田市	大田市	6	刺鹿神楽団			
大田市	大田市	7	忍原神楽団	おしばらかぐら だん	•	
大田市	大田市	8	大屋石雲神楽団	おおやせきうん かぐらしゃちゅ う	明治5年	石見神楽
邑智郡	川本町	1	因原神楽団	いんばらかぐら だん	昭和24年4月	邑智神楽(阿須 那系)
邑智郡	川本町	2	川本神楽団			
邑智郡	川本町	3	三谷神楽団			
邑智郡	川本町	4	石見神楽 三原神楽 団	いわみかぐら みはらかぐらだ ん	昭和 20 年	石見神楽(大元 神楽)
邑智郡	大和村	5	都神楽団	みやこかぐらだ ん	平成2年	石見神楽
邑智郡	大和村	6	都賀西神楽保存会			
邑智郡	大和村	7	大和村神楽同好会			
邑智郡	大和村	8	大和神楽団			
邑智郡	邑智町	9	千原神楽団			
邑智郡	邑智町	10	乙原舞子連中	おんばらまいこ れんちゅう		
邑南町	羽須美 村	1	雪田神楽団	ゆきたかぐらだ ん		
邑南町	羽須美 村	2	口羽神楽クラブ			
邑南町	瑞穂町	3	出羽神楽団	いづわかぐらだ ん	昭和48年5月(再 結成)	石見神楽 阿 須那手
邑南町	瑞穂町	4	高原神楽団	たかはらかぐら だん		
邑南町	瑞穂町	5	田所神楽保存会		4	
邑南町	瑞穂町	6	美穂神楽団	みほ		
邑南町	瑞穂町	7	大元神楽 榲尾神楽 団	おおもとかぐら すぎおかぐらだ ん	嘉永6年	石見大元神楽 (旧舞六調子)
邑南町	石見町	8	日和大元神楽団	ひわおおもとか ぐらだん		
邑南町	石見町	9	矢上大元神楽団	やかみおおもと かぐらだん	\$	
邑南町	石見町	10	福原神楽団		\$	
邑南町	石見町	11	春日神楽団		\$	
邑南町	石見町	12	中野大元神楽団	なかのおおもと かぐらだん		

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足時期	継承されている 神楽の区分
邑南町	石見町	13	井原神楽団	いばらかぐらだ ん	明治 10 年	大元神楽
邑南町	石見町	14	吉原大元神楽団			
邑南町	石見町	15	桜井神楽団			
邑南町	石見町	16	山之内神楽団			
隠岐郡	海士町	1	隠岐島前神楽保存会	おきどうぜんか ぐらほぞんかい		
隠岐郡	海士町	2	菱浦神楽同好会	ひしうらかぐら どうこうかい		
隠岐郡	五箇村	3	島後久見神楽保持者 会	どうごくみかぐ らほじしゃかい		
隠岐郡	五箇村	4	那久路神楽	なぐちかぐら		
隠岐郡	西ノ島町	5	別府神楽同好会	べっぷかぐらど うこうかい		
隠岐郡	西郷町	6	西村神楽社中	にしむらかぐら しゃちゅう		
隠岐郡	知夫村	7	知夫神楽同好会	ちぶかぐらどう こうかい		
八東郡	鹿島町	1	佐蛇神能保存会	さだしんのうほ ぞんかい		
吉賀町	柿木村	1	黒渕神楽社中	くろぶちかぐら しゃちゅう	明治時代	石見神楽
吉賀町	柿木村	2	白谷神楽保存会			
吉賀町	六日市 町	3	抜月神楽団	ぬくつきかぐら だん	***************************************	
奥出雲 町	横田町	1	龍燈神楽	りゅうとうかぐ ら		
大原郡	大東町	1	大東町神楽連絡協議 会			
大原郡	大東町	2	出雲國大原神主神楽 保存会	いずものくにお おはらかんぬし かぐらほぞんか い		
大原郡	大東町	3	海潮山王寺神楽	うしおさんのう じかぐら		
津和野 町	津和野 町	1	長福千原座神楽社中			
津和野町	津和野町	2	中川八千代座神楽社 中			
津和野町	日原町	3	石見神楽保存会 日 原社中	いわみかぐらほ ぞんかい にち はらしゃちゅう		
津和野町	日原町	4	石見神楽 左鐙社中	いわみかぐら さぶみしゃちゅ う		
津和野町	日原町	5	 須川神楽社中 	すがわ		
津和野 町 	日原町	6	柳神楽保存会	やなぎかぐらほ ぞんかい	明治初期	島根県指摘無 形民俗文化財 「柳神楽」
津和野町	日原町	7	木ノ口神楽社中	このくちかぐら しゃちゅう		
飯石郡	掛合町	1	上多根神楽保存会	かみだねかぐら ほぞんかい		
飯石郡	吉田村	2	深野神楽保存会	ふかのかぐらほ ぞんかい	弘化3年には存在 しました	出雲神楽

市町村	旧町名	no	神楽団名	ふりがな	団体の発足時期	継承されている 神楽の区分
飯石郡	吉田村	3	木の下神楽保存会	きのしたかぐら ほぞんかい		
飯石郡	吉田村	4	民谷神楽団	みんだにかぐら だん		
飯石郡	頓原町	5	奥飯石神楽 八神神 楽団	おくいいしかぐ ら はかみかぐ らだん		
飯石郡	頓原町	6	奥飯石神職神楽保持 者会	おくいいししん しょくかぐらほ じしゃかい	江戸時代	出雲系神楽
飯石郡	頓原町	7	敷波神楽団	しくなみかぐら だん	昭和 50 年 11 月	奥飯石神楽
簸川郡	斐川町	1	併川神代神楽保存会	あいかわかみよ かぐらほぞんか い		
簸川郡	斐川町	2	阿宮神能保存会	あぐしんのうほ ぞんかい		
簸川郡	斐川町	3	土手町神楽保存会	どてまちかぐら ほぞんかい	弘化3年8月	出雲里神楽
簸川郡	斐川町	4	氷室神楽保存会	ひむろかぐらほ ぞんかい	江戸時代	出雲神能神楽 (里神楽)
美濃郡	美都町	1	丸茂神楽社中	まるも	明治初期	石見神楽
美濃郡	美都町	2	三谷神楽社中			
美濃郡	美都町	3	石見神楽久木社中	いわみかぐら ひさぎしゃちゅ う	平成 15 年 1 月	石見神楽

表 2.神楽団の構成員

			寸	員数				年	齢構	成		
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	10 代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60代以上
出雲市	1	久村伝統文化保存会										
出雲市	2	多伎神楽保存会										
出雲市	3	田儀神楽保存会										
出雲市	4	赤塚神楽 佐儀利保 存会										
出雲市	5	大土地神楽保存会										
出雲市	6	乙立神楽保存会										
出雲市	7	神西神代神楽保存会	19	19	0	0	0	1	3	1	10	4
出雲市	8	中野神楽保存会										
出雲市	9	見々久神楽保持者会										
出雲市	10	石畑神楽保存会										
出雲市	11	上之郷神楽同好会										
益田市	1	多田神楽保存会										
益田市	2	石見神楽 上吉田保 存会										
益田市	3	久々茂神楽保存会	28	26	2	0	2	6	5	1	6	8
益田市	4	久城神楽保存会										
益田市	5	須子神楽社中										
益田市	6	高津神楽社中	25	25	0	0	2	5	2	3	11	2
益田市	7	種神楽保存会										
益田市	8	津田神楽社中										
益田市	9	横田神楽社中										
益田市	10	真砂神楽社中										
益田市	11	石見神楽同好会 原 浜さつき会										
益田市	12	匹見町神楽保存会 匹見神楽社中	18	18	0	0	0	2	6	3	6	1
益田市	13	三葛神楽保持社会		ļ					,		ļ	,
益田市	14	道川神楽社中										
浜田市	1	亀山社中	18	18	0	0	2	6	8	0	1	1
浜田市	2	有福神楽保持者会	16	16	0	0	3	2	6	1	3	1
浜田市	3	後野神楽社中										

			寸	員数				年	齢構	成		
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	10 代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代 以上
浜田市	4	宇津井神楽社中										
浜田市	5	大尾谷社中										
浜田市	6	上府社中	26	26	0	0	4	6	4	5	4	3
浜田市	7	佐野神楽社中	28	28	0	0	1	7	13	2	1	4
浜田市	8	長澤社中	27	27	0	0	7	3	5	6	3	3
浜田市	9	長浜社中									3	5
浜田市	10	西村神楽社中										5
浜田市	11	日脚神代神楽社中	21	18	3	0	1	9	3	1	5	2
浜田市	12	細谷社中□										
浜田市	13	美川西神楽保存会	27	25	2	0	7	8	5	5	2	0
浜田市	14	鍋石神楽社中										
浜田市	15	熱田保存会										
浜田市	16	浜田市職員 石見神 楽同好会										
浜田市	17	石見神楽周布青少年 保存会										
浜田市	18	JR 石見神楽同好会										
浜田市	19	市木神社神楽団	15	15	0	0	0	2	2	4	5	2
浜田市	20	今市神楽社中										***************************************
浜田市	21	木田神楽社中										***************************************
浜田市	22	坂本神楽社中										
浜田市	23	重富神楽社中										
浜田市	24	石見神楽 都川神楽 団										
浜田市	25	本郷神楽社中										
浜田市	26	来尾神楽団	14	13	1	0	2	1	0	2	2	3
浜田市	27	和田神楽社中										
浜田市	28	丸原神楽社中										
浜田市	29	小笹神楽社中										
浜田市	30	若林神楽社中										
浜田市	31	伊木神楽社中	22	20	2	0	6	1	3	3	6	3
浜田市	32	上来原神楽社中										
浜田市	33	下来原神楽社中										
浜田市	34	久佐西神楽社中										
浜田市	35	久佐東神楽社中										

			寸	員数				年	齢構	成		
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	10 代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60代以上
浜田市	36	小国神楽社中										
浜田市	37	柚根神楽社中										
浜田市	38	石見神楽 今福神楽 社中	23	18	5	0	6	10	3	2	2	0
浜田市	39	波佐常磐倶楽部										
浜田市	40	青原神楽社中										
浜田市	41	岡崎神楽社中	20	16	4	0	4	1	3	2	2	2
浜田市	42	岡見神遊座										
浜田市	43	石見神楽 松原神楽 社中	30	28	2	0	2	10	6	4	8	0
浜田市	44	河内奏楽中	19	18	1	0	2	6	2	1	2	6
浜田市	45	両谷神楽社中							,			
浜田市	46	井野神楽										
浜田市	47	安城神楽社中	19	19	0	0	2	1	4	7	3	2
浜田市	48	杵束神楽社中										
松江市	1	宍道神楽 神栄会										
松江市	2	亀尾神能保存会									311111111111111111111111111111111111111	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
江津市	1	倭川戸神楽社中	26	21	5	0	13	11	0	2	0	0
江津市	2	大元神楽 市山神友 会										
江津市	3	江尾大元神楽保存会										
江津市	4	小田舞子連中										
江津市	5	川戸神楽社中										
江津市	6	谷住郷神楽社中										
江津市	7	八戸神楽社中										
江津市	8	長谷同志会	27	21	6	0	10	1	1	7	5	3
江津市	9	山中神楽社中	25	21	4	0	6	4	4	5	4	4
江津市	10	勝地神楽社中										
江津市	11	今田舞子連中										
江津市	12	大都神楽団										
江津市	13	有福温泉神楽団										
江津市	14	都治神楽社中										
江津市	15	石見神楽 波子社仲										
江津市	16	出雲大社教神代神楽 波積支部波積神楽団										

			寸	員数			1	年	齢構	成		
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	10代以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60代以上
江津市	17	嘉戸神楽社中	16	13	3	0	2	5	5	1	1	2
江津市	18	上津井神楽社中										
平田市	1	出雲大社教神代神楽 伊野社中										
平田市	2	小津神楽保存会										
平田市	3	唐川自治会 唐川神 楽										
平田市	4	塩津町芸能保存会										
雲南市	1	中野神楽保存会										
雲南市	2	槻の屋神楽										
雲南市	3	槻之屋神楽保持者会	15	11	4	0	0	2	3	3	6	1
大田市	1	大江高山神楽社中										
大田市	2	多根神楽	24	23	1	0	0	4	8	5	4	3
大田市	3	土江子ども神楽団										5
大田市	4	三瓶山神代神楽	32	32	0	0	17	1	5	0	5	4
大田市	5	大田神楽社中										
大田市	6	刺鹿神楽団		3								
大田市	7	忍原神楽団										
大田市	8	大屋石雲神楽団	21	18	3	0	2	3	2	3	5	3
邑智郡	1	因原神楽団	20	19	1	0	4	7	0	2	3	4
邑智郡	2	川本神楽団										
邑智郡	3	三谷神楽団										
邑智郡	4	石見神楽 三原神楽 団	22	20	2	0	2	5	1	3	6	5
邑智郡	5	都神楽団	23	20	3	0	3	4	5	2	6	3
邑智郡	6	都賀西神楽保存会										
邑智郡	7	大和村神楽同好会										
邑智郡	8	大和神楽団										
邑智郡	9	千原神楽団										
邑智郡	10	乙原舞子連中										
邑南町	1	雪田神楽団										***************************************
邑南町	2	口羽神楽クラブ										
邑南町	3	出羽神楽団	25	22	3	0	3	5	5	5	3	4
邑南町	4	高原神楽団									·····	
邑南町	5	田所神楽保存会										

			寸	員数				年	齢構	成		
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	10 代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60代以上
邑南町	6	美穂神楽団										
邑南町	7	大元神楽 榲尾神楽 団	17	17	0	0	0	1	4	8	2	2
邑南町	8	日和大元神楽団										
邑南町	9	矢上大元神楽団										
邑南町	10	福原神楽団										
邑南町	11	春日神楽団										
邑南町	12	中野大元神楽団										
邑南町	13	井原神楽団	15	15	0	0	0	0	2	5	5	3
邑南町	14	吉原大元神楽団										
邑南町	15	桜井神楽団										
邑南町	16	山之内神楽団										
隠岐郡	1	隠岐島前神楽保存会										······································
隠岐郡	2	菱浦神楽同好会		¢							¢	
隠岐郡	3	島後久見神楽保持者 会										
隠岐郡	4	那久路神楽										
隠岐郡	5	別府神楽同好会										
隠岐郡	6	西村神楽社中										
隠岐郡	7	知夫神楽同好会										
八束郡	1	佐蛇神能保存会		\$					5		\$	
吉賀町	1	黒渕神楽社中	18	16	2	0	1	3	3	3	1	7
吉賀町	2	白谷神楽保存会										
吉賀町	3	抜月神楽団										
奥出雲町	1	龍燈神楽										
大原郡	1	大東町神楽連絡協議 会		·								·
大原郡	2	出雲國大原神主神楽 保存会										
大原郡	3	海潮山王寺神楽										
津和野町	1	長福千原座神楽社中										
津和野町	2	中川八千代座神楽社 中										
津和野町	3	石見神楽保存会 日 原社中										

			寸	員数				年	齢構	成		
市町村	no	神楽団名	合計	男	女	10 代 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60代以上
津和野町	4	石見神楽 左鐙社中										
津和野町	5	須川神楽社中										
津和野町	6	柳神楽保存会	25	25	0	0	7	4	2	2	5	5
津和野町	7	木ノ口神楽社中										
飯石郡	1	上多根神楽保存会										
飯石郡	2	深野神楽保存会	15	12	3	0	0	2	1	4	5	5
飯石郡	3	木の下神楽保存会										
飯石郡	4	民谷神楽団										
飯石郡	5	奥飯石神楽 八神神 楽団										
飯石郡	6	奥飯石神職神楽保持 者会	10	10	0	0	0	0	2	3	1	4
飯石郡	7	敷波神楽団	16	16	0	0	0	0	3	2	8	3
簸川郡	1	併川神代神楽保存会										
簸川郡	2	阿宮神能保存会										
簸川郡	3	土手町神楽保存会	26	26	0	0	6	2	2	2	7	7
簸川郡	4	氷室神楽保存会	28	28	0	0	6	2	3	9	3	5
美濃郡	1	丸茂神楽社中	23	21	2	0	3	5	1	2	4	6
美濃郡	2	三谷神楽社中										
美濃郡	3	石見神楽久木社中	10	10	0	0	4	3	2	0	1	0

表 3.上演状況

				上演の	 D状況
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神祭り	競演大会イベン ト等出演回数
出雲市	1	久村伝統文化保存会			
出雲市	2	多伎神楽保存会			
出雲市	3	田儀神楽保存会			
出雲市	4	赤塚神楽 佐儀利保存会			
出雲市	5	大土地神楽保存会			
出雲市	6	乙立神楽保存会			
出雲市	7	神西神代神楽保存会	佐伯神社	10月・4月	15
出雲市	8	中野神楽保存会			
出雲市	9	見々久神楽保持者会			
出雲市	10	石畑神楽保存会			
出雲市	11	上之郷神楽同好会			
益田市	1	多田神楽保存会			
益田市	2	石見神楽 上吉田保存会			
益田市	3	久々茂神楽保存会	神久山久々茂惣 八幡宮	10月·7月·11 月	40
益田市	4	久城神楽保存会			
益田市	5	須子神楽社中		Ş	
益田市	6	高津神楽社中	柿本神社	10月	70
益田市	7	種神楽保存会			
益田市	8	津田神楽社中			
益田市	9	横田神楽社中			
益田市	10	真砂神楽社中			
益田市	11	石見神楽同好会 原浜さつき 会			
益田市	12	匹見町神楽保存会 匹見神 楽社中	日女ヶ森八幡宮	9月	5
益田市	13	三葛神楽保持社会			
益田市	14	道川神楽社中			
浜田市	1	亀山社中	_		20
浜田市	2	有福神楽保持者会	下有福八幡宮	10月	40
浜田市	3	後野神楽社中			
浜田市	4	宇津井神楽社中			
浜田市	5	大尾谷社中			
浜田市	6	上府社中	郷社八幡宮	10月	50
浜田市	7	佐野神楽社中	八旗山 佐野八幡 宮	10 月	30
浜田市	8	長澤社中	長澤神社	4月	35
浜田市	9	長浜社中			
浜田市	10	西村神楽社中			
浜田市	11	日脚神代神楽社中	日脚天上岡八幡 宮	10 月	20

				上演	の状況
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神祭り	競演大会イベン ト等出演回数
浜田市	12	細谷社中□			
浜田市	13	美川西神楽保存会	田橋大元神社	10 月	20
浜田市	14	鍋石神楽社中			
浜田市	15	熱田保存会			
浜田市	16	浜田市職員 石見神楽同好会			
浜田市	17	石見神楽周布青少年保存会			
浜田市	18	JR 石見神楽同好会			
浜田市	19	市木神社神楽団	市木神社	11月	1
浜田市	20	今市神楽社中			
浜田市	21	木田神楽社中	•		
浜田市	22	坂本神楽社中			
浜田市	23	重富神楽社中			
浜田市	24	石見神楽 都川神楽団			
浜田市	25	本郷神楽社中			
浜田市	26	来尾神楽団	来尾神社	10 月	2
浜田市	27	和田神楽社中			
浜田市	28	丸原神楽社中			
浜田市	29	小笹神楽社中			
浜田市	30	若林神楽社中			
浜田市	31	伊木神楽社中	猪伏山八幡宮	10 月	4
浜田市	32	上来原神楽社中			
浜田市	33	下来原神楽社中	\$		
浜田市	34	久佐西神楽社中			
浜田市	35	久佐東神楽社中 			
浜田市	36	小国神楽社中	\$		
浜田市	37	柚根神楽社中			
浜田市	38	石見神楽 今福神楽社中	今福八幡宮	10 月	35
浜田市	39	波佐常磐倶楽部			
浜田市	40	青原神楽社中			
浜田市	41	岡崎神楽社中	三角神社	10 月	10
浜田市	42	岡見神遊座			
浜田市	43	石見神楽 松原神楽社中	愛宕神社	10 月・7 月	50
浜田市	44	河内奏楽中	河内八幡宮	10 月	6
浜田市	45	両谷神楽社中			
浜田市	46	井野神楽			
浜田市	47	安城神楽社中	長安八幡宮	9月	20
浜田市	48	杵束神楽社中	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , ,	
松江市	1	宍道神楽 神栄会			
松江市	2				
江津市	1	倭川戸神楽社中	なし	なし	15
江津市	2	大元神楽 市山神友会			10
江津市	3	江尾大元神楽保存会			
江津市	4	小田舞子連中			

				上演の状況		
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神祭り	競演大会イベン ト等出演回数	
江津市	5	川戸神楽社中				
江津市	6	谷住郷神楽社中				
江津市	7	八戸神楽社中				
江津市	8	長谷同志会	瓦山権現宮	10 月	5	
江津市	9	山中神楽社中		10 月	30	
江津市	10	勝地神楽社中				
江津市	11	今田舞子連中				
江津市	12	大都神楽団				
江津市	13	有福温泉神楽団				
江津市	14	都治神楽社中				
江津市	15	石見神楽 波子社仲				
江津市	16	出雲大社教神代神楽波積支 部波積神楽団				
江津市	17	嘉戸神楽社中	嘉戸八幡宮	10 月	20	
江津市	18	上津井神楽社中				
平田市	1	出雲大社教神代神楽 伊野 社中				
平田市	2	小津神楽保存会				
平田市	3	唐川自治会 唐川神楽				
平田市	4	塩津町芸能保存会				
雲南市	1	中野神楽保存会				
雲南市	2	槻の屋神楽				
雲南市	3	槻之屋神楽保持者会	加茂神社		10	
大田市	1	大江高山神楽社中	747/21112			
大田市	2	多根神楽	佐比売山神社	4月	45	
大田市	3	土江子ども神楽団		1/3	10	
大田市	4	三瓶山神代神楽	八面神社	10月	5	
大田市	5	大田神楽社中		10 / 3		
大田市	6	刺鹿神楽団				
大田市	7	忍原神楽団				
大田市	8	大屋石雲神楽団	大屋神社	4月	40	
<u></u> 邑智郡	1	因原神楽団	因原八幡宮	4月・10月	7	
<u></u> 邑智郡	2	川本神楽団	四が八十田口	4/1 10/1		
<u></u> 邑智郡	3	<u> 三谷神楽団</u> 三谷神楽団				
<u></u> 邑智郡	4	一句	武明八幡宮	11月	2	
<u></u> 邑智郡	5	都神楽団	なし	11 / 1	30	
<u></u> 邑智郡	6	都賀西神楽保存会	740		30	
	7	大和村神楽同好会				
	8	大和神楽団				
- 邑智郡 	9	千原神楽団				
	10	乙原舞子連中 電用神楽団				
邑南町	1	雪田神楽団				
	2	口羽神楽クラブ			1	

				上演	 の状況
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神祭り	競演大会イベン ト等出演回数
邑南町	3	出羽神楽団	志都岩屋神社·神 応山七神社	10 月	12
邑南町	4	高原神楽団			
邑南町	5	田所神楽保存会			
邑南町	6	美穂神楽団			
邑南町	7	大元神楽 榲尾神楽団	榲尾八幡宮	10 月	6
邑南町	8	日和大元神楽団			
邑南町	9	矢上大元神楽団			
邑南町	10	福原神楽団			
邑南町	11	春日神楽団			
邑南町	12	中野大元神楽団			
邑南町	13	井原神楽団	折居神社	10月	2
邑南町	14	吉原大元神楽団		\$	
邑南町	15	桜井神楽団	***************************************	\$	
 邑南町	16	山之内神楽団			
隠岐郡	1	隠岐島前神楽保存会			
隠岐郡	2	菱浦神楽同好会			
	3	島後久見神楽保持者会			
隠岐郡	4	那久路神楽			
隠岐郡	5	別府神楽同好会			
隠岐郡	6	西村神楽社中			
隠岐郡	7	知夫神楽同好会]	
八束郡	1	佐蛇神能保存会			
吉賀町	1	黒渕神楽社中	愛宕神社	7月	2
古賀町	2	白谷神楽保存会	发石竹仏 		۷
吉賀町	3				
		抜月神楽団			
	1	能燈神楽 上末広地楽 末線 切ぎ			
大原郡	1	大東町神楽連絡協議会			
大原郡	2	出雲國大原神主神楽保存会			
大原郡	3	海潮山王寺神楽			
津和野町	1	長福千原座神楽社中			
津和野町	2	中川八千代座神楽社中			
津和野町	3	石見神楽保存会 日原社中			
津和野町	4	石見神楽 左鐙社中			
津和野町	5	須川神楽社中			
津和野町	6	柳神楽保存会	三渡八幡宮·柳天 満宮	11月	3
津和野町	7	木ノ口神楽社中			
飯石郡	1	上多根神楽保存会			
飯石郡	2	深野神楽保存会	深野神社		20
飯石郡	3	木の下神楽保存会			
飯石郡	4	民谷神楽団			
飯石郡	5	奥飯石神楽 八神神楽団			

				上演の状況		
市町村	no	神楽団名	氏神神社名	氏神祭り	競演大会イベン ト等出演回数	
飯石郡	6	奥飯石神職神楽保持者会	(地域内の神職で 構成されているの で特定不可)	10 月	2	
飯石郡	7	敷波神楽団	由来八幡宮	11月	2	
簸川郡	1	併川神代神楽保存会				
簸川郡	2	阿宮神能保存会				
簸川郡	3	土手町神楽保存会	熊野神社·若宮神 社	9月・10月	2	
簸川郡	4	氷室神楽保存会	曽枳能夜神社	10月	2	
美濃郡	1	丸茂神楽社中	妙見社	10月	1	
美濃郡	2	三谷神楽社中				
美濃郡	3	石見神楽久木社中	久木神社	9月	10	

表 4.保持演目

	ı	<u> </u>	T
市町村	no	神楽団名	保持演目
出雲市	1	久村伝統文化保存 会	
出雲市	2	多伎神楽保存会	
出雲市	3	田儀神楽保存会	
出雲市	4	赤塚神楽 佐儀利保 存会	
出雲市	5	大土地神楽保存会	
出雲市	6	乙立神楽保存会	
出雲市	7	神西神代神楽保存 会	[旧舞]山神・荒神・大和武・大蛇退治・国譲り・切面・御座舞・ 田村丸・天の岩戸・子供神楽
出雲市	8	中野神楽保存会	
出雲市	9	見々久神楽保持者 会	
出雲市	10	石畑神楽保存会	
出雲市	11	上之郷神楽同好会	
益田市	1	多田神楽保存会	
益田市	2	石見神楽 上吉田保 存会	
益田市	3	久々茂神楽保存会	[旧舞]八幡・恵比須・道がえし・鹿島・十羅・天神・塵輪・黒塚・ 日本武尊・岩戸・頼政・鐘馗・五神・大蛇 [新舞]紅葉狩
益田市	4	久城神楽保存会	
益田市	5	須子神楽社中	
益田市	6	高津神楽社中	[旧舞]石見神楽 30 演目 [新舞]オリジナル 18 演目
益田市	7	種神楽保存会	
益田市	8	津田神楽社中	
益田市	9	横田神楽社中	
益田市	10	真砂神楽社中	
益田市	11	石見神楽同好会 原 浜さつき会	
益田市	12	匹見町神楽保存会 匹見神楽社中	[旧舞]神楽・塩祓・柴舞(眞榊)・神迎・八幡・天岩戸・かっ鼓 切り目・鈴ヶ山・天神・十羅・道がへし・東大和(日本武尊)・西大和(熊襲)・鳥羽(頼政)・大江山・大国主(八十神)・恵比須・黒塚・中津(塵輪)・五神・鐘馗・田植舞・大蛇・貴船
益田市	13	三葛神楽保持社会	
益田市	14	道川神楽社中	
	_		

市町村	no	神楽団名	保持演目
浜田市	1	亀山社中	神楽・塩祓・神迎・四神・四剣・神祇太鼓・鍾馗・天蓋・八幡・塵輪・頼政・貴船・日本武尊・天神・八衢・五神・熊襲・岩戸・黒塚・大蛇・胴の口・恵比須・真榊・八十神・鈴神楽・鹿島・五条橋・かっ鼓・切目・道がへし・五穀種元・御座
浜田市	2	有福神楽保持者会	[旧舞]石見神楽は新旧の別はなく上演してます。しいて言えば創作神楽を新舞とします。[新舞]柿本人麻呂(作・40 年くらい前)・鬼首岩(平成になってから)
浜田市	3	後野神楽社中	
浜田市	4	宇津井神楽社中	
浜田市	5	大尾谷社中	
浜田市	6	上府社中	[旧舞]鈴神楽・塩祓・眞榊・神迎・八幡・神祇太鼓・かっ鼓・切目・道がへし・四神・四剣・鹿島・天蓋・塵輪・八十神・天神・黒塚・鐘馗・日本武尊・岩戸・恵比須・大蛇・五穀種元・頼政・八衢・五神(五郎の王子)[新舞]大江山
浜田市	7	佐野神楽社中	[旧舞]大蛇・鐘馗・天神・武の内・塵輪・五神・大江山・日本武尊・黒塚・頼政(ほかに八調子神楽多演目) [新舞]三上山・有明
浜田市	8	長澤社中	[旧舞]鈴神楽・塩祓・八幡・神祇太鼓・かっ鼓・切目・鹿島・天 蓋・八十神・天神・黒塚・鐘馗・日本武命・岩戸・恵比須・八衢・ 五神・大蛇 [新舞]弁慶・加藤清正
浜田市	9	長浜社中	
浜田市	10	西村神楽社中	
浜田市	11	日脚神代神楽社中	[旧舞]神楽・塩祓・眞榊・帯舞・御蓙舞・神迎・八幡・神祇太 鼓・双刀・かっ鼓・切目・道がえし・四神・四剣・鹿島・天蓋・塵 輪・八十神・天神・黒塚・鐘馗・日本武尊・岩戸・恵比須・大蛇・ 五穀種元・八衢・熊襲・五神
浜田市	12	細谷社中	
浜田市	13	美川西神楽保存会	
浜田市	14	鍋石神楽社中	
浜田市	15	熱田保存会	
浜田市	16	浜田市職員 石見神 楽同好会	
浜田市	17	石見神楽周布青少 年保存会	
浜田市	18	JR 石見神楽同好会	
浜田市	19	市木神社神楽団	[旧舞]神迎・潮祓・岩戸・剣舞・塵輪・切目・鈴合・神武・宇佐・ 杵桶・鐘馗・恵美須・鈴ヶ山・貴船・天神・八咫・黒塚・五龍王
浜田市	20	今市神楽社中	
浜田市	21	木田神楽社中	
浜田市	22	坂本神楽社中	

市町村	no	神楽団名	保持演目
浜田市	23	重富神楽社中	
浜田市	24	石見神楽 都川神楽 団	
浜田市	25	本郷神楽社中	
浜田市	26	来尾神楽団	[旧舞]神迎·塩祓·岩戸·神輪·神武·鐘馗·大蛇·八幡·天神· 四剣·恵比須 [新舞]滝夜叉姫·土蜘蛛
浜田市	27	和田神楽社中	
浜田市	28	丸原神楽社中	
浜田市	29	小笹神楽社中	
浜田市	30	若林神楽社中	
浜田市	31	伊木神楽社中	[旧舞]神楽・塩祓・神迎・八幡・神祇太鼓・かっ鼓・切り目・四神・鹿島・塵輪・八十神・天神・黒塚・鐘馗・日本武尊・岩戸・恵比須・大蛇・五穀種元・頼政・五神
浜田市	32	上来原神楽社中	
浜田市	33	下来原神楽社中	
浜田市	34	久佐西神楽社中	
浜田市	35	久佐東神楽社中	
浜田市	36	小国神楽社中	
浜田市	37	柚根神楽社中	
浜田市	38	石見神楽 今福神楽 社中	[旧舞]神楽・塩祓・御座・八幡・かっ鼓・切目・道がえし・四神・ 鹿島・天蓋・塵輪・天神・黒塚・鐘馗・日本武尊・神武・恵比須・ 大蛇・頼政・八衢 [新舞]紅葉狩・滝夜叉姫
浜田市	39	波佐常磐倶楽部	
浜田市	40	青原神楽社中	
浜田市	41	岡崎神楽社中	[旧舞]神楽・塩祓・八幡・天神・塵輪・道がへし・黒塚・鐘馗・恵 比須・岩戸・貴船・頼政・かっこ・切目・日本武尊・大蛇 [新舞] 弁慶・大江山
浜田市	42	岡見神遊座	
浜田市	43	石見神楽 松原神楽 社中	[旧舞]神楽・塩祓・四剣・八幡・天神・恵比須・塵輪・黒塚・かっ 鼓 切目・頼政・十羅刹女・鐘馗・鈴ヶ山・石神(いわがみ)・八 衢・岩戸・鬼返し・八岐大蛇
浜田市	44	河内奏楽中	[旧舞]五神・鐘馗など約 20 演目 [新舞]三隅兼連
浜田市	45	両谷神楽社中	
浜田市	46	井野神楽	
浜田市	47	安城神楽社中	
浜田市	48	杵束神楽社中	
松江市	1	宍道神楽 神栄会	
松江市	2	亀尾神能保存会	

江津市 1 倭川戸神楽社中 旧舞吟种楽・塩祓い・八幡・天神・賴政・恵比須・塵輪・黒塚神武・熊樓・日本武尊 道返し・岩見重太郎・武の内・大蛇・十羅・大江山・神紙太鼓・五神 江津市 2 大元神楽・市山神友会別に建市 4 小田舞子連中 江津市 4 小田舞子連中 江津市 5 川戸神楽社中 江津市 5 川戸神楽社中 1 大神・強値・虚倫・大蛇・元八幡・神武・岩戸・頼政・恵比寿・天神・強値・虚倫・大蛇・江津市 3 長谷同志会 天神・強値・虚倫・大蛇・ゴネ市・瀬口・神路・岩戸・頼政・恵比寿・天神・強値・虚倫・大蛇・江津市 10 勝地神楽社中 江津市 10 勝地神楽社中 昔から神楽を舞っています。新しい舞はありません。 江津市 11 今田舞子連中 古から神楽を舞っています。新しい舞はありません。 江津市 12 大都神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 1 田雲大社教神代神楽・変積支部液積・薬・オ・大・東の主・東の主・東の主・東の主・東の主・東の主・東の主・東の主・東の主・東の主	市町村	no	神楽団名	保持演目
江津市 2 会	江津市	1	倭川戸神楽社中	塚・神武・熊襲・日本武尊・道返し・岩見重太郎・武の内・大
江津市 4	江津市	2		
江津市 5 川戸神楽社中 江津市 6 谷住郷神楽社中 江津市 7 八戸神楽社中 江津市 8 長谷同志会 [旧舞]尊神・神迎・神降・弓八幡・神武・岩戸・頼政・恵比寿・天神・鐘艦・鏖倫・大蛇 江津市 9 山中神楽社中 昔から神楽を舞っています。新しい舞はありません。 江津市 10 勝地神楽社中 江津市 12 大都神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 江津市 14 都治神楽社中 江津市 16 裏大社教神代神楽団 江津市 16 上津井神楽社中 江津市 17 嘉戸神楽社中 「・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘艦・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 「・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘艦・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 「・東外半条件で、東野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 2 小津神楽保存会 雲南市 1 中野神楽楽保存会 雲南市 2 機の屋神楽 雲南市 2 機の屋神楽保存会 雲南市 3 機・日本・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・	江津市	3		
江津市 6 谷住郷神楽社中 (旧舞]尊神・神迎・神降・弓八幡・神武・岩戸・頼政・恵比寿・天神・鐘馗・塵倫・大蛇・江津市 3 長谷同志会 [旧舞]尊神・神迎・神降・弓八幡・神武・岩戸・頼政・恵比寿・天神・鐘馗・塵倫・大蛇・江津市 10 勝地神楽社中 古から神楽を舞っています。新しい舞はありません。 江津市 10 勝地神楽社中	江津市	4	小田舞子連中	
江津市 7 八戸神楽社中 江津市 8 長谷同志会 [旧舞]尊神・神迎・神降・弓八幡・神武・岩戸・頼政・恵比寿・天神・鐘艦・整備・大蛇 江津市 9 山中神楽社中 昔から神楽を舞っています。新しい舞はありません。 江津市 10 勝地神楽社中 計算 大都神楽団 江津市 12 大都神楽団 大都神楽団 工津市 14 都治神楽社中 江津市 15 石見神楽 波子社仲 田雲大社教神代神楽団 東京団 [旧舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の口・恵比須 天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 出雲大社教神代神楽 伊野社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 唐川自治会 唐川神楽、平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 [七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八月・日御碕・国譲	江津市	5	川戸神楽社中	
江津市 8 長谷同志会 [旧舞]尊神・神迎・神降・弓八幡・神武・岩戸・頼政・恵比寿・天神・鐘馗・鏖倫・大蛇 江津市 9 山中神楽社中 昔から神楽を舞っています。新しい舞はありません。 江津市 10 勝地神楽社中 江津市 11 今田舞子連中 江津市 12 大都神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 江津市 15 石見神楽 波子社中 江津市 16 第戸神楽社中 江津市 17 嘉戸神楽社中 [旧舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 田雪市 1 東井神楽社中 平田市 1 東 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 機の屋神楽 概立屋神楽 [七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八月・日御碕・国議	江津市	6	谷住郷神楽社中	
江津市 8 長谷同志会 天神・鐘馗・鏖倫・大蛇 江津市 9 山中神楽社中 昔から神楽を舞っています。新しい舞はありません。 江津市 10 勝地神楽社中 11 今田舞子連中 江津市 12 大都神楽団 12 大都神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 14 都治神楽社中 江津市 15 石見神楽 波子社仲 出雲大社教神代神楽波積支部波積神楽波積支部波積神楽波積支部波積神楽波積支部波積神楽の「・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 出雲大社教神代神楽・伊野社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽・伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 医南市 2 槻の屋神楽 「七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・紫佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八月・日御碕・国譲	江津市	7	八戸神楽社中	
江津市 10 勝地神楽社中 江津市 11 今日舞子連中 江津市 12 大都神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 江津市 14 都治神楽社中 江津市 15 石見神楽 波子社仲 江津市 16 楽波積支部波積神楽団 江津市 17 嘉戸神楽社中 「日舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 田・平田市 1 出雲大社教神代神楽 伊野社中平田市 2 小津神楽保存会 平田市 2 小津神楽保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 概之屋神楽保持者会 [七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐、悪切)・田村・三宝荒神・茅/輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	江津市	8	長谷同志会	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
江津市 11 今田舞子連中 江津市 12 大都神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 江津市 14 都治神楽社中 江津市 15 石見神楽 波子社仲 江津市 16 楽波積支部波積神楽団 江津市 17 嘉戸神楽社中 江津市 17 嘉戸神楽社中 「江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 概之屋神楽保持者会 [七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐に悪切)・田村・三宝荒神・茅/輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国談	江津市	9	山中神楽社中	昔から神楽を舞っています。新しい舞はありません。
江津市 12 大都神楽団 江津市 13 有福温泉神楽団 江津市 14 都治神楽社中 江津市 15 石見神楽 波子社仲 出雲大社教神代神楽団 出雲大社教神代神楽団 江津市 16 楽波積支部波積神楽団 江津市 17 嘉戸神楽社中 江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 【七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅/輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国護	江津市	10	勝地神楽社中	
江津市 13 有福温泉神楽団 江津市 14 都治神楽社中 江津市 15 石見神楽 波子社仲 田雲大社教神代神楽波積支部波積神楽団 [旧舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 [七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅/輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国議	江津市	11	今田舞子連中	
江津市 14 都治神楽社中 江津市 15 石見神楽 波子社仲 江津市 16 楽波積支部波積神 楽団 江津市 17 嘉戸神楽社中 [旧舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽 伊野社中平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 雲南市 3 桃之屋神楽保持者会会 雲南市 3 「七座舞」清目・手草ノ真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	江津市	12	大都神楽団	
江津市 15 石見神楽 波子社仲 江津市 16 楽波積支部波積神 楽団 江津市 17 嘉戸神楽社中 [旧舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 雲南市・3 規之屋神楽保持者会会 [七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅/輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	江津市	13	有福温泉神楽団	
江津市 16 出雲大社教神代神 楽波積支部波積神 楽団 江津市 17 嘉戸神楽社中 [旧舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神 楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神 楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者 会 雲南市 3 (七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪 切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八 戸・日御碕・国譲	江津市	14	都治神楽社中	
江津市 16 楽波積支部波積神 楽団 [旧舞]尊神・神降し・神迎え・八幡・道返し・神武・頼政・胴の 口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・ 五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神 楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神 楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 機之屋神楽保持者 会 [七座舞]清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪 切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八 戸・日御碕・国譲	江津市	15	石見神楽 波子社仲	
江津市 17 嘉戸神楽社中 ロ・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・五郎の王子 江津市 18 上津井神楽社中 平田市 1 出雲大社教神代神楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 雲南市 3 根之屋神楽保持者会 野・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	江津市	16	楽波積支部波積神	
平田市 1 出雲大社教神代神 楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神 楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 雲南市 3 一七座舞門清目・手草ノ真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	江津市	17	嘉戸神楽社中	口・恵比須・天神・人倫・日本武尊・大江山・黒塚・鐘馗・大蛇・
平田市 1 楽 伊野社中 平田市 2 小津神楽保存会 平田市 3 唐川自治会 唐川神 楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 雲南市 1 「七座舞」清目・手草ノ真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	江津市	18	上津井神楽社中	
平田市 3 唐川自治会 唐川神 楽 平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 雲南市 1 「七座舞」清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	平田市	1		
平田市 4 塩津町芸能保存会 雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 雲南市 (七座舞)清目・手草/真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	平田市	2	小津神楽保存会	
雲南市 1 中野神楽保存会 雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 [七座舞]清目・手草ノ真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	平田市	3		
雲南市 2 槻の屋神楽 雲南市 3 槻之屋神楽保持者会 [七座舞]清目・手草ノ真・連手草・茣蓙・勧請・剣舞・柴佐(悪切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	平田市	4	塩津町芸能保存会	
雲南市 3 槻之屋神楽保持者 会 [七座舞]清目·手草/真·連手草·茣蓙·勧請·剣舞·柴佐(悪 切)·田村·三宝荒神·茅/輪·五行·天神·日本武·亥日祭·八 戸·日御碕·国譲	雲南市	1	中野神楽保存会	
雲南市 3 機之屋神楽保持者 切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八戸・日御碕・国譲	雲南市	2	槻の屋神楽	
大田市 1 大江高山神楽社中	雲南市	3		切)・田村・三宝荒神・茅ノ輪・五行・天神・日本武・亥日祭・八
	大田市	1	大江高山神楽社中	

市町村	no	神楽団名	保持演目
大田市	2	多根神楽	[旧舞]塩清メ・榊舞・八乙女・茣蓙舞・四方幣・年早舞・剣舞・ 芝佐・岩戸・国向けの舞・吉利女・天神・酒造・大蛇 [新舞]姫 逃池物語(三瓶山のふもとにある姫逃池)
大田市	3	土江子ども神楽団	
大田市	4	三瓶山神代神楽	[旧舞]塩清・榊舞・茣蓙舞・手草の連舞・手草の花・剣前・剣後・八乙女の舞・芝佐・悪切・鯛つりの舞・荒神・三番叟・道開・弓八幡・五行の舞・日の御碕・八頭 [新舞]思案中です。演目は、姫逃池物語(ひめのがいけものがたり) 現在も地元にある、池の名前で昔から言い伝えられている話。
大田市	5	大田神楽社中	
大田市	6	刺鹿神楽団	
大田市	7	忍原神楽団	
大田市	8	大屋石雲神楽団	[旧舞]榊・悪切り・ござ舞・塩清め舞・八乙女・岩戸 [新舞]大蛇・塵輪・鬼岩・恵比須・弓八幡・鐘馗・日御碕・田村・黒塚
邑智郡	1	因原神楽団	[旧舞]神迎え・弓取八幡・鈴鹿山・神武・塵倫・天神・鐘馗・大 江山・天の岩戸・山伏八幡・えびす舞・法印山伏・八岐大蛇 [新舞]葛城山・紅葉狩・日本武尊・滝夜叉姫
邑智郡	2	川本神楽団	
邑智郡	3	三谷神楽団	
邑智郡	4	石見神楽 三原神楽 団	[旧舞]神迎・潮払・胴の口・楽舞・山の大王・剣舞・神武・御座舞・八岐・鈴鹿山・岩戸・宇佐八幡・鐘馗・天神・八神姫・塵輪・黒塚・大江山・恵比須・大楠公・丸山城(創作)
邑智郡	5	都神楽団	[旧舞]神降し・鐘馗・塵輪・天の岩戸 [新舞]悪狐伝・八岐大蛇・紅葉狩・葛城山・日本武尊・滝夜叉姫・子持山姥・羅生門・戻り橋・大江山・殺生石・八幡・鈴鹿山・新鈴鹿山・大化改新・山伏・丁城秘話・髪掛の松
邑智郡	6	都賀西神楽保存会	
邑智郡	7	大和村神楽同好会	
邑智郡	8	大和神楽団	
邑智郡	9	千原神楽団	
邑智郡	10	乙原舞子連中	
邑南町	1	雪田神楽団	
邑南町	2	口羽神楽クラブ	
邑南町	3	出羽神楽団	[旧舞]潮祓い・神迎・恵比須・八幡・塵倫・大江山・八岐の大蛇 [新舞]悪狐伝(前編)・鈴鹿山・日本武尊・滝夜叉姫・紅葉狩・ 戻り橋(前編)・戻り橋(後編)・大江山・大蛇退治・葛城山・切石 峠(創作)
邑南町	4	高原神楽団	
邑南町	5	田所神楽保存会	
邑南町	6	美穂神楽団	

市町村	no	神楽団名	保持演目
邑南町	7	大元神楽 榲尾神楽 団	[旧舞]神迎え・潮祓・磐戸・太鼓口・剣舞・塵倫・鞨鼓・刹面・天神・恵比須・宇佐八幡・四剣・降居・貴船・黒塚・鐘馗・手草・神功皇石・大江山・神武・茣蓙・八咫大蛇・五龍王
邑南町	8	日和大元神楽団	
邑南町	9	矢上大元神楽団	
邑南町	10	福原神楽団	
邑南町	11	春日神楽団	
邑南町	12	中野大元神楽団	
邑南町	13	井原神楽団	[旧舞]四方堅、四剣、岩戸、鐘馗、太鼓口、黒塚、刈面(鞨 鼓)、神武、塵輪、恵比寿、天蓋、大蛇 自作として新雲ヶ渕
邑南町	14	吉原大元神楽団	
邑南町	15	桜井神楽団	
邑南町	16	山之内神楽団	
隠岐郡	1	隱岐島前神楽保存 会	
隠岐郡	2	菱浦神楽同好会	
隠岐郡	3	島後久見神楽保持 者会	
隠岐郡	4	那久路神楽	
隠岐郡	5	別府神楽同好会	
隠岐郡	6	西村神楽社中	
隠岐郡	7	知夫神楽同好会	
八東郡	1	佐蛇神能保存会	
吉賀町	1	黒渕神楽社中	[旧舞] 塩祓、八幡、神倫、神迎、天神、黒塚、恵比壽、岩 戸、大蛇、鍾馗
吉賀町	2	白谷神楽保存会	
吉賀町	3	抜月神楽団	
奥出雲町	1	龍燈神楽	
大原郡	1	大東町神楽連絡協 議会	
大原郡	2	出雲國大原神主神 楽保存会	
大原郡	3	海潮山王寺神楽	
津和野町	1	長福千原座神楽社 中	
津和野町	2	中川八千代座神楽 社中	
津和野町	3	石見神楽保存会 日 原社中	

		1	
市町村	no	神楽団名	保持演目
津和野町	4	石見神楽 左鐙社中	
津和野町	5	須川神楽社中	
津和野町	6	柳神楽保存会	[旧舞]神楽・塩祓・八幡宮・岩戸・鐘馗・四剣・十羅・八十神退治・東夷征伐・蛇舞[新舞]曽我兄弟・那須野ヶ原(大正5年秋頃広島県山県郡川迫村川戸地方の神楽保持者2人(木挽職人)が柳集落へ来ていて青年団に伝授したのが始まりであります。)
津和野町	7	木ノ口神楽社中	
飯石郡	1	上多根神楽保存会	
飯石郡	2	深野神楽保存会	
飯石郡	3	木の下神楽保存会	
飯石郡	4	民谷神楽団	
飯石郡	5	奥飯石神楽 八神神 楽団	
飯石郡	6	奥飯石神職神楽保 持者会	七座神楽が中心であり、七座(9種類)神能は人数の関係上あまり行わないが「切目」
飯石郡	7	敷波神楽団	[七座舞]塩清の舞・幣の舞・神木の舞・千早舞・手草舞(真)― 人・手草舞(相)二人・釼の舞(前鈴・後釼) [能舞]芝佐の舞・悪 切の舞・三番隻の舞・国向の舞・八頭・日之御崎
簸川郡	1	併川神代神楽保存 会	
簸川郡	2	阿宮神能保存会	
簸川郡	3	土手町神楽保存会	[旧舞]塩清・湯立・幣の舞・布舞・扇の舞・四方剣・悪切・弓鎮守・茣蓙舞・三番・山の神・恵比須舞・五行の舞・田村将軍・公神・竹須佐・三韓・大蛇・日御崎
簸川郡	4	氷室神楽保存会	[七座舞]四方清・湯立・四方剣・神降し [能舞]山の神・荒神・ 三熊・神宮功皇・田村・八戸・日御碕
美濃郡	1	丸茂神楽社中	[旧舞]神楽・塩祓・二人芝・四神・八幡・神祇太鼓・かっ鼓 切目・道返し・鹿島・塵輪・八十神・天神・黒塚・鐘馗・貴船・日本武尊(東大和)・熊襲(西大和)・頼政・恵比須・八衢・五神・田植舞・五穀種元・大蛇舞・拾浦節女 [新舞]大江山
美濃郡	2	三谷神楽社中	
美濃郡	3	石見神楽久木社中	[旧舞]神楽・塩祓い・眞榊・神迎え・四神・四剣・八幡・かっ鼓切目・道がえし・八十神・鹿島・恵比須・十羅・熊襲・日本武尊・神武・塵輪・頼政・天神・黒塚・鉄輪・岩戸・杵・八衢・鐘馗・大蛇・五神

表 5.団員募集状況とプロフィール

		11.16.	団員募	 集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
出雲市	1	久村伝統文化保存会			
出雲市	2	多伎神楽保存会			
出雲市	3	田儀神楽保存会			
出雲市	4	赤塚神楽 佐儀利保存 会			
出雲市	5	大土地神楽保存会			
出雲市	6	乙立神楽保存会			
出雲市	7	神西神代神楽保存会	募集中	氏子に限る	明治時代より神楽の奉納をしていた。 神西には4つの神社がありそれぞれ活動 していたが、昭和20年頃より、手間不足 になり4社が合体し神西神楽保存会となった。 昭和35年出雲市無形文化財の指定を 受け、子供神楽の指導、老人ホームの慰 間、またイベント等に年間15~20回くら い出掛けている。
出雲市	8	中野神楽保存会			
出雲市	9	見々久神楽保持者会			
出雲市	10	石畑神楽保存会			
出雲市	11	上之郷神楽同好会			
益田市	1	多田神楽保存会			メンバーは二十代から七十代までの二十一人で、すべて地元の氏子が行っています。舞は六調子を継承していますが、「扇原」等新しい舞にも取り組んでいます。 大元神社例祭を中心に、益田祭り、神楽の里等年間数回の公演を行っています。多田神楽は古くは100年以上前から行われていたようですが、文献等が少なくまた一旦途絶えてしまったため詳しい事は分かりません。しかし、親子三代に渡って舞っている者もいてその歴史の古さに驚かされます。 現在は益田市内の六つの同好会が結集した「益田市石見神楽同好会」に所属し年数回の公演を共に行っています。練習は、週2回程度多田公民館にて行っています。 平成十一年より、「多田神楽同好会」改め「多田神楽保存会」へと名称が変わりました。

+=++		抽 嵌 □ <i>每</i>	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
益田市	2	石見神楽 上吉田保存 会			
益田市	3	久々茂神楽保存会	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和39年青年団活動の中で、松江市で開かれた県青年大会郷土芸能の部に出演したのを機に、地元神楽有志らと共に12名で久々茂神楽社中を結成。昭和45年大阪万博に出演時に、石見神楽久々茂保存会と改名した。昭和43年久々茂子供神楽部を結成、後継者の育成に努める。平成元年益田東中学校の神楽クラブの指導員として任命され今日に至る。昭和50年旧益田市内9団体の会、神和会を結成、入会。神和会の行事にも積極的に参加し、海外公演も8回(12カ国)参加。結成当時のメンバーは現在3名となった。
益田市	4	久城神楽保存会			
益田市	5	須子神楽社中			
益田市	6	高津神楽社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	明治25年10月に発足。昭和48年10月に高津神楽社中に改名。石見神楽八調子。
益田市	7	種神楽保存会			
益田市	8	津田神楽社中			
益田市	9	横田神楽社中			
益田市	10	真砂神楽社中			
益田市	11	石見神楽同好会 原浜 さつき会			
益田市	12	匹見町神楽保存会 匹見神楽社中	募集中		明治中期に、旧紙祖村の有志が紙祖 八幡宮宮司から習得した六調子系神楽 が始まりで、大正時代に一時活動が中断 しましたが、昭和6年、旧鎌手村宇治の 舞手に師事して、新たに八調子系神楽を 導入し、今日に至っています。 演目として塩祓・神迎などの儀式舞、ま た鈴ケ山・大江山などの能舞など20数演 目を伝承していますが、このうち本社中 の芸態性を理解する上で、極めて貴重で あるといえる「神楽」「柴舞」「神迎」「十 羅」の4演目は、町の無形民俗文化財に 指定されています。

		売 お 口 々	団員募集状況		
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
益田市	13	三葛神楽保持社会			三葛神楽は明治27年ごろ、匹見八幡宮の神主であった斎藤真墨、同幸太郎の父子によって伝習されたものといわれ、石見地方における六調子系の祖形を伝承し、現在、神楽・塩祓・帯舞・神迎・柴清目・四神・羯鼓・切目・十羅・鬼反・東夷・八十神・恵比須大黒・塵輪・鐘馗・黒塚・貴船・八岐大蛇・岩戸などの19番を伝承しています。調子は六調子(打切り)型の悠長なものであり、所作は優雅で、クモ(天蓋)の下方一間内で舞われ、とくに「帯舞」「神楽」「柴清目」「鬼反」などは貴重な演目であり、洗練された「貴船」は見事な舞振りといえるものです。また衣装には古いものもあり、木彫りの22面は町の有形文化財に指定されています。昭和50年、島根県の無形民俗文化財に指定されました。
益田市	14	道川神楽社中			明治40年ごろ六調子系神楽として始まったと伝えられていますが、大正5・6年ごろに中絶し、現在のものは昭和27年に益田の真砂から伝承されました八調子系神楽のものです。 演目は「神楽」「塩祓」などの儀式舞、能舞として「道反し」「鐘馗」「大江山」などの17演目を伝承しています。これらのうち「塩祓」「四神」「切目」「道反」の4演目は、とくに八調子系神楽の変遷を探る上で意義があり、また洗練された演舞のものとして町指定を受けています。
浜田市	1	亀山社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	島根県西部に伝承される八調子石見神楽を継承し、発足当初から多くの神楽関係者の皆様、そして神楽ファンの皆様に支えられ活動してまいりました。この場をおかりしまして社中員一同厚く御礼申し上げます。これからも、神楽のみならず、神楽人としての生き方を真に見つめ、人となりを磨き、社中理念でもある「温故知新」の精神を貫き、敬神感をもとに伝統芸能を継承すべく、敬神礼法・儀式舞・能舞の習得伝承に社中員一丸となり精進する所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻、ならびにご声援賜りますようお願い申し上げます。

 市町村		神楽団名	団員募:	集状況	
111 世1 本1	no		募集状況	備考	プロフィール
浜田市	2	有福神楽保持者会	募集中	他地区 からの 入団も 可	有福神楽は約300年の歴史があり、保 持演目39演目あります。私達の町内は 今現在80戸ぐらいの小さな集落です。そ の昔は3分の1にもみたない戸数と思わ れますが、よく今まで継承されてきたもの だと改めて歴史を感じます。テンポの早 い舞と有福神楽は刀の舞を特徴としてい ます。
浜田市	3	後野神楽社中			現在の後野神楽社中は大正9年に結成 された土井口神楽社中がその前身であり ます。昭和48年に土井口地区の後継者 不足から後野全町内の若手に呼びか け、後野神楽社中として再発足しました。
浜田市	4	宇津井神楽社中			
浜田市	5	大尾谷社中			我々大尾谷社中は、江戸次第末期に結成され当時は6調子にて演じられていました。その後昭和初期に8調子のリズムに変えられたと、伝えられております。各社中の例大祭はもとより県内外の諸行事にも積極的に参加し、地元の郷土芸能をより多くの方々に知って頂ける様、日夜精進致しております。

———— 市町村	n.o	地 海田夕	団員募集状況		
111世1 小月	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
浜田市	6	上府社中	募集中	他か入可区のも	上府神楽社中は、文化3年頃より盛んになり、慶応年間に隠岐国奉納の記録も残されています。昭和45年、大阪万博「お祭り広場」に出演。世界の人に絶養の後、全国商工会祭、お国自慢西東、ポティバル、うみしま博覧会、花と緑の画内のイベントでも高いででは、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東
浜田市	7	佐野神楽社中		氏子に限る	明治4年の神職演舞禁止令により、氏子に引き継がれたとされており、六調子から勇壮華麗な八調子(大正6年)へと移行した。国内各地の神社奉納はもとより、科学万博、国民文化祭などにも出演し、また海外においてもアメリカ(ハリウッド)、台湾に単独出演。市合同社中ではアメリカ(シアトル・ソルトレイク・ニューヨーク)、中国、韓国、オーストラリアなどで演舞し、友好親善につとめながら、研鑚を重ね好評を得ている。
浜田市	8	長澤社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	
浜田市	9	長浜社中			

市町村		地 源国友	団員募領	集状況	
川1円1小川	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
浜田市	10	西村神楽社中			石見神楽は、石見地方(島根県西部地域)に伝わる里神楽で、地区毎の祭礼の際に夜を徹して演じられます。演目の数は三十数演目に及び、その多くが日本書紀を題材としています。現在では、各種大会、婚礼のアトラクション等でも欠かすことのできない郷土の代表的な伝統芸能となっています。中でも大蛇(おろち)は、三十数演目ある石見神楽の中の華と言われており、岐の大蛇(やまたのおろち)退治を題材としたもので、八頭の大蛇がのたうちまわり、佐之男の命との格闘シーンは、見る人を必ず感動させることでしょう。石見神楽の起源は定かでは有りませんが、室町後期には演じられていたとも言われています。明治初期に石見の国学者たちによる神楽改正があり、それまでの六調子神楽と呼ばれる優雅でゆるやかなテンポの神楽から、勇壮で早いテンポの八調子神楽へと移行され浜田市を中心に伝承されています。
浜田市	11	日脚神代神楽社中	募集していない		日脚神楽の源は、さだかではありませんが、記録などから寛政年間にはすでに盛んに活躍していたもと考えられます。そのころは、お宮に神仕えしている人たちが、社中をつくって神楽奉納していたものですが、明治になってからは、神楽は神職の手を離れて民間に移り、調子も悠長な六調子から現在の如き軽快な八調子へと変わっていきました。演技そのものも八調子に合致し、その勇壮優雅なることは他にないものと誇りに思っております。現在では保存後援会の尽力もあって、衣装等も一新され、ますます充実、活躍を続けております。この伝統ある神楽を後世に伝えるべく、日々研鑽尽力する所存であります。

		44 V/V [7] F	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
浜田市	12	細谷社中			細谷社中の歴史は、その起源を明確に することは難しいが、天宝の初年には細 谷の人は神楽を舞っていた事や、神官の 反対を受けて罰せられていた事実が古 書により明らかになっており、農民神楽の 始祖社中であったと云っても過言ではな く、明治初期に故田中清見氏より指導を 受け、新しい感覚を導入しながら石見地 方の人情、風土に密着した社中として、 石見神楽の歴史と歩みを共にした八調 子石見神楽の源といえる社中である。
浜田市	13	美川西神楽保存会	募集していない		私ども美川西神楽保存会は、明治初期 に田橋舞子連中として発足、後に田橋神 楽社中として活動していましたが、戦後 団員不足により活動を休止していまし た。その後昭和 42 年に地元有志により 活動を再開し、今日に至っています。
浜田市	14	鍋石神楽社中			
浜田市	15	熱田保存会	.		
浜田市	16	浜田市職員 石見神楽 同好会			
浜田市	17	石見神楽周布青少年保 存会			
浜田市	18	JR 石見神楽同好会			
浜田市	19	市木神社神楽団		氏子に 限る	石見神楽の六調子
浜田市	20	今市神楽社中			
浜田市	21	木田神楽社中	.		
浜田市	22	坂本神楽社中	¢		
浜田市	23	重富神楽社中			重富神楽社中は、重富八幡宮にて明治初期まで神事に併せて神職により神楽舞が奉納された様ですが、その頃より神職の手伝い役として氏子が加勢して演ずるようになり、これ以後重富神楽社中として発足し、地区民の慰安楽しみとして盛大に奉納されるようになり、現在は郷土芸能として、また地区の活性化の一端として継承されております。
浜田市	24	石見神楽 都川神楽団			
浜田市	25	本郷神楽社中			

——————————————————————————————————————		44 V44 LTI 64	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
浜田市	26	来尾神楽団		氏子に限る	明治中期に発足したが、昭和30~40 年代頃、人員不足により廃団の危機に立 たされたが、女性の方(3~4人)に協力を いただき継続することができ、現在に至 る。聞くところによると、神楽の流れは芸 北の神楽によるところがおおく、調子は 六調子と八調子の中間ぐらい。
浜田市	27	和田神楽社中			
浜田市	28	丸原神楽社中			
浜田市	29	小笹神楽社中			
浜田市	30	若林神楽社中			
浜田市	31	伊木神楽社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	現在、伊木の里に伝わる八調子の神楽は明治20年代の終わり頃、渡辺五郎、山東梅吉の2人の先駆者が習い伝えたと言われる。以後、大正・昭和期と隆盛期が続いたが、若年層の流出で人手不足により活動を中断し、この里から神楽が消滅した。しかし、Uターン現象により昭和49年に復活、現在に至っている。古式に則った神楽の演舞に心がけるよう、社中一同、申し合わせている。
浜田市	32	上来原神楽社中			
浜田市	33	下来原神楽社中			
浜田市	34	久佐西神楽社中			
浜田市	35	久佐東神楽社中			神官によって舞われていた神職神楽が明治の初期に発令されたが、神職演舞禁止令により、久佐八幡宮神官であった「山崎義任氏」によって氏子若連中に引き継がれ、久佐舞子連中として六調子神楽が発足した。時期は判明しないが言い伝えによると、明治12年以前とされていて、黒地に真赤な朝日が昇る平幕に明治12年と書かれていたとのこと。また、今でも木彫の面や古い衣装も数多く保存している。大正に入って、久佐上地区に八調子神楽が伝えられたため、久佐下地区が六調子神楽を継承し、久佐東神楽社中として現在に至っている。
浜田市	36	小国神楽社中			
浜田市	37	柚根神楽社中			

╅┉╁		カルド 口 々	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
浜田市	38	石見神楽 今福神楽社中	募集中	他地ののも可	今福神楽社中の舞が六調子から八調子に移行したのは、明治初期。郷社今福川・郷社会にあれていた神職神楽を里神楽として皆合地区の若者が「皆合の無子連中」として受け継ぎ、昭和8年に浜田市長見神楽社中(藤川氏)より八調子神楽を習得した。しかし、第二次世界日によっては舞い姿がわからなくなり、昭和21年に浜田市長浜社中(坂本氏)より新たに八調子神楽を習得したと聞いている。 一時期後継者不足でしたが地域の輪を広げ、美又地区や雲城地区からも活神楽社中として再結成し、中として再結成し、現在では女性に動したが神楽にも挑戦しながら保存伝承に取り組んでいる。 社中として再結成しながら保存伝承に取り組んでいる。社中は、同好会的な組織ではなく、長年、神社とともに歩んできた社中であり、町内の催事はもちろん、県内外の各種神楽大会や行事に招かれ、優勝、準優勝なぎによっている。最近では平成13年かな第演大会に優勝した実績があり、県外の神楽競演大会にも出場して地元神楽団体との交流も行い、町のPRや都市と山村の交流にも役立っている。
浜田市	39	波佐常磐倶楽部			
浜田市	40	青原神楽社中			
浜田市	41	岡崎神楽社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	江戸時代より発足。石見神楽の中でも最 も古い社中とされている。八調子神楽。
浜田市	42	岡見神遊座			

		加	団員募:	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
浜田市	43	石見神楽 松原神楽社中			石見神楽の古きよきのもと新しい時代のニーズにあった神楽社中を目指そうと、三隅町松原地区の若者を中心に昭和55年に社中を結成。以来、地区の愛宕神社の夏、秋の例祭はじめ、町内はもとより中国地方の奉納神楽や神楽大会に出場すると共に、各地域のイベントに多数参加させていただいております。 迫力ある囃子、躍動感あふれる舞をモットーに、1人でも多くの人に石見神楽の良さを知ってもらい、心に残る感動のある神楽をと、社中員一同、日々練習をかさねております。今後とも温かいご声援、ご指導の程、よろしくお願いいたします。
浜田市	44	河内奏楽中	募集中	他地区 からの 入団も 可	明治初年頃に、近隣の寺社の為の奉 楽連として発足しました。当初は奏楽(雅 楽)演奏のみでしたが、神楽が伝授され、 現在は神楽主体で活躍しています。 「奏楽中」の名称は、伊勢神宮により授 与されたと伝えられています。
浜田市	45	両谷神楽社中			
浜田市	46	井野神楽			島根県指定無形民俗文化財
浜田市	47	安城神楽社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	安城神楽社中は、文久元年(1861)に始められたと伝えられ、140余年の長きにわたり多くの先輩達によって伝承されてきました。明治中期までは神職中心の神楽で六調子で演じられていたようです。その後、一般氏子で演じられるようになり、石見神楽独特の八調子で演ずるようになりました。現在19名のメンバーで構成しており、国内外各地の祭り、イベントなどに積極的に参加しております。先人達が血のにじむような思いで残してくれた貴重な郷土芸能を正しく後世に伝承すべく努力をしております。
浜田市	48	杵束神楽社中			
松江市	1	宍道神楽 神栄会			
松江市	2	亀尾神能保存会			

		神水田々	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
江津市	1	倭川戸神楽社中	募集中	他地らのも可	島根県江津市桜江町川戸地区には、 大元六調子神楽を伝承する子供神楽社中(年長組~小学校6年生)と大人の神楽社中はありますが、中高生は活動できませんでした。そこで平成10年1月1日、子供神楽を卒業した中学生を中心に「川戸神楽社中」を結成。平成14年より「倭川戸神楽社中」と社中名を改め活動しております。子供神楽で習得した六調子神楽ではなく、独学で石見八調子神楽に取り組んでおります。 これまでに県内外の例大祭・各種神楽大会・イベント・定期公演・結婚式・施設慰問などで上演・奉納してきました。また、平成15年に「結成5周年記念公演」を自主開催したのをきっかけに、「つぬさはう石見国の神遊び」と称する自主公演を数回行っております。さらに平成14年より社中のサイトを開設し、社中の活動のみならず島根・広島両県を中心とした「神楽上演予定」を掲載し、インターネットを通じて多くの皆様と交流を深めております。
江津市	2	大元神楽 市山神友会			
江津市	3	江尾大元神楽保存会			
江津市	4	小田舞子連中			
江津市	5	川戸神楽社中	·		
江津市	6	谷住郷神楽社中			谷住郷神楽社中は、石見地方を中心に 継承されてきた八調子神楽で、神社の例 祭はもとより県内外の諸行事にも積極的 に参加しています。地域の伝統芸能をよ り多くの方々に知ってもらえるよう「残胸 再観」を胸に芸の向上、神楽の発展に日 夜精進しています。
江津市	7	八戸神楽社中			
江津市	8	長谷同志会	募集していない	要望が あれば 考える	地域の伝統と文化を伝承する為少人数ではあるが活動している。神楽の外、田植囃子も継承している。近年は神楽体験も行っている。 先人から伝えられている六調子舞を伝承している。特に尊神は他の社中でも舞われていない神楽である。
江津市	9	山中神楽社中		氏子に 限る	明治時代33年~今まで続いています。
江津市	10	勝地神楽社中			
江津市	11	今田舞子連中			

		かが口を	団員募領	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
江津市	12	大都神楽団			平成11年8月13日島根県江津市川平町に神楽団を設立しました。大都神楽団は、神楽を愛する若者達が「何か新しい事がしたい」と集まり平成11年8月に4人の団員にて発足しました。当初は道具もなく、衣装もなく、なんといっても人員が揃わず、それでもたくさんの方々にお世話になりながら地道な活動を続けて参りました。 そして少しずつ道具も増え、団員も増え、各地公演依頼をいただけるようになり、現在ようやく神楽団らしい活動ができるようになりました。
江津市	13	有福温泉神楽団			昭和42年に結成されて以来、神社の例大祭をはじめ、県内外のイベントなどへも数多く参加しています。 地元有福温泉では『湯の町演芸場』において、平成元年より、毎週土曜日の定期公演を行い、訪れた観光客の皆さんに好評を博しております。平成12年には、島根県の観光親善交流大使にも任命され、伝統芸能である『石見神楽』を県外に広めるとともに、神楽の継承、発展、観光PRの為に団員一同頑張っております。
江津市	14	都治神楽社中			都治神楽社中は、石見西部を中心とした八調子神楽で神社の例祭はもとより県内外の諸行事へ積極的に参加し花を添えております。社中の基本理念として、石見人の性格になじみ敬神と祭事を盛り上げるため「残胸再観」を旨として社中一丸となって古典的な神楽あるいは新曲神楽の習得に精進、研鑽を重ねております。
江津市	15	石見神楽 波子社仲			昭和53年同好会として発足、3年後に 社中として現在に至り、長沢社中の八調 子の流れを被りテンポの良い神楽を舞い ます。 地元のお宮の秋祭りをはじめ、近辺の 祭りにはご依頼をうけ奉納させていただ いています。イベント等では松江市、出 雲市、浜田市、広島市、大阪府等々も出 演の機会があり、幅広く活動しています。 「神楽舞技術の習得の他、新演目の習 得、地域文化の振興、交流をはかり、会 員一丸となって頑張っています。

╅		油水 口 4	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
江津市	16	出雲大社教神代神楽波積支部波積神楽団			昭和27年(1952)出雲大社より6調子と伝統的技法を認められ、指定神楽となり、出雲大社教神代神楽波積支部波積神楽団と名称を改名しました。平成元年(1988)後継者の育成と青少年の健康な育成化を目指し、保護者とともに講師を招き、宿泊研修などを行っています。平成9年、国際民俗芸能フェスティバル、第39回中国四国ブロック芸能大会に出演したところ、文化国際交流と民俗芸能の保存振興に寄与していることに対して文化庁、林田英樹長官、島根県教育委員会江口博晴教育長より感謝状を受賞しました。
江津市	17	嘉戸神楽社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和51年3月に地元の活動の一環として嘉戸壮年会神楽部という形で発足しました。当初地区の敬老会のアトラクションで神楽を、ということでした。しかし、本格的に神楽を習得し、今では地元の例祭、県内外のイベントへと積極的に出演しています。
江津市	18	上津井神楽社中			神楽の源流であります六調子の神楽を 継承しています。
平田市	1	出雲大社教神代神楽 伊野社中			代表者 多久和 豊
平田市	2	小津神楽保存会			
平田市	3	唐川自治会 唐川神楽			
平田市	4	塩津町芸能保存会			
雲南市	1	中野神楽保存会			
雲南市	2	槻の屋神楽			槻屋(つきのや)神楽(かぐら)は、1804年 の「神(しん)能集巻(のうしゅうかん)」によ ると「出雲国出雲郡下直江村神官金築中 津守」より伝えられたとあるが、これ以前 に何処から伝授されたかは不明である。

		抽 嵌 🖾 <i>每</i>	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
雲南市	3	槻之屋神楽保持者会	募集中	他地区 からの 入団も 可	1804年の神能集巻によると、近世中葉以前の神主神楽に始まるとされている。修験神楽にも通じる要素を多分に残している。「亥日祭」(いのひまつり)など他の社中にはない舞がある。昭和37年島根県指定無形民俗文化財に指定。昭和53年文化財保護法による「記録作成の措置を講ずべき無形文化財」として選択。素朴な古典神楽であり「亥日祭」、天神の「楽の舞」など他の社中にはない舞がある。また「八岐大蛇退治」伝説の地に生まれた社中であり、八岐大蛇退治「八戸」は伝説の地にはふさわしい雰囲気と迫力、幽玄な舞と評されている。
大田市	1	大江高山神楽社中			昭和24年頃から活動を開始。市内唯一の石見神楽である。
大田市	2	多根神楽	募集中	他地区 からの 入団も 可	明治初期に組織し、出雲神楽の優雅、格 調の高さと石見神楽の勇壮豪快さの両 者の流れをくむ。舞は清らかで、優雅で あることが本質。
大田市	3	土江子ども神楽団			平成12年12月17日に、自治会、子ども会、老人会、若土会(地域の青年会)の主要メンバーが集まり、子ども神楽と仮屋行事の復活を目指して「土江子ども神楽団」が発足しました。
大田市	4	三瓶山神代神楽	募集していない		昭和4年、陸軍三瓶演習場管理主幹、 宮原亀市氏が、地元の長男を集めて飯 石郡掛合町波多、波多神社宮司、勝部 健一氏に習う。名前の通り、神代(かみよ) 神楽で優雅で、スローな舞です。拍子は 6拍子。
大田市	5	大田神楽社中			
大田市	6	刺鹿神楽団			昭和54年に大田神祐社の協力により復 活させ、ショー的アレンジをしている。
大田市	7	忍原神楽団			明治初期には有志により結成。舞は勇壮 活発で、6調子の楽を得意とする。

±m++		油水口 友	団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
大田市	8	大屋石雲神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	大屋出雲神楽社中の創設は明治5年に宅野宮司「金築正直」氏の指導で結成されたものです。地元の皆様のご協力もあり、一度も絶えることなく今に伝えられています。 舞の特徴は、土地柄、神事として舞われる出雲神楽(六調子の優雅な舞)とショー的な要素が色濃く反映された石見神楽(八調子のテンポが早い舞)の折衷的な舞であることです。昨年は、韓国に招待され、神楽を通して国際交流の一環を担うことができました。
邑智郡	1	因原神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	昭和25年4月"日本人の心のふるさと"神楽を末長く継承しようと、若者12名にて結成する・地元因原八幡宮の春秋の例祭に奉納をするのをはじめ、昭和36年2月より、滋賀県多賀大社の節分祭奉納神楽及び各地の神楽大会、イベント等に度々招かれる。また平成16年4月から、春祭因原交流神楽大会を開催、陰陽神楽の交流の場として神楽振興に努めている。テンポは六調子(阿須那系)を基調としているが、神楽の真髄を逸脱しない範囲で、八調子を取り入れ、新舞にも取り組む。今後も伝統芸能の継承を守り、時代感覚にマッチした神楽に挑戦し、息長く支援される舞を演じたい。
邑智郡	2	川本神楽団			
邑智郡	3	三谷神楽団			
邑智郡	4	石見神楽 三原神楽団	募集中		団結成時から、石見大元神楽を受け継ぎ伝承に力を入れています。今年結成60年を迎え、今年6月に記念神楽を計画しています。

		油水口 な	団員募集状況		
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
色智郡	5	都神楽団			大和村は、昔から石見神楽を盛んとする土地柄である。村内の社中の中でも、活発で元気あふれるのは「都神楽団」。 平成元年に同好会から発足、現在は団員25名を数え、年間30回以上の公演をこなす。 「都神楽団」が特に力を入れているのが、後継者の育成だ。これまでも保育園や小学校などで神楽舞を指導。また、中学校では特別音楽の授業としている。社中の先頭に立って、伝承館の建設も発起した。団員たちの熱意と村の支援で見事に夢がかなった。完成した伝承館の舞台には、毎夜、団員と子どもたちの流す汗芸・を調に散っている。平成2年、伝統芸・の伝承とボランティア活動を目標に、大和神楽同好会として発足、平成12年に結成10周年を機に「都神楽団」と改名し、現在に至ります。 近年は後継者の育成にも力を入れており、現在に至ります。 近年は後継者の育成にも力を入れており、公民館活動や中学校の選択授業などで、小中学生に神楽の指導を行っております。 との公演活動を行っております。
邑智郡	6	都賀西神楽保存会			
邑智郡	7	大和村神楽同好会			
邑智郡	8	大和神楽団			
邑智郡	9	千原神楽団			
邑智郡	10	乙原舞子連中			
邑南町	1	雪田神楽団			雪田神楽団は、明治初年に賀茂神社 神官の斉藤武部氏の指導により、阿須那 流神楽の伝承をされたものです。以来、 幾多の困難を経ますが、第二次世界大 戦中も青年団をはじめとした雪田在住者 や有志の方の後援を得て途切れることな く伝統を守り続けています。
邑南町	2	口羽神楽クラブ			

┵┉┵┾┾		カルド 口 々	団員募集状況		1
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
邑南町	3	出羽神楽団	募集中		昭和48年水害の後、過疎の村が沈み込んで元気を無くしていた時期、若者の中から残っている者で神楽を復活しては、と話が持ち上がり、10代から60代までの人が公民館に集まり、昔出羽地区の大森神楽団(現在の美穂神楽団)で舞子をされていた槍政登さん、森脇房人さん、森脇政晴さんの三名に阿須那手の調子(八調子)神楽を習い、台本も写させていただき、昭和49年10月に初公演を果たす。その時の演目は八幡、大江山だった。以後は台本に沿って神迎、塵倫、八岐の大蛇等と演目をマスターして、他地区の祭りやイベント、競演大会で公演し現在に至る。
邑南町	4	高原神楽団			
邑南町	5	田所神楽保存会			
邑南町	6	美穂神楽団			
邑南町	7	大元神楽 榲尾神楽団	募集中		榲尾神楽団は150年前の安政年間嘉永 6年以来、村人に伝承された旧舞の六調 子の大元神楽です。
邑南町	8	日和大元神楽団			石見町観光協会 〒696-0103 島根県 邑智郡石見町大字矢上 7492 □TEL (0855)95-1111(代) · (0855)95-1119(直) FAX (0855)95-2351
邑南町	9	矢上大元神楽団			
<u></u> 邑南町	10	福原神楽団			
<u></u> 邑南町	11	春日神楽団			
邑南町	12	中野大元神楽団			
邑南町	13	井原神楽団	募集中	他地区 からの 入団も 可	旧来は伝え継がれた伝統芸能を継承し4年に1度の大元神楽を中心に地元で公演していましたが、近年では地元での恵比寿講や農協の陰陽競演大会で毎年披露したり、特に平成5年に米国公演を行って以来、広島・宮崎・京都・神戸などでの公演を盛んに行ってきました。舞い方は旧舞ですがテンポは少し速く、旧舞の深みと調子の変化が舞をメリハリのあるものにしています。
邑南町	14	吉原大元神楽団	\$		
邑南町	15	桜井神楽団			
邑南町	16	山之内神楽団			
隠岐郡	1	隠岐島前神楽保存会			
隠岐郡	2	菱浦神楽同好会			
隠岐郡	3	島後久見神楽保持者会			

			団員募	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	ー プロフィール
隠岐郡	4	那久路神楽			
隠岐郡	5	別府神楽同好会			
隠岐郡	6	西村神楽社中			
隠岐郡	7	知夫神楽同好会			
八束郡	1	佐蛇神能保存会			
吉賀町	1	黒渕神楽社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	神楽社中のメンバーが減少し、活動を 休止していましたが、2004年より新たに メンバーが加わり活動を再開していま す。
吉賀町	2	白谷神楽保存会			
吉賀町	3	抜月神楽団			
奥出雲町	1	龍燈神楽			
大原郡	1	大東町神楽連絡協議会			大東町観光協会 電話0854-43-6 136 FAX0854-43-5999
大原郡	2	出雲國大原神主神楽保 存会			
大原郡	3	海潮山王寺神楽			
津和野町	1	長福千原座神楽社中			
津和野町	2	中川八千代座神楽社中			
津和野町	3	石見神楽保存会 日原 社中			日原観光協会 (0856)74-1221
津和野町	4	石見神楽 左鐙社中			
津和野町	5	須川神楽社中			
津和野町	6	柳神楽保存会	募集していない		昔の神楽を明治初期に氏神三渡八幡宮宮司水津運興氏が柳村の若衆に伝授したのが始まりで、それ以降、伝授神楽の原型をそのまま伝承し、昭和41年11月には柳神楽保存会を結成し、神楽保持者を中心に柳集落民で伝承しております。 昭和43年6月には島根県無形民俗文化財に指定されており、特徴としては方ノ間(2 cm角)の雲(天蓋)の下でむしろ2枚敷(2 cm角)の上で舞うのがきまりとされております。
津和野町	7	木ノ口神楽社中	6		
飯石郡	1	上多根神楽保存会			

			団員募集状況		
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
飯石郡	2	深野神楽保存会	募集中	他地区から可	深野神楽沿革の詳細は明らかではないが、弘化3年の神能記が残されている事から見ても、かなり古い時代から盛んに舞われていたと考えられる。 深野神楽は、深野神社社家を中心にして氏子によって組織され、氏神様の例祭に舞うほか、近郷諸社の例祭などに奉納していたようである。しかし、深野神楽も次第に後継者に欠け、大正前期にいったんその姿を消すが、70年後、再び神楽復活の気運が盛り上がり、昭和61年8月に新しい深野神楽保存会の結成を見る。以来、日夜練習に励み、各地の祭礼やイベントにその成果を発揮している。 主な公演としては、国内では大阪公演を3回、広島公演を2回アメリカジャパンウイーク(オレゴン州ポートランド市)に参加、また平成14年2月にはタイ国のロイエット市とノンスクサー村で出雲文化の紹介として神楽の公演を行い、タイ国との友好親善を深めてきた。 現在保存会員数は十五名であるが、毎週2回(火・金)集まって懸命に練習に加みながら伝統芸能の保存伝承に力いっぱい取り組んでいるところである。
飯石郡	3	木の下神楽保存会			
飯石郡	4	民谷神楽団			
飯石郡	5	奥飯石神楽 八神神楽 団			
飯石郡	6	奥飯石神職神楽保持者 会	(地域内 の神職が 必要条件 のため募 集不可)		奥飯石神楽は慶長年間頃からの記録 もあり、定かではないが、明治までは七座 神事として祭典そのものであった。明治 以降全国祭式が統一されたために神楽 の前半部分に七座を入れ、七座参番、 神能の三部構成である。従って神職の資 格者でもって構成している。
飯石郡	7	敷波神楽団	募集中	氏子に 限る	昭和50年よりはじめて30年、20代であったのが50代になり、後継ぎがなくて困ってます。演目も25近くあるけど全部できないのです。子供の舞も入れています。「三番隻」です。3年ぐらいで代わるけど今15代目ぐらいで。その子らが後を継いでくれるとよいですけどね。
簸川郡	1	併川神代神楽保存会			
簸川郡	2	阿宮神能保存会			

		加水 口 5	団員募:	集状況	
市町村	no	神楽団名	募集状況	備考	プロフィール
簸川郡	3	土手町神楽保存会	募集していない		弘化3年8月舞い始めと記した教本 が 有り150数年前から始まったことと思いま す。戦前戦後1年たりとも休むことなく舞 い継がれている事が特別です。又、昔か ら三番双という舞があり、今でも保育園児 から中学生まで6人もいます。出雲大社 の大祭社、四国の金比羅さん、岡山の天 理教大祭社、戦中は軍隊慰問団として 出向いた記録がある。
簸川郡	4	氷室神楽保存会	募集中	他地区 からの 入団も 可	文政5年の神能記が残存しており、その時代から出雲神楽特有の神事芸能として氷室集落の氏子達によって受け継がれ、神事の七座舞と神話伝承の能舞、合わせて24演目(段)の内現在11段の舞が存続している。 能舞の神楽面は、木彫の彫刻で江戸時代からのものを使い、地を這うような舞は能の流れをくむ、出雲神楽の原型を今も舞い継がれている。
美濃郡	1	丸茂神楽社中	募集中		明治の初期、丸茂神社社中の「初代」 大野亀太郎氏が那賀郡三隅町上古和に 在住の時、三隅町湊浦の野上宮司より伝 授を受ける。野上宮司により伝授を受け た大野亀太郎氏は同地で神楽を起こし ていたが、明治25年亀太郎氏の妻の出 身地旧美濃郡美都町丸茂に移住したの を期に、丸茂地区に新たに神楽を起こ し、以来大野家長男が代々受け継ぎ親 類縁者同行者と共に継承し現在に至っ ている。 神楽調子は「六調子・八調子系」で古 いタイプの神楽を伝承しているのが特徴 であり、昭和56年には「美都町民族無形 文化財」の指定を受ける。
美濃郡	2	三谷神楽社中			
美濃郡	3	石見神楽久木社中	募集中	他地区 からの 入団も 可	老人ホームへの慰問。各地域でのイベント参加。交流神楽団体でのイベント神楽 大会への参加など。

■自由記述 ~今後の課題・悩みなど~

広島県の神楽活動団体

市町村	no	自由記述
安芸高田市	1	後継者の育成
安芸高田市	2	競演大会やイベント等により、里神楽の本質が失われている感がある。画一化を計り、ショー的でただ表面の演出形式にこだわり、大衆芸能になりつつある。 地域文化として、父祖、先輩達が舞い継がれてきた、民俗文化財の永続が困難な事態になりかねない。団として今後の取り組み、方向性が大変むずかしい。
安芸高田市	3	若手の育成、後継者の確保。仕事の都合で、稽古に団員がそろいにくいこと。
安芸高田市	4	上演できない演目が増えている。後継者不足、資金不足。
安芸高田市	5	
安芸高田市	6	県境を挟んだ小さな地域のため、団員不足に悩まされている。
安芸高田市	7	後継者不足。団員の高齢化。
安芸高田市	8	悩みは人です。こども神楽を結成して継承者を育成しても、こどもたちは高校・大学・就職と年毎に町外へ出てゆきます。当団は、幸いにも団員数は確保できていますが、将来的には不安です。
安芸高田市	9	子ども神楽による後継者の育成に取り組んでいるが、年々入団者が減少しており、後継者不足が課題である。(当神楽団にも影響有り。現在子ども神楽出身者が過半数以上占めている。)
安芸高田市	10	地域文化として確実に引き継ぐためにも、団員世代間の開きが出来ないよう、子 どもを含め団員募集に努めるが、神楽ファンは増えつつも団員増強までには至ら ない。地域に小規模の小学校が有り、学校活動と地域交流としてタイアップも考 えていたが廃校になってしまい、苦慮している。
北広島町	11	昨年2名のベテラン団員の退団があり後継者育成が悩み。地元の若者がなかなか入団してくれないこともあり、他地域からの入団、学生等の入団もあるが、長期的にどうかも悩み。
北広島町	12	団員募集。いかに今の状況を維持し継続していくか。
北広島町	13	本来神楽は大半を秋祭りに奉納しており神楽は演じる地域の郷土芸能であったが、今日のように各地区で多くの競演大会や神楽大会が開催され、年間を通じ神楽が鑑賞できる時代となった。それに伴い本来の神楽から観衆が楽しむ神楽へと創作神楽が主流となってきている。 少子高齢化、過疎に悩む地域は後継者の入団もままならず新しい神楽に乗り遅れたら魅力のない神楽団となり社会情勢の変化と共に若い人にそっぽを向かれるという悪循環を繰り返している。今後継続していかなくてはならないが、新入団員が増えるまで辛抱を重ね頑張ることが必要と考えている。
北広島町	14	
北広島町	15	若い団員が不足しており、後継者不足が一番の問題です。独自の演目作成を目指しています。
北広島町	16	練習場の近隣住民の方々に対しての騒音。団員不足。 団員の職種、家庭状況等による練習時間不足と練習開始時間の遅延。
北広島町	17	後継者不足です。子供神楽を秋祭りに向けて練習中。
北広島町	18	団員不足による後継者育成が今後の課題となっている。

市町村	no	自由記述
北広島町	19	若人来たれ!!
北広島町	20	今後新たな後継者をどうして育成していくか?が課題です。
北広島町	21	やはり、若い団員が不足しています。さらに、練習にもなかなか時間が合わない 状況であり、年間通じて練習をしていますが十分とはいえない状況です。
北広島町	22	昨今、競演大会が主となり、昔ながらの宮神楽がわが神楽団もなくなってきている。 る。今、舞わなくなった神楽を、先輩方がいるうちに習得しようと思っている。
北広島町	23	団員の高齢化により、練習回数が減ったため、上演回数が一時減りましたが、他 地域からの入団協力もあり、細々と神楽をしているのが本音です。
北広島町	24	伝統芸能を守り続けることは、非常に難しく、団員確保も大変である。特に、最近は新舞に押され、旧舞は厳しい状況にある。少人数で地元の神楽を守っていくしかない。見た目(派手な)ばかりの神楽が人気なこと。
北広島町	25	団員の平均年齢が上がっており、10年前と比べ公演の機会が減った。若い団員が今年入団、1大会出場を目指し頑張っている。いずれにしても後継者不足は深刻な問題である。
北広島町	26	昨今の神楽舞の芸能化に危惧を感じている。本来の神楽のあるべき姿がきちん と伝えられていないのでは?もっと神楽に対する知識の底上げを神楽団員レベ ルから計っていくべきではないだろうか。
北広島町	27	これまで続けてきたように、地元に住み、生活している人たちで、地味でも素朴に 年一度の神楽奉納ができればと思っています。
北広島町	28	後継者問題
北広島町	29	私どもの拠点地域も多くの山間地域と同様に、若者の都会への流出などにより過疎化や高齢化が著しく、神楽団の維持・継続が非常に困難となっています。私どもの神楽団は、創設当初から他地区からの団員の入団も受け入れていたようで、今日まで消滅することなく維持・継続できたのも、このような理由によるものと思われます。日本の人口も30年後には、約8千万人に減少するという予想もあり、遅かれ早かれ当神楽団の消滅は避けて通ることのできない現実と思われますが、地区の子供神楽の指導や団員の募集などを通じて、少しでも長く維持・継続できるように努力をしています。
北広島町	30	団員不足。
北広島町	31	後継者不足により神楽の維持がむずかしくなりつつあります。また練習等の集まりも職業の多様化(たとえば夜勤)により全員が集まっての練習が出来なくなって来ています。
安芸太田町	32	課題、後継者、団員不足。
安芸太田町	33	後継者不足。
安芸太田町	34	団員の確保に苦慮しています。
安芸太田町	35	もう少し団員を増やしたい。 20~30 代が少なく、10 代が 5 名いるのが、20~30 代を入れたい。
廿日市市	36	あなたがたが、下記のごとく、神楽といえばすぐ新・旧の「神楽」と思っているように、神楽の事をその意味を知らず、「ええ。」とか「つまらん」で見られることがさえん。たとえおもしろくない神祇舞でも、人知れずそれが好きで30~40年続けている人がいる事をあなたがたが現場へ来て見るべきじゃ。ちなみに9月にさくらぴあで大会があるので、おいでください。
広島市	37	今現在、20名の団員がいるが中心となって舞っているのは、20~30代の者ばかりなので、祭など一晩のときはかなり無理があります。もう少し若い方が何人か入ってくれればと思います。

市町村	no	自 由 記 述
広島市	38	調査票の団員数19名となっておりますが諸般の事情により常時活動できるメンバーは12~14名となっており、後継者不足に悩んでおります。のちも更に演目を増やし活動の幅を広げたいと思っておりますので、地域の方々に団員募集を呼びかけたり、神楽団のオフィシャルサイトを立ち上げてネットを活用した広報なども行っていきたいと思っております。
広島市	39	機会あるごとに団員募集をしていますが、思うように集まらない。
広島市	40	後継者不足。団員不足。団員の練習への不参加(仕事、私用等)。
広島市	41	後継者の育成、世代交代をスムーズに行うこと。 また保持演目、舞台作りなどの伝承が課題。
広島市	42	団員不足。
広島市	43	課題(なやみ):団員不足につき、どのようにして団員を集めるか、またどのように技 を高め、郷土芸能を保持して行くか!!
広島市	44	毎年夏(8月)に舞子を募集(小中高校生主体)しているが、こどもの意識の多様化にあり、年により舞子人員の多少が出る。
広島市	45	地域の子供が減少している上に、塾やクラブ活動で忙しく募集してもなかなか会員が集まりにくい。「吹火」は、準備にかなりの時間と労力を割く必要があり、神楽の舞手以上に、継承に困難さが今後予想される。全員ボランティアであるが、資金面で苦慮している。
広島市	46	今後の課題は後継者の育成と団員を増やすことです。名簿上では18名いますが、常時参加できる者は限られた人数しかいません。高校生・大学生も県外に出て行く者もあり、なかなか地元に定住してくれません。30代・40代が一人もいないのも悩むところです。せっかく大先輩達が築いて下さった神楽団なので、これからも地域の方々に愛され、親しまれるよう頑張りたいと思っています。
広島市	47	後継者作り、確保が今後の課題
三次市	48	後継者の育成が最も重要な課題。神楽本来の形を変えず伝承していくこと。ビデオなどにたよらず、直接指導する。新舞やスーパー神楽が進化していくのはけっこうだが、「岩戸」などの旧舞まで手を加えるのは、伝統を守っていく神楽団としてしのびない。
三次市	49	どこの神楽団もでしょうが、後継者不足が悩みです。
三次市	50	老齢化が進み、会員も商会の方もいるがどうにか若い方(後継者)が加入状況に ある。また小学生3人あまり親につれられて練習等に参加あり、会としても喜ばし い限りです。

島根県の神楽活動団体

市町村	no	自由記述
出雲市	1	年々指導者が減ってきて舞の保存が厳しくなってきた。保存のために努力中 である。
益田市	2	石見神楽特有の神話を題材とした神楽(旧舞)を1演目でも多く保存し後継者 に伝えていきたい。
益田市	3	金銭面
浜田市	4	団員の確保。子供神楽の育成。
浜田市	5	現在は国をあげての問題の少子化であります。今ではどこからでも神楽をやりたいと言う人があれば入れるようにしていますが、それでも勤めの関係で入会がなかなかありません。幼い子供を指導し子供神楽を始めております。 海外公演9回(米・英・韓国・中国・ドイツ・フランス・イタリア)。
浜田市	6	後継者不足が悩みの種である。
浜田市	7	昭和53年に〇〇〇、また平成13年に〇〇をつくりあげ、伝承されてきた演目も保持しながら、構成員一丸となって精進を続けている。今のところ課題、なやみなどは感じていないが、すべての演目について、レベルアップをはかりたいと一同頑張っているところである。
浜田市	8	高齢化が進み新規加入者がない。
浜田市	9	後継者不足と団員の高年齢化。氏子の減少にともない、資金源不足。
浜田市	10	高齢化によって若い団員が減少し、舞う演目が少なくなりつつある。
浜田市	11	若者の入団がない。中学生、高校生が少ない。景気に低迷か、ギャラが少な くなっていると思う。必要経費、衣装に修理などで団に残らない。
浜田市	12	課題としては地元の後継者不足。
浜田市	13	- 奉楽(雅楽)の復活。
浜田市	14	少子・高齢化が進む地域で唯一の郷土芸能を伝承してゆくために、若い人に加入していただき、次の世代へこの芸能を正しく引き継いでいきたい。現在の保育園・小中学校の子供神楽も限りなく続けたい。
江津市	15	社中員の9割以上が学生で、しかも主要メンバーが地元を離れ県外へ進学・ 就職しているので、活動できる期間が学校の長期休暇時(3月・8月)に限 られてしまう。今後も県外へ進学する社中員が増える予定で、しかも進学先 を卒業した者が地元に帰って就職でき、社中で活動を続けられるか分からな い。当面は地元に残る社中員の確保が課題。
江津市	16	地域全体の過疎高齢化がすすみ、会員も少なくなり会員自体が高齢化しており存続が危ぶまれる。小中学生は、八調子舞、新舞の影響を受け将来的には 舞い方が変わってくるのではないかと思われる。
江津市	17	地元で舞うだけです。なんとも考えていない
江津市	18	後継者不足。

市町村	no	自由記述
雲南市	19	今年に入って新入団員3名があるが、加入団員を増やしたい。
大田市	20	週2回の練習で良くまとまっている。子供が少ないので困っている。
大田市	21	私の住んでいる町は、人口約900足らずの小さな町です。子供も小中学校合わせて、50名くらいですが、神楽の好きな人が多く、大人よりも子供の団員が多いのが特徴です。神社はもちろんですが、温泉、宿泊施設等で舞うことが多いです。
大田市	22	100 件余りの小集落で、しかも山中で交通の便も悪く、若者がいない。そのため、後継者不足が深刻です。幸い他地域で立ち上げられた子ども神楽団を指導した縁で若い人が入団して活発になってきている。やはり、激しい動きをともなう舞には若い人の力が必要であり、その確保を平日の公演には、休みにくいため断らざるをえない現状を何とかしたい。
邑智郡	23	団員の勤務職物が地元になく、県町外にて全員での練習が難しくて、練習に集合できないことが多い。(練習日・毎週火、木、土の3日間)。旧舞、新舞について、年配者と若年者との考え方に相違点があり、話し合いをして、中々まとまらなくて苦慮している。団員の募集をしているも、中々入団者が無く苦慮している状況。
邑智郡	24	少子高齢化の波が押し寄せて、若手の団員の入団者が少なく、また、氏神の 例祭等にもギャラリーが少なくなる傾向になりつつある。
邑南町	25	若者(現在の)達が伝統の楽や舞い方があるにもかかわらず、最近の芝居調の舞を好み奏楽がくずれ、舞もがたがたになってしまった。最近はどこの神楽を見ても同じ舞となっているのが残念です。足の踏み方、腰の落とし方、手・顔の所作などもう一度基本に戻って、昔の出羽神楽(阿須那手)を舞える事を願っている。
邑南町	26	近年、少子高齢化時代となり、神楽後継者の不足に悩み23年前より市木子ども神楽団を結成し、小学4年から中学までの子供を対象に団員の指導を行っています。
邑南町	27	年齢構成のように団員の高齢化が著しい上に、高齢者の死亡により団員数は減少していくという神楽団そのものの維持も危ぶまれる状況にあります。勧誘活動は続けているのですが、地域の特性からか現状の打開には至っていません。
津和野町	28	平成元年より小学生児童に伝授を続けており、現在の保持者は心配ありませんが、将来的には集落民の減少などでなやみも起こりそうです。
飯石郡	29	神職のみの構成であり、後継者の育成が思うように出来ない。奥飯石神楽の主として舞われている地域中に各地区で五社中あり、その社中と共に舞っている。
簸川郡	30	資金と後を続けてくれる人材育成が大変なことです。
美濃郡	31	世間に認めてもらえる神楽を披露したい。後継者不足。

特定非営利活動法人 広島神楽芸術研究所

理事長 日隈 健壬

神楽活動団体調査の依頼について(お願い)

めっきり春らしくなってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、当NPO広島神楽芸術研究所では、広く神楽活動を把握し、皆さまの情報交流を行うこと を目的に、神楽活動団体の調査を実施いたします。

頂きました回答は、ホームページや出版物などにおいて公表いたしますので、ご了承ください。 神楽団の皆様には、何かとお忙しい事とは存じますが、別紙調査票にご回答頂きますよう お願い申し上げます。

なお、この調査は、下記の後援団体並びに、株式会社マイクロソフトの事業支援により実施いた します。

記

神楽活動団体調査事業(神楽ポータルサイト構築) 事 業 名

事業の内容 これまでインターネット上で神楽団の方々・神楽主催者の方・神楽ファンの方

がそれぞれに発信されている神楽情報の一元化を図る、神楽情報の入口「神楽ポ

ータルサイト」の構築を主たる目的として本調査を実施する。

後援団体 社団法人 広島県観光連盟

社団法人 島根県観光連盟

石見観光振興協議会

中国新聞社 株式会社 中国放送

事業支援 マイクロソフト 株式会社(第4回NPO支援プログラム)

御提出頂き たい資料	1. 神楽活動団体調査票(一式2枚組) 2. 活動の写真 2枚 3. 代表者の方の顔写真 1枚 ※御提出頂いた、調査票・写真は当NPOで保管いたします。(返却致しません) ※写真のご用意が難しければ、調査票だけでもお願いいたします。
御提出頂いた姿料の活	

た資料の活 | 2.構築する神楽ポータルサイトの神楽団紹介ページで使用いたします。

用方法

当NPOが発行を予定している出版物の神楽団紹介ページで使用いたします。

公開予定アドレス http://www.npo-kagura.jp/ 平成18年8月頃仮運用開始予定です。

提出期限 平成18年4月12日(水)

※ポータルサイトとは?

インターネットの入り口となるWebサイト(ホームページ)のことです。

※NPO広島神楽芸術研究所とは?

中国山地の神楽並びに芸術に関する様々な活動を支援する特定非営利活動法人(略してNPO法人と言います。)を設立致しました。[平成16年9月28日認証]

このNPO法人の目的は、地域の人々がふるさとに自信と誇りを持ちながら充実した暮らしができる社会環境づくりを神楽と芸術の側面から支援するものです。

中国山地に伝わる神楽は、古き良き時代の優雅な「伝統を守る舞」と、新しい時代に対応する「創作的な舞」とがお互いに刺激しあいながら伝承されています。

また、芸術に関する分野でも、中国山地には、様々な分野の作家が居住し、活発な創作活動を展開 しています。

このNPO法人は、神楽や芸術に携わる調査研究活動、シンポジウムや交流会の開催、インターネットを活用した情報交換の仕組みづくりを通して、幅広く活動してまいります。

- 1. 神楽活動団体調査の依頼について(お願いの文書です)
- 2. 神楽活動団体-調査票-

【お問い合わせ/送付先】

特定非営利活動法人 広島神楽芸術研究所

E-Mail:office@npo-hiroshima.jp http://www.npo-hiroshima.jp/

①〒731-1521 広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1

TEL. 0826-72-5307 FAX. 0826-72-4401 担当者 増田 恵二

②〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1 広島修道大学 日隈研究室

TEL. 082-830-1136 FAX. 082-848-6633

神楽活動団体-調査票-

2005年度調査2枚目のうち1

【ご記入の際のお願い】

- 1.広く地域の神楽活動を把握し、皆さまの情報交流を行うことが目的です。 そのため、いただきました回答は、ホームページや出版物において公表いたしますので、ご了承ください。
- 2.しかしながら、4項において非公開にしたい場合は「非公開」に〇印をしてください。
- 3.送付の際に、代表者の方の写真と・活動の写真(演目・練習風景・集合写真など)を2枚程度(計3枚程度)お送りください。 メールでお送りいただても結構です。ホームページ上にこの調査票のエクセルファイルがあります。

4.提出期限 平成18年4月12日

					整	理コー	ド(事務	局使用	欄)			
継承されている 神楽の区分			(例:石見神楽など)									
	ふりがな											
1.神楽団名(必須)	名 和											
2.団の所在地(必須)	〒 -		住所:									
3.代表者の氏名・職名	ふりがな		1								役	職
(顔写真を同封してください)	氏 名											
	ふりがな									•		
	氏 名											非公開
4.事務局担当者	連絡先	₹	_									非公開
	TEL											非公開
	FAX											非公開
	E-Mail											非公開
5.ホームページ	<u>http://</u>											
6.団体の発足時期	[江戸	・明治	·大正·	昭和▪		 云え聞	<u>年</u> かされ	月 ,てきた	-	ナでも結	構です。)	
7.団員数			5	男	<u>名</u> · ź	女	<u>名</u>		合計	名		
8.年齢構成	10代	<u>名</u> •2	0代	<u>名</u> ·	30代	<u>名</u>	- 40代	t <u> 1</u>	<u>3</u> •50代_	名	•60代以降	名
9.上演の状況		氏神	祭り	厂月	L∙競演	大会イ	゚ベント	等出演	回数 4	丰	<u>回</u> 程度	
10.氏神神社名								[ふりか	[な]			
11.団員募集状況	募集□	Þ E	も子に関	限る	他	地区/	からの	入団も	可		募集してい	いない

【問い合わせ/送付先】NPO広島神楽芸術研究所 E-Mail:office@npo-hiroshima.jp HP:http://www.npo-hiroshima.jp/

①〒731-1521 広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1 TEL.0826-72-5307 FAX.0826-72-4401

②〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1 広島修道大学日隈研究室

神楽活動団体-調査票-

2005年度調査2枚目のうち2

【ご記入の際のお願い】

- 1.広く地域の神楽活動を把握し、皆さまの情報交流を行うことが目的です。 そのため、いただきました回答は、ホームページや出版物において公表いたしますので、ご了承ください。
- 2.しかしながら、4項において非公開にしたい場合は「非公開」に〇印をしてください。
- 3.送付の際に、代表者の方の写真と・活動の写真(演目・練習風景・集合写真など)を2枚程度(計3枚程度)お送りください。 メールでお送りいただても結構です。ホームページ上にこの調査票のエクセルファイルがあります。

4.提出期限 平成18年4月12日

	整理コード(事務局使用欄)
神楽団名	•
12.団体の経歴・特徴 (簡単でも結構です)	
※この項目は非公開です。	
13.その他 今後の課題・なやみ などをご自由にお書 きください。	
14.保持滨日	
	[新舞]

※ご協力ありがとうございました。

今後ともどうぞNPO広島神楽芸術研究所の活動にご協力・ご指導いただけますようお願い申し上げます。

【問い合わせ/送付先】NPO広島神楽芸術研究所 E-Mail:office@npo-hiroshima.jp HP:http://www.npo-hiroshima.jp/

- ①〒731-1521 広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1 TEL.0826-72-5307 FAX.0826-72-4401
- ②〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1 広島修道大学日隈研究室

第4回マイクロソフト NPO 支援プログラム 神楽活動団体調査報告書

2006年7月20日

NPO法人広島神楽芸術研究所 http://www.npo-hiroshima.jp
〒731-1521 広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1
(〒731-1515広島県山県郡北広島町壬生149)

TEL(0826)72-5307 Fax(0826)72-4401 mail <u>office@npo-hiroshima.jp</u> 編集代表者 増 田 恵 二

NPO法人広島神楽芸術研究所(広島分室)

〒731-3166 広島市安佐南区大塚東1-1-1広島修道大学大学院社会学日隈研究室 TEL(082)830-1136 FAX(082)848-6633 mail higuma@shudo-u.ac.jp